

ブルキナファソ
学校運営委員会支援プロジェクト
フェーズ2
中間レビュー調査報告書

平成29年4月
(2017年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

序 文

ブルキナファソの国民教育・識字省は、教育セクターの開発枠組みである「基礎教育開発 10 年計画 (2012～2021 年) (PDSEB)」を実施しており、基礎教育の質の改善として初等教育修了率の向上などに取り組んでいます。特に、地方分権化とそれに伴う地方教育行政の能力強化において、地域住民の参画による「学校運営委員会 (COGES)」が、学習環境の改善の担い手となるものと位置づけられており、PDSEB に全国の小学校への設置が活動目標の一つに掲げられています。

JICA は、このブルキナファソ政府の政策実施に協力すべく、これまで「学校運営委員会支援プロジェクト (PACOGES) フェーズ 1」によりパイロット 4 州において COGES の設置及び能力強化を支援してきました。これにより提案された COGES モデルを全国に普及するため、「COGES の構成員・役割に関する省令案 2013-029 号 (2013 年 3 月)」が国民教育・識字省により発布されました。

本省令により承認された COGES モデルをブルキナファソ全土に普及させることを目的に「学校運営委員会支援プロジェクトフェーズ 2 (PACOGES フェーズ 2)」が要請され、2014 年 4 月 (専門家派遣開始は 2014 年 5 月) から 3 年間の予定で本プロジェクトが開始されました。

今般、プロジェクトの中間レビューを行うことを目的として、2016 年 1 月に調査団を派遣し、ブルキナファソ政府及び関係機関との間で、プロジェクトの目標達成度や成果等を分析するとともに、プロジェクトの残り期間の課題について確認・協議を行いました。本報告書は、これら調査結果を取りまとめたものであり、今後のプロジェクトの展開に広く活用されることを願うものです。

ここに、本調査にご協力頂いた内外関係者の方々に深い謝意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願い申し上げます。

平成 29 年 4 月

独立行政法人国際協力機構
人間開発部長 熊谷 晃子

目 次

序 文
目 次
地 図
写 真
略語表

中間レビュー評価調査結果要約表

第1章 中間レビュー調査団の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査日程	1
1-4 主要面談者	2
第2章 プロジェクトの概要	4
2-1 基本計画	4
2-2 プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)	4
第3章 評価の方法	5
3-1 評価設問と必要なデータ・評価指標	5
3-2 評価実施体制	6
3-3 評価実施方法	7
3-4 評価調査の制約・限界	7
第4章 プロジェクトの実績	8
4-1 投入実績	8
4-2 活動実績	10
4-3 成果の達成状況	14
4-4 プロジェクト目標の達成状況	18
4-5 上位目標の達成状況	20
4-6 スーパーゴールの達成状況	22
第5章 評価結果	23
5-1 評価5項目による評価	23
5-2 貢献要因と阻害要因の検証	28
5-3 結 論	29
第6章 提 言	30

付属資料

1. ミニッツ（合同評価レポート）	35
2. 評価グリッド	74
3. 質問票	78
4. 収集文献・資料一覧	90

地 図



出所: *Annuaire Statistique de l'Éducation Nationale 2010/2011*, DEP/MENA Avril 2011

州別人口（人口増加率による 2011 年時推計）

	州		男性	女性	計
1	Boucle du Mouhoun	ブクルドゥムフン州	805,295	826,026	1,631,321
2	Cascades	カスカード州	309,473	327,806	637,279
3	Centre	中央部州	1,072,759	1,063,822	2,136,581
4	Centre-Est	中央東部州	611,439	691,010	1,302,449
5	Centre-Nord	中央北部州	646,687	728,693	1,375,380
6	Centre-Ouest	中央西部州	621,428	727,356	1,348,784
7	Centre-Sud	中央南部州	340,280	382,351	722,631
8	Est	東部州	694,319	721,910	1,416,229
9	Hauts-Bassins	上流域州	849,007	869,154	1,718,161
10	Nord	北部州	625,787	718,110	1,343,897
11	Plateau-Central	中部プラトー（平原部）州	365,450	420,296	785,746
12	Sahel	サヘル（砂漠地方）州	557,396	564,368	1,121,764
13	Sud-Ouest	南西部州	340,030	368,306	708,336
	計		7,839,350	8,409,208	16,248,558

出所: *Annuaire Statistique 2011; Edition 2013*, Institut National de la Statistique et de la Démographie

注：総面積は、約 274,000 km² (FAO, Aquastat 2005)

写 真



Korsimoro コミューンでの
COGES メンバーへの聞き取り



Korsimoro コミューンでの
COGES メンバーへの聞き取り



COGES の支援による仮設教室での授業風景



JCC における評価結果の共有

M/M 署名

略 語 表

略 語	仏 文	英 文	和 訳
AME	Association des Mères Educatives	Educative Mothers' Association	母親会
APE	Association des Parents d'Elèves	Students' Parents Association	父母会
CAST/ FADEB	Compte d'affectation spéciale du Trésor / Fonds de soutien au développement de l'enseignement de base	Special Appropriation Account for Basic Education Development Support Fund	基礎教育開発支援 ファンド・特別歳出 予算勘定（コモンフ ァンド）
CATHWEL	-	Catholic Wealfare	NGO, CRS による学 校給食支援事業
CCC	Coordonation Communale des COGES	COGES Communal Coordination	コミュニケーション-COGES 連絡協議会
CEB	Circonscription d'Education de Base	Basic Education District Office	視学官事務所
CEBNEF	Centre d'Education de Base Non Formelle	Center of Non Formal Basic Education	非正規基礎教育セ ンター
CMTD	Cadre des dépenses à moyen terme	Mid-term Expenditure Framework	中期支出計画
CND	Commission Nationale de la Décentralisation	National Commission for Decentralizaion	地方分権化国家審 議会
COGES	Comité de Gestion d'École	School Management Committee	学校運営委員会
CPP / JCC	Comité de Pilotage du Projet	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
CRS	-	Catholic Relief Service	NGO
CT	Collectivités Territoriales	Local Government	地方自治体
CVD	Conseil Villageois de Développement	Village Council for Development	町村開発委員会
DAMSSE	Direction de l'Allocation des Moyens spécifiques aux structures éducatives	Department of Specific Means Allocation to Educational Structures	教育施設資機材調 達局
DEP	Direction des études et de la planification	Department of Research and Planning	計画調査局 (現・DGESS)
DGEB	Direction Générale de l'Education de Base (ex- DGEBA)	General Department of Basic Education	基礎教育総局
DGESS	Direction générale des Etudes et des Statistiques Sectorielles (ex-DEP)	General Department of Studies and Sector Statistic	研究統計総局
DGREB	DG de la recherche en éducation de base	Department of Basic Educational Research	基礎教育研究総局
DPENA	Direction Provinciale de l'Education Nationale (ex- DPEBA)	Provincial Office of Basic Education and Alphabetization	国民教育・県地方局
DRENA	Direction Régionale de l'Education Nationale (ex- DREBA)	Regional Office of Basic Education and Alphabetization	国民教育・州地方局
ENEP	École Nationale des Enseignants du Primaire	National Teachers Academy for Primary Education	初等教育教員養成 校
EQAmE	École de Qualité Amie des Enfants	Child-friendly Quality School	イカム（ユニセフ支 援の教育運動）

GAP	Groupes d'Animation Pédagogiques	Pedagogic Promotion Groups	教育推進グループ
MATD	Ministère de l'Aménagement du Territoire et de la Décentralisation	Ministry of Land Development and Decentralization	国土整備地方分権化省
MATS	Ministère de l'Administration Territoriale et de la Sécurité	Ministry of Regional Administration and Security	地域行政安全保障省
MEF	Ministère de l'Economie et des Finances	Ministry of Economy and Finance	経済財務省
MENA	Ministère de l'Education Nationale et de l'Alphabétisation (ex-MEBA)	Ministry of National Education and Alphabetization	国民教育・識字省
M/M	Compte Rendu des Discussions	Minutes of Meeting	協議議事録
NC	Coordonatrice Nationale	National Coordinator	ナショナルコーディネーター
PACOGES	Le Projet d'Appui aux Comités de Gestion d'École	School Management Committee Support Project	学校運営委員会支援プロジェクト
PCD	Plan communal de développement	Commune Development Plan	コミュニオン開発計画 (5カ年計画)
PDDEB	Plan Décennal de Développement de l'Education de Base 2003-2012	10-Year Plan for Basic Education Development	基礎教育開発10カ年計画(旧)
PDSEB	Programme de Développement Strategique de l'Education de Base 2012-2021	Basic Education Strategic Development Program 2012-2021	基礎教育開発10カ年計画(現行)
PDM	Cadre Logique du Projet	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PEQ	Projet d'école de qualité	Quality School Project	Aide et Action 支援の学校教育改善事業
PTF	Partenaires Techniques et Financiers	Technical and Financial Partners	開発パートナー
R/D	Procès Verbal des Discussions	Record of Discussions	討議議事録
SABER	Approche Systémique pour le de Milleurs Résultats Scolaires	System Assessment and Benchmarking for School Results	学校教育分析ツール
SP/PDSEB	Sécretariat Permanent de PDSEB	Permanent Secretariat of PDSEB	PDSEB 常設事務局
STP-CONAD	Sécretariat Technique Permanet de la Conférence Nationale de la Décentralisation	Permanent Technical Secretariat of National Conference for Decentralization	地方分権化国家審議会・常設技術事務局
TBA / GER	Taux Brut de l'Admission	Gross Enrolment Rate	総就学率
TICAD	Conférence International de Tokyo sur le Développement de l'Afrique	Tokyo International Conference on African Development	アフリカ開発会議

中間レビュー評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：ブルキナファソ	案件名：学校運営委員会支援プロジェクトフェーズ2 (PACOGS フェーズ2)
分野：教育-初等教育	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：人間開発部 基礎教育グループ 基礎教育第二チーム	協力金額（評価時点）：3億4,000万円 （2016年1月統制レート XOF1=¥0.201）
協力期間	(R/D)：2014年4月1日～2017年4月30日
	(延長)：
	(F/U)：
	先方関係機関：国民教育・識字省 (MENA)
	日本側協力機関：-
	他の関連協力：-
1-1 協力の背景と概要	
<p>ブルキナファソにおいては、初等教育の総就学率は (Taux Brut de l'Admission。以下「TBA」という。) 86.9% (UNESCO、2013年) と大幅に改善した一方で、最終学年残存率は 69.1% (UNESCO、2012年) と依然として教育の質に大きな課題を抱えている。このため、ブルキナファソ政府は2007年の新教育基本方針の制定により教育制度の改革に着手し、地方自治体へ学校運営に関する権限を委譲しようとしている。これと併せて各学校に住民参加による学校運営委員会 (Comité de Gestion d'École。以下「COGES」という。) を設置し、学校レベルの運営管理を行うとともに、学習成果や教員の行動などを監視する責任をもたせることを推進している。</p> <p>JICAは2009年より機能するCOGESのモデルを形成するため「学校運営委員会支援プロジェクト (Le Projet d'Appui aux Comités de Gestion d'École。以下「PACOGES」という。) フェーズ1」により、パイロット4州においてCOGESの設置及び能力強化を支援してきた。ブルキナファソ政府はこれを全国普及のモデルとして正式に位置づける省令を發布し、またブルキナファソ「基礎教育開発10カ年計画 (2012～2021年) (Programme de Développement Stratégique de l'Éducation de Base 2012-2021。以下「PDSEB」という。)」においてもCOGESの全国・全小学校への設置が活動目標の一つとして掲げられた。</p> <p>このような状況下、ブルキナファソ政府は承認したCOGESモデルを全国に普及させるための支援をJICAに要請し、PACOGESフェーズ2が2014年4月 (専門家派遣開始は2014年5月) から3年間の予定で開始された。</p>	
1-2 協力内容	
<p>本プロジェクトは、全国の小学校にCOGESを設置するためのコミュニティを対象とした研修実施や設置されたCOGESの活動を支援・モニタリングする体制の構築・強化に取り組んでいる。また、設置されたCOGESの活動の有効事例の形成 (例：学習成果の向上に寄与する活動) や学校に対する補助金の適切な運営管理に関する指導などを実施している。</p>	
(1) スーパーゴール	
初等教育のアクセス並びに学習の質が改善される。	
(2) 上位目標	
全国の小学校において参加型学校運営が改善される。	
(3) プロジェクト目標	
全国の小学校においてCOGESが機能する。	
(4) 成果	
成果1. COGESが全国で設置され、関係者の能力が強化される。	
成果2. COGESの持続的なモニタリング支援システムが強化される。	
成果3. コミュニティ参画を通じたCOGESによる学習成果向上活動の有効性が実証され、	

全国で共有される。

成果 4. COGES のリソース運営管理システムが強化され、COGES の能力が強化される。

(5) 投入 (評価時点)

日本側：総投入額 3 億 4,000 万円

長期専門家派遣 3 名

(チーフアドバイザー/学校運営、業務調整/研修計画、業務調整/モニタリング)

短期専門家派遣 2 名 (チーフアドバイザー、視聴覚教材作成)

機材供与 1,002 万 1,900 円

ローカルコスト負担 8,700 万円

研修員受入 教育財政と運営 (本邦研修) : 7 名

みんなの学校プロジェクト群地域経験共有セミナー (ニジェール) : 13 名

相手国側：

カウンターパート配置 24 名 (ナショナルトレーナー、州フォーカル・ポイント)

土地・施設提供 プロジェクト事務所・設備

ローカルコスト負担 12 億 7,400 万 CFA フラン (Fcf) (2 億 4,800 万円)

2. 評価調査団の概要

調査者	総括・団長：國枝 信宏	JICA 人間開発部 基礎教育グループ 国際協力専門員
	協力企画：阿部 かなえ	JICA 人間開発部 基礎教育グループ 基礎教育第二チーム ジュニア専門員
	評価分析：伊藤治夫	株式会社アイコンズ 主任コンサルタント
調査期間	2016 年 1 月 5～22 日	評価種類：中間レビュー調査

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

(1) 投入・活動実績

日本側、ブルキナファソ側からの投入は計画どおり実施され、成果の発現に貢献している。投入において特記すべきは、ローカルコストがブルキナファソ側 74% (約 2 億 4,800 万円)、日本側 26% (約 8,700 万円) とブルキナファソ側が主体的に活動への予算措置を行っている点である。

計画された活動は、政変後の混乱にもかかわらず、ほぼ計画どおり実施されている。中間レビュー時点では成果 1 (COGES 設置・機能化)、成果 2 (モニタリング強化) に係る活動がほぼ完了し、活動の中心は成果 3 (学習効果の実証・共有)、成果 4 (リソース運営管理強化) に移行している。今後、COGES を活用した活動が多く計画されており、残りのプロジェクト期間での活動の優先順位づけが求められる。

(2) 成果の達成状況

【成果 1】COGES が全国で設置され、関係者の能力が強化される

プロジェクトの実施により、フェーズ 1 での 3 州を含め、全 1 万 2,613 校中 1 万 1,244 校 (90%) において COGES が設置された。COGES 設置が困難である私立校を除くとほぼすべての公立学校に COGES が設置されたことになる。一方で 2014/15 年度の COGES からの年次総括表の提出率は目標 75% に対して 56% にとどまるが、総括表は回収中のため、指標の達成度はこの段階では判断できない。

【成果 2】COGES の持続的なモニタリング支援システムが強化される

国民教育・識字省 [Ministère de l'Éducation Nationale et de l'Alphabétisation (ex-MEBA)。以下「MENA」という。] 内において、教育の地方分権化学校運営を担う地方分権化学校運営調整課 (SCGDE) が設置され、中央での COGES のモニタリング支援体制が確立した。さらに現場レベルにおいては、視学官事務所 (Circonscription d'Éducation de Base。以下「CEB」という。) による学校巡回指導により、月に 1 度程度 COGES へのモニタリングが実施されている。

CEB とともにコミュニオンにおいて COGES のモニタリングを担うコミュニオン-COGES 連

絡協議会（Coordination Communale des COGES。以下「CCC」という。）は、COGES 代表を集めた総会を年 3 回定期的に実施しており、その継続が期待される。また 2016 年内に CCC モデルの承認、普及が計画されており、他州での COGES モニタリング強化が促進されることが想定される。

【成果 3】 コミュニティ参画を通じた COGES による学習成果向上活動の有効性が実証され、全国で共有される

今後、中央北部州において計画されている学習の質向上に係るパイロットプロジェクトにより、COGES を通じた学習成果向上の実証が行われる。パイロットプロジェクトから得たグッドプラクティスがメディア、州会合等を通して共有される計画である。

【成果 4】 COGES のリソース運営管理システムが強化され、COGES の能力が強化される

リソース運営管理に関しては、COGES による収入創出活動（AGR）、学校給食、ソーラーランプ、学校建設等の活動から抽出されたグッドプラクティスを取りまとめ、メディア、州会合の機会等により共有することが計画されている。現時点でも既にメディアを用いて COGES のグッドプラクティスが全国に紹介されている。

(3) プロジェクト目標の達成状況

【プロジェクト目標】 全国の小学校において COGES が機能する

2,711 カ所の COGES（年次総括表を提出した 94%の COGES）において少なくとも一つ以上の活動が実施されている。また COGES 会合（会計報告、住民総会、事務局会合）の頻度も目標を達成している。しかし、予算執行率に関しては、2013/14 年度が 64%、2014/15 年度が 51%と目標である 60%に未達であり、COGES についてのコミュニティの理解促進による動員額の増加の必要である。

(4) 上位目標の達成状況

【上位目標】 全国の小学校において参加型学校運営が改善される

上位目標の就学児童数はプロジェクト開始時の 204 万 8,000 人（2009 年）から、現時点の 207 万 7,000 人（2015 年）と毎年増加している。特にフェーズ 1（2009～2012 年）の対象州ではその増加が他州と比較しても顕著であることから、将来的には COGES が設置された他州での増加も期待される。また COGES の支援により設置された教室数、補習学習及び夜間学習時間の増加に係る将来の目標達成に向けた取り組みが順調に実施されている。

(5) スーパーゴールの達成状況

【スーパーゴール】 初等教育のアクセス並びに学習の質が改善される

スーパーゴールは全国の就学率、中退率、修了率¹、初等教育修了資格（CEP）合格率²を用いて測定した。プロジェクトの開始後、これらすべての教育指標の改善が確認された。教育指標の改善には、COGES 設置以外のさまざまな要因が考えられるが、聞き取り調査では、これらの教育指標の改善における COGES の貢献が多く関係者により指摘された。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性（高い）

1) プロジェクトの支援による COGES は MENA による学校給食プログラム、学習の質向上、収入創出活動等に活用されており、カウンターパート機関のニーズに合致している。COGES の活動は住民の合意の下決定された年間計画に沿って実施されることから、活動と住民ニーズとの整合性は高い。

2) PDSEB（2012～2021 年）ではすべての小学校への COGES の設置を目標としており、その具体的な戦略として「ブルキナファソ COGES 設置普及戦略」が策定され、2015 年までに全国に設置することが示された。

¹ 修了率は 11 歳児人口と CM2（初等教育課程 6 年生）の登録人数から算出した。

² プロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix。以下「PDM」という。）のスーパーゴールの指標には、CEP 合格率の代わりに、進級率が含まれているが、入手不可能であったため使用せず。

3) 日本の政策である対ブルキナファソ国別援助方針事業展開計画（2015年）では PDSEB（2012～2021年）への支援が示されている。また2013年の第5回アフリカ開発会議（Tokyo International Conference on African Development。以下「TICAD」という。）においては、みんなの学校プロジェクトのアセットを用いた質の高い教育環境への支援が表明されている。

(2) 有効性（中程度）

- 1) プロジェクト目標の指標には活動達成率、予算執行率、COGES 事務局会合及び総会頻度が用いられている。予算執行率において一部未達成の指標があるがその他の指標は達成している。今後は活動の着実な実施のためのモニタリング体制強化が求められる。
- 2) 成果1（COGES 設置・機能化）、成果2（モニタリング強化）により COGES 機能の基礎を固め、同時に具体的な活動を通じた成果3（学習効果の実証・共有）、成果4（リソース運営管理強化）が図られることにより、プロジェクト目標である「全国の小学校において COGES が機能する」の達成が見込まれる。
- 3) CCC モデルの精緻化は現在実施中であり、その機能度は CCC によりばらつきがある。同モデルの普及に際し、その位置づけの明確化に課題が残る。
- 4) ブルキナファソの治安の悪化は、活動の一部に影響を与えた。また将来のプロジェクト目標達成のためのリスク要因となる可能性がある。

(3) 効率性（高い）

- 1) フェーズ1における経験、作成された教材、ガイドを改定し有効的に活用している。またフェーズ1から引き継いだ施設や機材を用いることで効率性を高めた。
- 2) 既存の教育行政機関の活用により、効率的なモニタリング体制を確立し、関係者の主体性を醸成している。またナショナルチームは、新たなモニタリング／報告システムを導入し、年次計画表、年次総括表の集計の効率化を促進した。
- 3) 比較的短期のプロジェクト期間にもかかわらず、アフリカランププロジェクトとの連携によってソーラーランプマニュアルの作成支援、フランス開発庁（AFD）コミュニティ参加型学校建設における学校建設マニュアルの作成支援、エボラ出血熱の情報提供といった COGES を通じた多くの活動が実施されている。
- 4) 2015年の政変による研修経費の執行の遅れにより、6州への COGES 研修のための十分な準備ができず、研修の質への影響が懸念される。

(4) インパクト（やや高い）

- 1) COGES 設立後の期間が短く、現時点で上位目標、スーパーゴールとなる教育のアクセス、学習の質に対して明確なインパクトは確認することは困難であるが、学校レベルでは、COGES の成果として、これらの指標の改善が報告されている。
- 2) CCC のパイロット地域（中央北部州）では、パイロットと非パイロットコミュニティの比較から、CCC の設置が児童の学習効果にインパクトを与えることが確認された。
- 3) 学校建設マニュアルに COGES による建設管理のモニタリングの実施が記載され、今後パイロット地域での学校建設における COGES の活用が期待される。
- 4) COGES を用いたエボラ出血熱の予防、治療、調査に係る研修をマリ、ガーナ国境の州の67万3,968名の参加者に対して実施した。

(5) 持続性（やや高い）

- 1) COGES は地域レベルの学校ガバナンスの重要なリソースとしてその設置が PDSEB（2011～2021年）に示されている。さらに COGES の小学校への設置は法令に規定されており、政策的な持続性は高い。
- 2) 組織面では、プロジェクト開始後の2014年3月に省令により COGES の普及を担う部署として SCGDE が MENA 内に設置され、計9名のスタッフが配置された。さらに、MENA 内の他部署や援助機関による COGES の積極的活用が推進され、活動予算を含む多くの支援の COGES への分配により COGES 機能の強化が期待される。
- 3) 財政面では、プロジェクトの活動の多くが MENA 負担により実施され、ローカルコストの74%が MENA により支払われている。プロジェクト開始時の討議議事録（Record of

Discussions。以下「R/D」という。)で取り極めたブルキナファソ側負担の負担額も、ほぼ計画どおり支出されており、財政面での持続性は高い。今後のモニタリング制度の強化及びCCCの全国普及に際して、権限・予算の確保のため、SCGDEが現在の課から局へ昇格することが望まれる。

- 4) 技術面ではナショナルトレーナーはCOGESに係る研修を実施するために十分な能力を有することが確認された。しかし新たに配置されたCOGESメンバーへの研修及び既存の関係者への再研修の仕組みの必要性が指摘されている。

3-3 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容に関すること

1) 学習の質に注力した取り組み

住民、特に父母からの高いニーズのある児童の学力向上に直接的に寄与する活動がCOGESの活動に優先的に取り入れられている。その結果、COGESの活動は学校環境改善のためのインフラ整備から、学習の質向上に寄与する活動に移行しつつある。また、児童の学習向上の成果を住民と共有することにより、COGESへの住民参加が促進されている。

(2) 実施プロセスに関すること

1) 国家政策への主流化の促進

COGESの国家政策への主流化がプロジェクトにより推進されており、MENA内の他部署や援助機関により、COGESが積極的に活用されている。その結果、活動予算を含む多くの支援がCOGESの活動に分配されることでCOGES機能が更に強化されるといった好循環が生じている。

2) カウンターパートの主体的取り組み

プロジェクトは計画当初よりコストシェアによる実施が計画されており、現時点では現地における活動経費の74%がブルキナファソ側の負担によるものである。またすべての研修はナショナルチームによりモニタリングされており、研修費に関する校長研修のストが発生した際にも、教員組合と主体的に協議し、ストを回避した。

3-4 問題点及び問題を惹起した要因

(1) 計画内容に関すること

1) 私立校へのCOGESの導入

都市部にある私立高における研修参加率及びCOGESの設置率は比較的低く、住民からの分担金の回収も困難な状況にある。校長にはCOGESの設置に理解を示す者もいるが、経営者の理解不足が最大の阻害要因である。

2) 既存の父母会(APE)、母親会(AME)との調整

COGESについての理解不足により、既存の組織である父母会(Association des Parents d'Elèves。以下「APE」という。)や母親会(Association des Mères Educatives。以下「AME」という。)との調整に困難を抱えるCOGESが散見された。

(2) 実施プロセスに関すること

1) 研修の未受講の関係者(校長、視学官等)

研修を未受講の校長は、適切なプロセスに沿ったCOGES運営の実施に困難を感じている。特に校長は事務局長として住民総会の実施、年次活動計画、年次総括表作成等、重要な役割があるため、研修実施体制の構築が望まれる。

2) 政変による研修予算の遅れ及び人事異動

政変による人事異動とそれに伴う研修経費の執行の遅れにより、6州への全国展開のための研修準備が十分に行われず、研修の質に影響を与えた。また2016年1月には地方レベルでの選挙が予定されており、カウンターパート及び関係者の人事異動が懸念される。

3-5 結論

短期間のプロジェクト期間、政変による混乱にもかかわらず、ほぼすべての活動が計画どおり実施されており、指標も達成されつつある。COGES 機能は各成果の活動を通して強化され、スーパーゴールである就学率、中退率、修了率、修了試験合格率の改善にインパクトを与えている。

現時点でもプロジェクト目標はターゲットグループのニーズに合致しており、またブルキナファソ側及び日本側の政策との整合性も高いことから妥当性は高い。プロジェクト目標及び成果指標は一部未達であることから有効性は中程度とした。プロジェクト活動は短期間での実施、政変による混乱にもかかわらず、計画どおり実施されている。また投入は質、量、タイミングともに適切であることから効率性は高いと判断する。教育指標の向上との因果関係は、詳細な調査を必要とするが、聞き取り調査からは COGES による上位目標、スーパーゴールへの貢献が確認されたことからインパクトはやや高いと判断した。さらに政策、財務面での高い持続性が確認された一方で、残りの期間で継続的な COGES 関係者への能力強化、モニタリング体制強化が必要となることから持続性はやや高いとした。

3-6 提言

- (1) 学校運営委員会 (COGES) 全国普及後の関係者の能力強化【プロジェクト期間中】
設置後の COGES を安定的に機能させるため、関係者への能力強化として、特に活動計画、年次総括表の策定支援を継続的に実施する必要がある。各種現職教員研修を用いて、異なるレベルの関係者への研修を行うことにより、COGES の機能化を図ることが望ましい。
- (2) 研修未受講の関係者への研修実施【プロジェクト期間中】
研修を受講していない新たな関係者（新任教員、学校長、視学官）への能力強化のシステムとして、MENA の年次教員会合や CCC を通じた新 COGES メンバーへの研修、教員養成校及び高等師範学校におけるカリキュラム化の可能性を検討する。
- (3) 私立校及び都市部の学校への学校運営委員会 (COGES) 設置の戦略策定【プロジェクト期間中】
MENA として、COGES 設置に困難を抱える私立校及び都市部の学校における戦略を明確化し、プロジェクトの対象を見直す必要がある。
- (4) 学校運営委員会 (COGES) モニタリングの強化【プロジェクト期間中】
COGES 活動の持続的なモニタリングのため、①行政官のモニタリング制度、②各種モニタリング用紙、③モニタリング用紙回収システムの改善及び、④集計・分析を担う担当職員の能力強化が必要となる。また MENA による州レベルの定期会合の制度化を提言する。
- (5) コミュニオン-COGES 連絡協議会 (CCC) モデルの安定化【プロジェクト期間中】
現 CCC モデルでは市長を議長としているが、市長の不在等により、CCC 活動の停滞がみられるため、CCC モデルの見直しを提言する。CCC パイロットの成果と課題を共有するとともに、3 州でのモデル拡大を図る。また CCC モデルを MENA 及び国土整備地方分権化省 (Ministère de l'Aménagement du Territoire et de la Décentralisation。以下「MATD」という。) で合同承認し、他地域へ普及する準備をプロジェクト期間内に実施する。
- (6) 学校運営委員会 (COGES) による学習条件の改善【プロジェクト期間中】
学習成果を改善するためには、最高学年 (CM2) のみならず、中、低学年への取り組みが長期的対策として重要となる。2016 年にプロジェクトが実施予定の学習効果改善のパイロット事業を用いて、同取り組みの試行を提言する。
- (7) プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) の改訂【2016 年 6 月まで】
中間レビューに際して、未確定だった目標値の設定、指標の整理及び明確化を提案した。今後、公式に PDM 改訂を行う。また、SCGDE はプロジェクトの残り期間にかんがみ、PDM 改訂までに活動の優先順位をつける必要がある。

(8) 地方分権化学校運営調整課（SCGDE）の専門局への昇格【プロジェクト期間中】

COGES 及び CCC の機能の継続的確保には、SCGDE の役割は非常に大きい。幼・小・中の基礎教育一貫教育推進を背景に、COGES をより広くとらえる必要があること、また給食や補助金等、各種取り組みに COGES が活用されることにかんがみ、必要な権限・予算を確保する必要があり、SCGDE を現在の課から専門局へと昇格することが望まれる。

Summary of Mid-term Review

I. Outline of the Project	
Country: Burkina Faso	Project title: The School Management Committee Support Project Phase II (PACOGES II)
Issue/Sector: Basic Education	Cooperation scheme: Technical Cooperation
Division in charge: JICA Human Development Department, Basic Education group, Basic Education Team 2	Total cost: 340 million yen
Period of Cooperation	(R/D): 2014/4/1-2017/4/3 1
	Partner Country's Implementing Organization: Ministry of National Education and Literacy (MENA)
	Supporting Organization in Japan: -
Other Relating Organizations: -	
1. Background of the Project	
<p>In Burkina Faso, the gross enrolment rate of primary education attained 86.9% (UNESCO 2013) and it has greatly improved. However the final year completion rated 69.1% (UNESCO 2012) and it still has a serious problem in the quality of education. For this reason, the Government of Burkina Faso started the education reform to decentralize the school management to local governments by enacting the new basic education policy in 2007. In parallel, the government established the school management committee (COGES) managed by the community residents in each school to deal with school management and give them responsibility to monitor pupils' learning outcomes and teachers' performance.</p> <p>Since 2009, JICA has supported to establish a functional COGES model through the "School Management Committee Support Project (PACOGES) Phase 1", which established COGES in democratic and developed capacity of relevant personnel in four pilot regions.</p> <p>The Government of Burkina Faso issued the ministerial ordinance to formalize the established COGES model for the national dissemination, and also the nationwide setting of COGES in all primary schools has been targeted in "the Basic Education Strategic Development Program 2012-2021 (PDSEB)" in Burkina Faso.</p> <p>Under this circumstance, the Government requested JICA to support dissemination of the approved COGES model, and the PACOGES phase II started in May 2014 (start of the dispatch of experts) for three years .</p>	
2. Project Overview	
<p>The PACOGES phase II has dealt with the provision of training to community for the establishment of COGES and strengthening the systems to support and monitor COGES activities in nationwide primary schools. The project has also formulated good practices of COGES activities (e.g. activities which contribute to the improvement of learning outcomes), and provided guidance on the appropriate resource management of school grant.</p>	
(1) Super Goal	
Access and quality of primary education are improved	
(2) Overall Goal	
School management in primary schools is improved across the country	
(3) Project Purpose	
COGES in primary schools across the country are functional	
(4) Outputs	
Output 1: COGES are set up across the country and the capacity of stakeholders is strengthened	
Output 2: A sustainable monitoring and support system of COGES is strengthened	
Output 3: Effectiveness of COGES activities that aim to improve the quality of learning is	

verified and shared nationwide

Output 4: COGES resource management system and COGES's capacities to utilize it are strengthened

(5) Inputs (at the time of evaluation)

Japanese side: Total cost 340 million yen

Long-term Experts: 3

(Chef Adviser/ School Management, Coordinator/Training Plan, Coordinator/ COGES Monitoring)

Short-term Experts: 2 (Chef Adviser, Audio-visual for COGES Sensitization)

Equipment: 1,047 thousand yen

Local cost: 87 million yen

Training in Japan: 7

Training in third country (in Niger): 13

Burkinabe side:

Counterparts (C/P): 24

(National Team, Focal Points (FP) of Regional Directorate of Education and Literacy (DRENA)

Project office/facilities

Local Cost: 1,274 million Fcfa (248 million yen)

II. Evaluation Team

Members of Evaluation Team	Nobuhiro KUNIEDA	Leader, Senior Advisor (Basic Education), Human Development Department, JICA
	Kanae ABE	Cooperation Planning, Associate Expert, Basic Education Team 2, Basic Education Group, Human Development Department, JICA
	Haruo ITO	Evaluation Analysis, ICONS Inc.
Period of Evaluation	2016/1/5-2016/1/24	Type of Evaluation Mid-term Review

III. Results of Evaluation

1. Project Performance

Inputs from both Japanese side and Burkinabe side have been provided as planned, and the Inputs have been effectively utilized to generate each Output. The prominent feature of the Input of the project is that the Government of Burkina Faso takes an initiative to implement project activities as 74% (about 248 million yen) of the local cost born by Burkinabe side in comparison with 26% of the Japanese side (about 87 million yen).

Despite the political turmoil in 2015, the project has been implemented as planned. As of the timing of the Mid-term review, most activities of Output 1 (strengthen capacity to establish COGES) and Output 2 (strengthen COGES monitoring and support system) had been completed. The Project has currently shifted to the activities of Output 3 and Output 4 which aim to improve learning quality and COGES resource management. As many activities are planned by utilizing COGES, the project is required to prioritize activities for the rest of the project period.

(1) Outputs

Output 1: COGES are set up across the country and the capacity of stakeholders is strengthened

COGES in 11,244 schools out of all 12,613 schools (90%) were established by the project, including the three regions targeted by the PACOGES phase 1. Except for the number of private schools in which there are difficulties to establish COGES, COGES has been installed in almost all of the public schools. On the other hand, the submission rate of the school action plan in 2014-2015 remains at 56% with respect to the target of 75%. As the data collection is still in progress, the achievement of Output 1 cannot be evaluated at this stage.

Output 2: A sustainable monitoring and support system of COGES is strengthened

As the Division of the Coordination of Decentralized School Management (SCGDE) for decentralization school management was established in MENA, the monitoring support system of

COGES at the central level has been assured. In the field, COGES is monitored at least once a month during the school visit by the Basic Education District Office (CEB). The COGES Communal Coordination (CCC) which has responsibility of the COGES monitoring at commune level together with CEB, has regularly held (three times a year) general assembly with COGES representatives, and it is also expected to be continued. While the CCC model is planned to be approved and disseminated within 2016, the COGES monitoring by CCC will be enhanced in other regions.

Output 3: Effectiveness of COGES activities that aim to improve the quality of learning is verified and shared nationwide

Through the planned pilot project relating to improvement of the pupils' learning quality in North-central region, the contribution of COGES to improving learning outcomes will be proved. Then the good practices obtained from the pilot will be shared by using media and meetings at the regional level.

Output 4: COGES resource management system and COGES's capacities to utilize it are strengthened

For the COGES resource management, the project plans to compile good practices from COGES activities such as the income-generating activities, school meal program, solar lamps and participatory school construction and to share them through media and meetings at regional level. The project has already introduced good practices of COGES through media across the country.

(2) Project Purpose

COGES in primary schools across the country are functional

2,711 COGES (94% of COGES which submit annual reports) established by the project have carried out at least one or more activities. The frequency of COGES meeting (accounting report, general assembly and secretariat meeting) has also been met the target level. However, as the budget execution rate was 64% in 2013-2014 and 51% in 2014-2015, it has not been achieved the target of 60%. Thus, it is necessary to increase community's mobilization by promoting understanding about the COGES.

(3) Overall Goal

School management in primary schools is improved across the country

The number of pupils, the Overall Goal indicator of the project, has been increased every year as 2,048 thousand in 2009 (the initiation of the project) to 2,707 thousand in 2015 (present). In particular, the pupils' number in target regions of project phase I (2009-2012) has remarkably been increased in comparison with other regions. Thus, other regions where COGES was newly established are also expected to increase to enrolment in the future. In addition, the project has made efforts to achieve the Project Purpose such as to increasing number of classroom, supplementary and night class hours.

(4) Super Goal

Access and quality of primary education are improved

The Super Goal was measured by enrolment rate, dropout rate, completion rate³ and the Primary School Certificate (CEP) pass rate. These educational indicators have been improved since the project initiation. Though there are many other factors to improve educational indicators are assumed, the some contributions of COGES to the improvement were pointed out in the interviews with stakeholders.

2. Summary of Evaluation Results

(1) Relevance: High

- 1) As COGES supported by the project has been applied to the MENA's school meal program, improvement of the learning quality and income-generating activities, the Project Purpose is

³ The completion rate was calculated by 11-year-old population and CM2(6 grade in primary education) registration number.

consistent with the needs of counterpart organizations. Since COGES implements their activities based on the action plans agreed with the community residents, COGES activities appropriately address needs of communities.

- 2) PDSEB 2012–2021 states that COGES aims to establish COGES in all schools. For this concrete strategy, “the Generalization strategy of the establishment of COGES in Burkina Faso” for the national expansion of COGES by 2015 was issued.
- 3) Japan's Burkina Faso Assistance Policy and the Rolling Plan (April 2015) states its assistance priority to improve education quality based on the support to promote PDSEB 2012–2021. The assistance for quality school-based management by utilizing asset of “School for All” Projects is agreed in the fifth Tokyo International Conference on African Development (TICAD) in 2013.

(2) Effectiveness: Moderate

- 1) The indicators of Project Purpose—namely the percentage of implemented activities, budget execution rate and frequency of COGES meetings—have been achieved at the target levels except for the budget execution rate. However, the monitoring system needs to be strengthened to secure the steady implementation of the project activities.
- 2) By strengthening capacity of COGES (Output 1) and sustainable monitoring/support system (Output 2), the improvement of learning quality (Output 3) and resource management system (Output 4) would be realized. As a result, the Project Purpose would be realized.
- 3) The refinement of the CCC model in the pilot area is still in process, therefore each CCC varies in its function. The challenge of the CCC model is to clarify its responsibilities for the model to be scaled-up.
- 4) Security deterioration of Burkina Faso had an impact on some project activities. And this may be one of the risk factors for the future achievement of the Project Purpose.

(3) Efficiency: High

- 1) The Project made the best use of the previous experiences and materials made in project phase I. The Project also implements activities efficiently by utilizing the facilities and equipment from the project phase I.
- 2) The project successfully established the efficient monitoring system by using the existing educational administrations, and use of existing organization has also fostered the initiative of stakeholders. The national team introduced the new monitoring/reporting system which made input and calculation processes of action plan and annual report more efficient.
- 3) Within the limited project period, the Project additionally implemented many activities with COGES such as development of the Lamp for Africa (UL/A) manual and the French Development Agency (AFD) school construction manual, and provision of information on Ebola haemorrhagic fever.
- 4) The limited preparation period for the dissemination training for six regions due to delay of funds allocation caused by the political turbulence in 2015 may also affect the quality of the COGES training.

(4) Impact: Relatively high

- 1) It is too early to conclude that the Project had an impact on the achievement of the Overall Goal and Super Goal such as the access and improvement of quality learning. However the improvement of access and quality of education has been reported in some schools since the Project started.
- 2) Impacts of CCC on the achievement of pupil learning have been identified through the comparison of educational statistics between pilot and non-pilot communes in Central-North Region.
- 3) The role of school construction site monitoring by COGES is described in the “School Construction Guide”, thus the application of COGES for the school construction process is expected in the pilot sites in the future.
- 4) The project supported training through COGES on prevention, treatment, and surveillance of Ebola haemorrhagic fever with a total of 673,968 participants in the border regions of Mali

and Ghana.

(5) Sustainability: Relatively high

- 1) The PDSEB 2011–2021 states that COGES is one of the important resources for the local education governance to resolve education issues. The establishment of COGES has already been validated as an official structure of the community organization in the decree, therefore the sustainability of the political aspect is high.
- 2) For the organizational aspect, the SCGDE to promote COGES dissemination was established in MENA in March 2014, and 9 staffs have been allocated in the SCGDE. Furthermore while the project has promoted the application of COGES by programs of other divisions of MENA and aid agencies, the function of COGES will be strengthened by receiving further supports including financial resources from those programs.
- 3) For financial aspect, most of activities of PACOGES have been implemented by the budget of MENA, with 74% of project local expenses borne by MENA. In addition the budget from MENA has been sufficiently disbursed for national dissemination of COGES based on the original plan agreed to both Japanese and Burkinabe sides in the Recode of Discussion (R/D). On the other hand, for the dissemination of CCC and strengthening the COGES monitoring system, it is suggested to secure additional budget through upgrading the status of SCGDE.
- 4) For technical aspect, a majority of the national trainers have sufficient skill to carry out training on the establishment of COGES. However, it is necessary to create training mechanism for newly assigned main actors and to continue training for existing actors for COGES management.

3. Factors that Promoted Realization of Effects

(1) Factors concerning the Planning

Focusing COGES activity on improving quality learning

The Project has focused on introducing COGES activities that directly support improvement of pupils' learning based on the strong needs of the community and parents. Accordingly, the activities of COGES have shifted from upgrading school infrastructure to supporting teaching and pupils' learning. The participation of the community has been improved by sharing the results of pupils' learning achievement.

(2) Factors concerning the Implementation Process

Mainstreaming project activities to the national policy

Taking positive approaches to mainstream PACOGES activities to the national policy of MENA by the project, has promoted the application of COGES by programs of other divisions of MENA and aid agencies. Consequently the function of COGES has been strengthened by receiving further support including financial resources from those programs, and its application has perpetuated the positive growth cycle of COGES promotion.

Highly committed counterparts

As the government of Burkina Faso covers major proportion of project activity costs (74%) in Burkina Faso, the most of project activities are implemented with the initiative of Burkinabe counterparts. All training of PACOGES was supported and monitored by national team members. They also took a strong initiative to resolve strikes of participants in the training for school principals through persistent negotiation with the teachers' association.

4. Factors that Impeded Realization of Effects

(1) Factors concerning the Planning

Involvement of private schools

The rate of participation in training and the establishment of COGES is relatively low in the urban area, which accommodates many private schools. The COGES in private schools have also faced difficulties collecting contributions and financial resources from the community. Even though some of the school principals are willing to establish COGES, a lack of understanding of owners about the function of COGES is a major factor hindering installation in private schools.

Coordination with Parental Association (APE) and Mothers' Association (AME)

Due to the lack of understanding about the COGES philosophy, certain COGES have faced difficulties in duplicating its functions with existing associations such as APE and AME.

(2) Factors concerning the Implementation Process

Main actors on field not trained (schools Principals, educational advisors)

Some school principals without COGES training have faced difficulties in following the appropriate process of COGES management. As the school principals (Secretary General of COGES) have important roles to facilitate COGES meetings and compile action plan and annual report, the continuous COGES training system for newly appointed principals is required.

Delay of training budget due to the political change

The installation process fell behind the plan because the allocation of its budget was postponed due to the political crisis in Burkina Faso in October 2015. The insufficient period for the national dissemination in six regions may affect the quality and participation of the COGES training sessions. The election at region/district level will be held in January 2016, so there is a risk of personnel changes of C/P and persons concerned.

5. Conclusion

Despite of the short Project period and the political turmoil in Burkina Faso, most of the activities have been implemented as planned, and Project indicators are being attained. The function of COGES has been strengthened through the process of providing each Output. The Project also made positive contributions to the attainment of the Super Goal which aims to improve enrolment, dropout, completion and the graduation examination of primary education (CEP) pass rates.

First, as the needs of the target groups and policies of Burkina Faso and Japan have remained consistent with the Project Purpose even at the time of the Mid-term review, Relevance is evaluated as High. Since some indicators of the Project Purpose and Outputs have not been attained at the target level, Effectiveness is evaluated as Moderate. Project activities have been implemented as planned despite the short Project period and the political changes, and the quality, quantity, and timing of the inputs are also appropriate, thus the Efficiency of the Project is evaluated as High. Although detailed impact studies are required, some contributions of COGES activities on the Project's Overall Goal and Super Goal have been identified. Therefore, the Impact of the Project is evaluated as Relatively High. Because political and financial aspects of sustainability were identified as high, further capacity building through strengthening continuous training and monitoring mechanisms is expected during the remaining period. Thus, Sustainability is evaluated as Relatively High.

6. Recommendations

(1) Reinforce capacity of actors after the nationwide dissemination (by the end of the project)

The continuous strengthening of the actors' capacities is highly required in order to ensure the implementation of COGES activities, including planning and reporting. It is recommended to enhance the existing mechanisms, the in-service training of teachers and educational supervisors, to reinforce the capacities of actors at different levels.

(2) Take measures for untrained actors (by the end of the project)

It is recommended that the project consider the establishment of training mechanism for the untrained personnel (new teachers, the schools' principals and inspectors) through the educational conferences of MENA and CCC, and the integration of COGES training into the curriculum of the National Teachers Academy for Primary Education (ENEP)/the Private school Teachers Academy for Primary Education (EPFEP) and the High level Education Institute of Koudougou University (ENS/UK).

(3) Formulate a strategy of COGES in private schools and urban schools (by the end of the project)

MENA is recommended to formulate a better strategy of setting up COGES in private schools and urban schools, and to review the target groups of the project if needed.

(4) Reinforce the COGES monitoring system (by the end of the project)

In order to ensure the sustainability of COGES activities, it is necessary to consolidate i). the monitoring mechanism by the educational supervisors, ii). various monitoring sheets, iii). The reporting/recovering system of monitoring sheets/reports, and iv). the capacity development of personnel in charge of data entry and analysis. In addition, MENA is recommended to institutionalize the periodic regional meetings related to COGES activities.

(5) Stabilize the CCC model (by the end of the project)

Although the current CCC model has been chaired by the mayor, the unavailability of the mayor as president may cause the stagnation of the CCC activity. Therefore a review of the CCC model is recommended. With sharing the achievements and challenges of CCC pilot, the project should disseminate the model in three regions. Then the CCC model should be approved jointly by MENA and the Ministry of National Land Development and Decentralization (MATDSI), and the project will prepare to disseminate the CCC model to other regions within the project period.

(6) Improve the learning conditions through COGES activities (by the end of the project)

In the context of improving pupils' academic performance in the long term, it is important for pedagogical interventions to target not only the Grade 6 (CM2) Classes but also the lower classes. Moreover, it is found useful to make a strategy to improve the pupils' academic performance through a pilot activity in one region in 2016.

(7) Revise the Project Design Matrix (by June 2016)

In the Mid-term evaluation, it is recommended to revise indicators to make them measurable and to revise PDM officially by MENA. The SCGDE should also prioritize the activities planned by the time of the PDM revision with considering the remaining period of the project.

(8) Upgrade SCGDE to the technical department (by the end of the project)

The SCGDE plays a very important role in the process of making sustainable the appropriate functioning of COGES and CCC. The intervention field of SCGDE is getting larger with the integration of the basic education from the preschool to the secondary. Moreover, COGES has been applied to various activities such as school meal program and school grants. Therefore, it is desirable for SCGDE to be upgraded to the technical department.

第1章 中間レビュー調査団の概要

1-1 調査団派遣の経緯と目的

ブルキナファソにおいては、初等教育の TBA は 86.9% (UNESCO、2013 年) と大幅に改善した一方で、最終学年残存率は 69.1% (UNESCO、2012 年) と依然として教育の質に大きな課題を抱えている。このような状況から、ブルキナファソ政府は 2007 年の新教育基本方針の制定により教育制度の改革に着手し、地方分権化・地方への権限移譲を推進するなかで、教員数の不足や教室の過密状態の改善とともに地域・家庭への働きかけに力を入れている。具体的には、各学校に住民参加による COGES を設置し、学校レベルの運営管理を行うとともに、学習成果や教員の行動などを監視する責任をもたせることを推進している。

そのため、JICA は 2009 年より機能する COGES のモデルを形成するため PACOGES フェーズ 1 によりパイロット 4 州において COGES の設置及び能力強化を支援してきた。ブルキナファソ政府はこれを全国普及のモデルとして正式に位置づける省令を發布し、またブルキナファソ「PDSEB (2012～2021 年)」においても COGES の全国・全小学校への設置が活動目標の一つとして掲げられた。このような状況下、ブルキナファソ政府は承認した COGES モデルを全国に普及させるため、改めて日本政府・JICA に技術協力を要請したことから、PACOGES フェーズ 2 を 2014 年 4 月 (専門家派遣開始は 2014 年 5 月) から 3 年間の予定で開始した。PACOGES フェーズ 2 では、全国の小学校に COGES を設置するためのコミュニティを対象とした研修実施や設置された COGES の活動を支援・モニタリングする体制の構築・強化に取り組んでいる。また、設置された COGES の活動の有効事例の形成 (例: 学習成果の向上に寄与する活動) や学校に対する補助金の適切な運営管理に関する指導などを実施している。

今回実施の中間レビュー調査では、ブルキナファソ MENA と合同で本プロジェクトのこれまでの投入、各活動とその結果を確認し、成果指標及び目標の達成度の現状を整理・分析のうえ、合同評価報告書に取りまとめる。また、その結果を踏まえ、プロジェクトの残り期間の課題及び今後の方向性について確認し、必要に応じ、評価指標の整理・具体化を含む PDM の改訂について提案し、ブルキナファソ政府と協議・合意した協議議事録 (Minutes of Meeting。以下「M/M」という。) に署名・合意することを目的とした。

1-2 調査団の構成

担当事項	氏名	所属	現地調査期間
総括・団長	國枝 信宏	JICA	1月12～22日
協力企画	阿部 かなえ	JICA	1月12～22日
評価分析	伊藤 治夫	アイコンズ	1月5～22日

1-3 調査日程

本中間レビュー調査の現地調査期間は、2016 年 1 月 5～22 日 [うち、官団員 (団長及び協力企画は 1 月 11～22 日)] である。

	月日	曜日	コンサルタント（評価分析）	官団員（団長/協力企画）
1	2016/1/5	火	ブルキナファソ到着	
2	2016/1/6	水	JICA 事務所表敬 対処方針会議 専門家チームとの打合せ プロジェクトカウンターパートとの面談	
3	2016/1/7	木	中央北部州 Ourgou Manega CEB / CCC / COGES 訪問	
4	2016/1/8	金	中央北部州 Korsimoro CEB/CCC/COGES 訪 問	
5	2016/1/9	土	資料整理	
6	2016/1/10	日	資料整理	
7	2016/1/11	月	中央州 Kadiogo 県 CEB/COGES 訪問	ブルキナファソ到着
8	2016/1/12	火	基礎教育研究総局（DGREB）との面談 教育施設資機材調達局（DAMSSE）との面談 PDSEB 常設事務局（SP/PDSEB）との面談	
9	2016/1/13	水	MENA 表敬（現地調査中間報告） 専門家チームとの打合せ プロジェクトカウンターパートとの M/M 協議 AFD との面談	
10	2016/1/14	木	中央北部州サンマテング県 Pissila CEB/COGES 訪問	
11	2016/1/15	金	中央北部州ナメンテング県 Zeguedeguen CEB/CCC/COGES 訪問	
12	2016/1/16	土	団内協議、評価グリッド案修正、M/M 案作成	
13	2016/1/17	日	団内協議、評価グリッド案修正、M/M 案作成	
14	2016/1/18	月	専門家チームとの打合せ	
15	2016/1/19	火	プロジェクトカウンターパートとの M/M 協議	
16	2016/1/20	水	コミュニティ開発基金（FDC）との面談 国連児童基金（UNICEF）との面談 Handicap International との面談	
17	2016/1/21	木	M/M 協議	
18	2016/1/22	金	M/M 署名 ブルキナファソ日本国大使館表敬 JICA 事務所報告 ワガドゥグ発（協力企画団員は OJT のため残留）	

1-4 主要面談者

<MENA>

M. Yombo Paul DIABOUGA：事務次官

M. Sanon Ibrahima：基礎教育研究総局（DG de la recherche en éducation de base。以下「DGREB」
という。）局長

M. Abdel Aziz Dao：教育施設資機材調達局（Direction de l'Allocation des Moyens spécifiques aux
structures éducatives。以下「DAMSSE」という。）全国調達オフィサー

M. Bamouni Innocent：DAMSSE 学校保健・衛生課長

M. Kabore Ibrahima：PDSEB 常設事務局（Secrétariat Permanent de PDSEB。以下「SP/PDSEB」と
いう。）事務局長

<プロジェクトチーム (SCGDE/PACOGES) >

Mme. KONFE/TASSEDEDO Fatimata : ナショナルコーディネーター

Mme. COMPAORE Zatarra : 研修・能力強化ユニット

M. KIEMDE Joël : イノベーション・調整ユニット

M. KINDA Adama : モニタリング評価ユニット

<国民教育・州地方局 [Direction Régionale de l'Education Nationale (ex- DREBA)。以下「DRENA」という。]>

M. Wedragp Musa : DRENA 中央北部州 局長

<国民教育・県地方局 [Direction Provinciale de l'Education Nationale (ex- DPEBA)。以下「DPENA」という。]>

Mme. OBOULBIGA Célestine : DPENA Kadiogo 県 局長

M. SAWADOGO Aimé : DPENA サンマテンガ県 局長

M. SAWADOGO Yondi Simon : DPENA ナメンテンガ 局長

<他ドナー>

M. Adama Traore : UNICEF 教育担当

M. Remy B. Habou : FDC 教育担当

M. Estelle Koudougou/Kabore : Handicap International

インクルーシブ教育プロジェクトコーディネーター

Mme. Anne-Marie Sawadogo/Zoure : AFD 教育担当

<ブルキナファソ日本国大使館>

倉富 健治 : 参事官

小林 久美子 : 専門調査員

<JICA 事務所/政策アドバイザー>

森下 拓道 : JICA 事務所長

田淵 和恵 : JICA 事務所 企画調査員

Mme. Ouibga Kaligueta : JICA 事務所 教育担当

海老原 知子 : 政策アドバイザー

<PACOGES 専門家>

杉本 記久恵 : PACOGES 専門家 チーフアドバイザー/学校運営

太田 恵美 : PACOGES 専門家 業務調整/研修計画

木下 晶子 : PACOGES 専門家 業務調整/モニタリング

第2章 プロジェクトの概要

2-1 基本計画

名称	学校運営委員会支援プロジェクトフェーズ2
協力期間	2014年4月1日～2017年4月30日
上位目標	全国の小学校において参加型学校運営が改善される
プロジェクト目標	全国の小学校においてCOGESが機能する
期待される成果 (アウトプット)	1. COGESが全国で設置され、関係者の能力が強化される 2. COGESの持続的なモニタリング支援システムが強化される 3. コミュニティ参画を通じたCOGESによる学習成果向上活動の有効性が実証され、全国で共有される 4. COGESのリソース運営管理システムが強化され、COGESの能力が強化される

2-2 プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)

JICAでは、1990年代前半から、プロジェクト管理手法の一環としてプロジェクト・サイクル・マネジメント (Project Cycle Management。以下「PCM」という。) 手法を導入した。PCM手法において中心的役割を果たすのは、PDMと名づけられたプロジェクト計画概要表である。これは「目標」「活動」「投入」などのプロジェクトの主要構成要素や、プロジェクトをとりまく「外部条件」との論理的相関関係を示したものである。

本プロジェクトにおいても、2012年4月のR/D締結時にPDM(第1版)を策定し、R/Dの付属文書として承認した。その後中間評価を経て2014年10月に、主として指標をより具体化するための改訂が行われている。本終了時評価は改訂されたPDMに基づいて実施された。PDMは付属資料1に示す。

第3章 評価の方法

3-1 評価設問と必要なデータ・評価指標

本中間レビューは『新 JICA 事業評価ガイドライン第 1 版』（2010）に準拠して実施した。PDM やその他関係資料に基づいて評価設問（調査すべき項目）を検討し、プロジェクトの実績、実施プロセス、評価 5 項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）に関する評価グリッドを作成した。実績、実施プロセス、評価 5 項目の定義は以下のとおりである。

本中間レビューに用いた評価グリッドは付属資料 2 に示す。

(1) 実績

投入、成果、プロジェクト目標、上位目標に関する達成度、もしくは達成予測に関する情報。

(2) 実施プロセス

活動の実施状況やプロジェクトの現場で起きている事柄に関するさまざまな情報。

(3) 評価 5 項目

妥当性	開発援助と、ターゲットグループ・相手国・ドナーの優先度並びに政策・方針との整合性の度合い
有効性	開発援助の目標の達成度合いを測る尺度
効率性	インプットに対するアウトプット（定性並びに定量的）を計測。開発援助が期待される結果を達成するために最もコストのかからない資源かを確認するため、通常、他のアプローチとの比較を行う。
インパクト	開発援助によって直接または間接的に、意図的または意図せずに生じる、正・負の変化。開発援助が、地域社会・経済・環境並びにその他の開発の指標にもたらす主要な影響や効果を含む。
持続性	ドナーによる支援が終了しても、開発援助による便益が継続するかを測る。開発援助は、環境面でも財政面でも持続可能でなければならない。

出所：新 JICA 事業評価ガイドライン第 1 版 JICA 評価部（2010）

(4) 評価指標

PDM Ver1 は本プロジェクト詳細計画策定調査において、作成され、2014 年 2 月に承認されている。しかし、PDM Ver1 には具体的な数値目標等が記載されてなかったことから、本現地調査の前半に専門家、ブルキナファソ側カウンターパート、調査団との協議により、本中間レビュー調査において採用する指標について、下記の表 3-1 のとおり指標を設定し合意した。この指標に関しては PDM の修正を別途提言しており、PDM 修正版に反映される予定である。

表 3-1 中間レビュー評価指標

	PDM Ver.1 (2014年2月)	修正 (2016年1月)
上位目標	1. 各学校の就学者数 (男女別) 2. COGES により設置された仮設教室数 3. 補修授業時間数 4. 夜間学習 (家庭でのグループ学習を含む) 時間数	1. 各学校の就学者数 (男女別) 2. COGES により設置された教室数 3. COGES により組織された補習授業時間数 (60 時間/COGES 以上) 4. COGES により組織された夜間学習時間数 (15 時間/COGES 以上)
プロジェクト目標	1. 学校活動計画の活動を実施した COGES の割合 (%) 2. 民主的な選挙により設立された COGES の割合 (%) 3. 学校活動計画を策定し、年間総括表を策定した、COGES の割合 (%) 4. 学校活動計画と、年間活動総括表の、回収率 (%) 5. 参加型学校運営管理への、住民の参加度・財政的貢献度	1. 80%の COGES が学校活動計画を実施する 2. COGES の学校活動計画への予算執行率が平均 60%以上となる 3. 各 COGES が平均、会計報告 1 回、総会 2 回、事務局会議 3 回を実施する
成果 1	1.1 民主的選挙で選出・設定された COGES の割合 (%) 1.2 学校活動計画を策定し、年間総括表を策定した、COGES の割合 (%) 1.3 学校活動計画と、年間総括表の回収率 (%)	1.1 全国の学校の 80%に民主的選挙により COGES が設立される 1.2 COGES の 75%から学校活動計画と、年間総括表が回収される
成果 2	2.1 地方分権化・分散化組織の学校運営管理担当部局・役割に係る調査報告書 2.2 年当たりの、プロジェクトサイトでの、MENA によるモニタリング回数 (年 XX 回) 2.3 年当たりの、プロジェクトサイトでの CCC による、総会の開催回数 (年 XX 回) 2.4 州レベル・県レベルでの、年当たり COGES ・モニタリングに係る会合開催回数 (最低・年 XX 回) 2.5 CCC のモデル評価と結果集積 (情報共有) に係るワークショップ (WS) 開催実績 2.6 MENA による、CCC を通じた COGES モニタリング・モデルに係る検証・評価実績	2.1 地方分権化学校運営の組織が MENA に設置される 2.2 75%の COGES が CEB により少なくとも 2 回/年モニタリングされる 2.3 パイロットサイトの 75% の CCC が年 3 回の総会を開催する 2.4 州レベルでの COGES モニタリングのための総会が年 1 回以上開催される 2.5 CCC のモデルが構築、評価、承認される
成果 3	3.1 学校運営課題別・地域別グッドプラクティスの情報集積状況 3.2 メディアとフォーラムにおけるグッドプラクティスの共有実績	3.1 パイロットサイトで学習効果向上に係る COGES の活動の有効性が確認される 3.2 パイロットサイトで学習効果向上に係るグッドプラクティスが集積される 3.3 80%の COGES に学習効果向上に係るグッドプラクティスが共有される
成果 4	4.1 学校運営課題別・地域別グッドプラクティスの情報集積状況 4.2 メディアとフォーラムにおけるグッドプラクティスの共有実績	4.1 リソース管理に係るグッドプラクティスが集積される 4.2 80%の COGES にリソース管理に係るグッドプラクティスが共有される

3-2 評価実施体制

本中間レビュー調査はブルキナファソ側と日本側メンバーにより、合同評価団を組織して実施した。ブルキナファソ側からは、4名の合同評価者が任命され、全評価期間にわたって日本側調査団と現地調査に同行し、また M/M 協議等に参加することにより双方の意見を取り入れることにより、評価結果及び提言等を取りまとめた。

(1) ブルキナファソ側メンバー

Ms. KONFE/TASSENBEDO Fatimata	ナショナルコーディネーター
Ms. COMPAORE Zatará	プロジェクトメンバー
Mr. KIEMDE Joël	プロジェクトメンバー
Mr. KINDA Adama	プロジェクトメンバー

(2) 日本側メンバー

総括・団長	國枝 信宏	JICA 人間開発部 基礎教育グループ 国際協力専門員
協力企画	阿部 かなえ	JICA 人間開発部 基礎教育グループ 基礎教育第二課 ジュニア専門員
評価分析	伊藤 治夫	株式会社アイコンズ 主任コンサルタント

3-3 評価実施方法

評価グリッドに基づいて以下の方法で情報・データを収集し、評価分析を行った。また情報源は、既存の文献・各種報告書〔合同調整委員会（Joint Coordinating Committee。以下「JCC」という。）発表資料、専門家報告書、活動実績資料、年次総括表等〕（付属資料4参照）に加え、現地調査において、質問票の配付、インタビュー調査、視察等を実施し、必要な情報・データの収集を行った。

3-4 評価調査の制約・限界

本プロジェクトの対象はブルキナファソ全土であるが、今回の現地調査で訪問できた COGES は時間上の制約から一部の地域の COGES にとどまるため、この結果の一般化には限界がある。一方で調査対象の COGES を都市部、農村部の区分及び機能度の高低等に配慮して選定することにより、一部の地域ではあるが、調査対象の COGES の代表性を確保し、客観性の高い調査をめざした。また、調査期間中に発生したテロにより、外出禁止令が発動され、一部の面談が中止となったため、文献調査等により補完した。

第4章 プロジェクトの実績

4-1 投入実績

日本側、ブルキナファソ側からの投入は計画どおり実施され、成果の発現に貢献している。詳細は付属資料1のANNEX1参照。

(1) 日本側投入

日本側投入の詳細は以下のとおりである。

1) 専門家派遣

延べ3名の長期専門家と2名の短期専門家が派遣された（表4-1参照）。

表4-1 専門家派遣実績

区分	役職	氏名	派遣期間
長期専門家	チーフアドバイザー／学校運営 ⁴	杉本 記久恵	2014年5月～2017年4月
	業務調整／研修計画	太田 恵美	2014年5月～2016年6月
	業務調整／モニタリング	木下 晶子	2015年5月～2017年4月
短期専門家	チーフアドバイザー	原 雅裕	2014年8月 2014年10月
	視聴覚教材作成	山城 吉徳	2014年12月～2015年2月

出所：プロジェクト報告書

2) 研修員受入（2015年12月時点）

ナショナルトレーナー、プロジェクトフォーカル・ポイント（FP）など計7名を本邦研修に派遣した。ニジュール「みんなの学校」案件群経験共有セミナーにはPACOGESメンバーを中心とした計13名が参加した（表4-2参照）。（参加者リストは付属資料1ANNEX1-4参照）

表4-2 本邦国別研修員受入状況

研修コース名	受入先	人数	受入期間
教育行財政－基礎教育の質、内部効率性、格差に焦点をあて－ (B)	JICA 関西（神戸大学との協力）	2	2014年11月3日～12月13日
		5	2015年11月1日～12月13日
「みんなの学校」案件群経験共有セミナー	ニジュール	13	2015年3月10～13日

出所：プロジェクト報告書

3) 機材供与（2015年12月時点）

2015年12月までに4,986万200 Fcfa（1,002万円）⁵に相当する機材を供与した。主な供

⁴ 2015年5月までは業務調整／学校運営として派遣。

⁵ 1Fcfa=0.201円（2016年1月JICA統制レート）。

与機材は、MENA に対するコンピュータ、プリンター、車両（2 台）などである（機材詳細は付属資料 1 ANNEX 1-2 参照）。

4) 在外事業強化費（2015 年 12 月時点）

在外事業強化費として、2015 年 12 月までに 4 億 3,652 万 9,890 Fcfa（約 8,700 万円）⁶ 支出した。2015 年 12 月までの年別支出実績は表 4-3 のとおりである。プロジェクト開始時の R/D 締結の際に合意された計画金額の 90% に達しており、ほぼ計画どおりの予算執行が実施されている（詳細は付属資料 1 ANNEX 1-6 参照）。

表 4-3 JICA 側経費支出実績 (Fcfa)

	計画 (R/D)	実績	実績/RD
2014年	259,670,000	126,067,295	49 %
2015年	226,720,000	310,462,595	137 %
合計/平均	486,390,000	436,529,890	90 %

出所：プロジェクト

(2) ブルキナファソ側投入

1) 施設などの提供

プロジェクト事務所及び専門家執務スペースとして、ワガドゥグ市内の MENA 施設内の執務室及び家具などが提供されている。

2) カウンターパート配置

MENA 事務次官をプロジェクトの責任者とし、基礎教育総局〔Direction Générale de l'Education de Base (ex- DGEBA)。以下「DGEB」という。〕がプロジェクトの実施における調整に責任を負う。また、プロジェクトの実質的なカウンターパート機関は MENA/SCGDE（2015 年 7 月に設置）であり、課長は PACOGES のナショナルコーディネーターを兼任している。同課は三つのユニット（研修・能力強化、イノベーション・調整、モニタリング評価）から構成され、現在 11 名のスタッフが配属され、COGES の推進業務を専属で実施している。州レベルには全国 13 州の DRENA にそれぞれ FP が 1 名配置されており、更に全 45 県の DPENA にも同様に FP が 1 名配属されている。（詳細は付属資料 1 ANNEX 1-3 参照）。一方で実際にナショナルトレーナーとして全国の DRNA、DPNA、CEB 及び教員養成校、高等教員養成校指導者等から選定され、研修を受講したトレーナーは全国に 82 名存在する。

3) ローカルコスト負担（2015 年 12 月時点）

ブルキナファソ側からローカルコストとして 2015 年 12 月時点までに 12 億 7,429 万 5,897 Fcfa（約 2 億 4,800 万円）⁷ が投入されている。さらにプロジェクト開始時の R/D において合意された計画金額に対しても 86% が支出され、ほぼ計画どおりの予算執行がなされている。日本側の負担金額（約 8,700 万円）に対してブルキナファソ側はプロジェクト経費を 74% 支払っており、主体的な予算措置が実施されている（詳細は付属資料 1 ANNEX 1-2 参照）。

⁶ 1Fcfa=0.201 円（2016 年 1 月 JICA 統制レート）。

⁷ 1Fcfa=0.201 円（2016 年 1 月 JICA 統制レート）。

表4-4 ブルキナファソ側経常経費支出実績 (Fcf)

	計画 (R/D)	実績	実績/R/D
2014年	583,013,493	463,233,897	79%
2015年	901,437,024	811,062,000	90%
合計/平均	1,484,450,517	1,274,295,897	86%

出所：プロジェクト

4-2 活動実績

計画された活動は、政変などの混乱にもかかわらず、予定された活動は付属資料 1 ANNEX 3 の活動計画 (PO) 表に示すとおりほぼ計画どおり実施されている。中間レビュー時点では成果 1 (COGES 設置・機能化)、成果 2 (モニタリング強化) に係る活動がほぼ完了し、活動の中心は成果 3 (学習効果の実証・共有)、成果 4 (リソース運営管理強化) に移行している。下表 4-5 の PDM の活動に沿った実績と今後の計画 (斜体) のとおり、残された期間での活動が多く計画されており、活動の優先順位づけが求められる。

表4-5 主な活動の実績と今後の計画 (2014年5月~2015年12月)

活動 (PDM)	実績・計画
1.1 COGES 全国普及実施計画の作成	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • COGES 全国普及実施準備 WS (2014年6月) • 第1回普及の予算計画作成支援 (2014年6~7月) • 全国普及展開に係る支払い基準作成支援 (2014年7月) • 第2回普及の予算計画作成支援 (2014年11月) • 2015年活動計画における全国普及予算の計上支援：(2014年11月~2015年1月)
1.2 マニュアル複製とビデオ教材の現地語吹き替え	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • COGES 運営マニュアルの複製 -COGES ガイド：1万6,400冊 -COGES ガイド要約集：1万4,800冊 • COGES 研修用ビデオ教材の現地語吹き替え作業 (2014年10月~2015年2月) • COGES メンバー選挙ポスターの作成・配布 (2015年10月)
1.3 全国普及開始に係るナショナルトレーナー対象準備研修	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ナショナルトレーナー再研修実施 (2014年8月) 参加者：61名 • 教員養成校責任者・教員研修 (2014年12月) 参加者：全国7教員養成校、高等教員養成校指導者31名 • ナショナルトレーナーの追加に係る省令作成支援 (2015年1月~) • ナショナルトレーナー再研修 (2015年3月) 参加者：81名
1.4 全国普及開始に係る情報共有セミナーの開催	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • フェーズ2キックオフセレモニー (2014年6月) • 全国普及展開開始セレモニー (2014年7月) • 第1回プロジェクトJCC (2014年6月)

1.5 COGES 推進のためのマスメディアを通じた啓発活動の実施	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • COGES 全国普及のためのラジオ・テレビ啓発用教材の作成 • ラジオ放送を通じた啓発活動 (2015 年 2~10 月) 全国 13 州の 51 ラジオ局において合計 285 回の啓発活動を実施 (州平均 21.9 回) • テレビ放送による啓発活動 (2015 年 3 月) 全国 (全州・全県) において視聴が可能な国立放送を通し、5 分番組を 1 回、90 秒番組を 24 回の啓発 • MENA によるマスメディアを活用した COGES 推進のための啓発活動 ローカルラジオを通じた COGES 全国普及の案内放送 (Sud-Ouest 州、2015 年 9 月) • COGES に関する資料等の作成 -COGES アプローチのパンフレット作成 (2014 年 11 月) -MENA 発刊雑誌 ARC における COGES の紹介 (2015 年 9 月) • 中央州を対象にラジオ、テレビを通じた啓発 (2015 年 12 月)
1.6 州の関係者 (DREBA、DPEBA、州知事、県知事、コミューン長) を対象とした COGES 設立に関する情報共有セミナーの実施	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 10 州における州・地方分権分散化機関の責任者対象研修 -第 1 回普及 (2014 年 7~8 月) -第 2 回普及 (2015 年 4 月) 参加者：州知事/県知事：41、DRENA/DPENA：46、市長 (群知事)：278、APE/AME：61、計 426 名
1.7 州・県レベルの FP、視学官、コミューン教育担当者を対象とした民主的な COGES 設立に関する研修の実施	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 州・県レベルの FP、行政官、コミューン教育担当者研修 -第 1 回普及 (2014 年 8~9 月) -第 2 回普及 (2015 年 7 月) 参加者：DRENA-FP、DPENA-FP、州内の全 CEB の全行政官、州内の全コミューンの教育担当者：計 1,228 名
1.8 校長を対象とした COGES 設立・参加型学校運営管理に関する研修の実施	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • COGES 設立・参加型学校運営管理に関する校長研修 -第 1 回普及 (2014 年 10 月) -第 2 回普及 (2015 年 4~5 月) 参加者数：計 9,434 名
1.9 COGES メンバーを対象とした活動計画作成・参加型学校運営管理に関する研修の実施	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • COGES メンバーを対象とした活動計画作成・参加型学校運営管理に関する研修 参加者：4 万 36 名、9 州の各 COGES より 5 名 (事務局から SG/校長・事務局長・財務担当者、法的メンバーより APE 会長・AME 会長)
1.10 各種研修のモニタリング実施	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ナショナルトレーナー再研修でのモニタリング (計 5 回) • 州・地方分権分散化機関の責任者対象研修でのモニタリング (計 2 回) • 州・県レベルの FP、行政官、コミューン教育担当者研修でのモニタリング (計 2 回) • COGES 設立・参加型学校運営管理に関する校長研修でのモニタリング (計 2 回) • COGES メンバーを対象とした活動計画作成・参加型学校運営管理に関する研修でのモニタリング (計 2 回)
1.11 情報共有セミナー開催	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • フェーズ 2 キックオフセレモニー (2014 年 6 月) • プロジェクト JCC (第 1 回：2014 年 6 月)、(第 2 回：2014 年 12 月)、(第 3 回：2015 年 7 月) • ナショナルトレーナーによる優良 COGES/CCC 訪問 (2014 年 8 月) • PDSEB 年次評価合同ミッションへの参加 (2015 年 4 月) • MENA 中央関係者を対象とした COGES 研修の開催 (2015 年 7 月) • 教員養成校における COGES 運営に関する公開講座 (2015 年 5 月) • MENA/研究統計総局 (Direction générale des Etudes et des Statistiques Sectorielles。以下「DGESS」という。)による COGES グッドプラクティス集作成 WS への参加 (2015 年 10 月、MENA/DGESS 主催) <p>【実施予定の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 幼・小・中一貫教育における COGES モデルのコンセプト検討 (2016 年 1 月以降) • 本 WS を通じて明確化されたコンセプトに基づき、2013 年の COGES 省令の改訂作業 (2016 年内)

1.12 全国展開中期段階で活動計画の評価と見直し	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回普及の中間評価 WS (2014年11月) 第1回普及総括作業並びに WS (2014年12月) 第2回全国普及中間評価 WS (2015年6月) <p>【実施予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国普及終了時評価 WS (2016年1月を予定)
2.1 基礎教育セクターにおける地方分散化組織、地方分権化組織の運営管理における COGES 担当部局の役割の調査、提言	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内における各種調査、提言 -フェーズ2 キックオフセレモニーにおける MATD との関係強化に係る提言(2014年6月) -学校建設におけるコミュニケーション・COGES の役割に係る提言 AFD 新規プロジェクト追加フィージビリティ調査 (2015年6~7月) -PDSEB 第1回 JCC (2015年7月) 近隣地域における各種調査、提言 -西アフリカ地方分権化情報収集調査 (2015年2月) -みんなの学校プロジェクト群地域経験共有セミナー (2015年3月、ニジェール) <p>【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> SCGDE の機能強化 (2014年6月~現在)
2.2 フェーズ1対象地における MENA によるモニタリングシステム及び CCC の現状評価、提言	<p>【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> MENA によるモニタリングシステムの現状評価と提言 -モニタリングシート並びにレポートシステムの改善と評価 CCC の現状評価並びにモデル改善のための WS における提言 (2014年9月) CCC ガイド改定作業 (2015年11月)
2.3 パイロット地域における行政コミュニケーションと MENA の協働によるモニタリング (定例会議も含む) 及び CCC モデルの実証	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> CCC アクター研修 (2015年1月) -参加者15 コミュニンの市役所事務次官並びに教育担当者、視学官長、州・県 FP : 計55名 CCC 設置総会 (2015年2月) CCC 活動計画作成 (2015年2月) CCC 中間評価総会 (2015年7月) CCC 年次総括総会 (2015年9~10月) <p>【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> CCC パイロットの結果に関する詳細な分析 (2015年11月~現在) <p>【実施予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> CCC パイロット経験共有 WS (2016年2月) ガイド改訂作業 (2015年12月~2016年1月)
2.4 州レベル CCC フォーラムの開催 (女子就学等)	<p>【実施済み】</p> <p>州レベルフォーラムに替えて、コミュニケーションレベルの「地域連携型教育開発」の取り組みを実施</p>
2.5 対象パイロット地域におけるコミュニケーションと MENA の協働行政によるモニタリング (定例会議も含む) 及び CCC モデルの承認	<p>【実施予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> CCC モデルの承認と文書化 MENA/MATD 上層部会合を開催し、CCC モデルの成果の共有、持続的なモデルへの最終化 (2016年2月) MENA/MATD による合同省令の発行を予定 (2016年内)
2.6 対象パイロット地域におけるコミュニケーションと MENA の協働行政によるモニタリング (定例会議も含む) 及び CCC モデルの共有	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> パイロット地域における CCC モニタリング CCC の情報・経験共有 -みんなの学校プロジェクト群地域経験共有セミナーへの参加 (2015年3月、ニジェール) -AFD との CCC モデルに関する情報共有 (2015年6~7月) <p>【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> CCC モニタリング用紙の回収 (2015年11月~現在) 年次会合の実施方法の再検討 <p>【実施予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> CCC モデルの3州への普及 (中央北部州、中央東部州、中部プラトー州) MENA による CCC 全国普及 (2016~2018年度予算)

<p>3.1 近隣地域及びブルキナファソにおける COGES 活動を通じた（コミュニティ参加による）学習成果の向上のための活動に関する調査の実施と評価</p>	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 近隣地域 -みんなの学校プロジェクト群地域経験共有セミナーへの参加（2015年3月、ニジェール） ● ブルキナファソ国内 -ベースライン調査の実施（2014年9～12月） -PDSEB/教育の質グループによるロードマップ作成WSへの参加（2015年1月） -第3回PDSEB年次評価合同ミッションを通じた評価と提言（2015年4月） -2014年学習達成状況評価調査結果報告書認定WS（MENA/DGESS主催）への参加（2015年5月） <p>【実施予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2016年に実施する授業外学習支援の取り組みと学習成果の関連調査実施（2016年1～9月） ● DGESSによる教育統計指標を用いたCOGES活動と学習成果の評価 ● 試験計画局による初等教育修了資格（CEP）結果とCOGES介入の関連に関する調査
<p>3.2 学校レベルで教育の質改善の取り組みを行う他の関係者との情報共有と意見交換会の開催</p>	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校レベルで教育の質改善の取り組みを行う他の関係者との情報共有と意見交換WS（2015年2月） ● MENA/イカム（École de Qualité Amie des Enfants。以下「EQAmE」という。）⁸との情報共有と意見交換 ● JICA事務所主催参加型学校運営を通じた教育の質改善に関する研究結果の共有と活用セミナーへの参加（2015年2月） ● PDSEB合同ミッションへの参加（2015年4月） ● PDSEBテーマグループ「質改善グループ」月例会合への参加（2015年2月～現在）
<p>3.3 学習成果向上を目的としたCOGESモデル改善のためのWSの開催</p>	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教室外学習の推進と学習条件改善のための父母支援のためのコンセプト・マニュアル作成WS（2015年11月） <p>【実施予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中央北部州におけるマルチセクターアプローチを通じた教育の質改善と生徒の健康改善の取り組み（2016年1～9月を予定）
<p>3.4 フェーズ1で作成したガイド並びに活動要約集（Aide-memoire）の改訂</p>	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教室外学習の推進と学習条件改善のための父母支援マニュアル（2015年11月） <p>【実施予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上記試行後、マニュアルの改訂作業を行う予定（2016年9月）
<p>3.5 フェーズ1対象地域におけるCOGES全国フォーラム（コミュニティ参加を通じた学習成果向上の取り組みなど）の開催</p>	<p>【実施予定】</p> <p>活動3.1により計画されているCOGESによる学習効果に係る調査結果を共有する</p>
<p>4.1 近隣地域及びブルキナファソにおける、COGESを通じた資源管理（補助金運営管理や給食実施、その他の取り組み）に関する調査の実施と評価</p>	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ブルキナファソにおける給食政策に関する調査と評価 -第3回PDSEB年次評価合同ミッションでのMENAによる学校給食の現況と展望（2015年4月） -国連食糧農業機関（FAO）主催の学校給食に関する教育のベンチマークに係る取り組み〔学校教育分析ツール（Approche Systémique pour le de Meilleurs Résultats Scolaires。以下「SABER」という。）〕分析WSへの参加（2015年7月） -PDSEB第1回JCC（2015年7月） ● コミュニティ参加型学校建設 -AFD新規プロジェクト追加フィージビリティ調査（2015年6～7月） -学校建設ガイド作成への参加（2015年8～9月）

⁸ UNICEFによる児童中心の教育の質向上プログラム。

4.2 ブルキナファソ国内において学校における資源管理(補助金運営管理や給食実施、その他の取り組み)を実施する関係者との意見交換と提言	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校給食 -第2回プロジェクト JCC における情報収集と意見交換 (2014年12月) -MENA/DAMSSE との情報交換 (2015年1月) -省内課題別協議における給食政策に関する情報収集と意見交換 (2015年2月) -学校給食における COGES の関与に関する MENA/DAMSSE との情報収集と意見交換 (2015年3月) -MEF の通達による新方式における COGES の役割に関する MENA/DAMSSE との協議 (2015年6月) -2015/16 年度給食プログラムの展望に係る MENA/DAMSSE との情報収集と意見交換 (2015年10月) -COGES のための給食運営管理に関するコンセプト作成 WS (2015年11月) -PDSEB テーマグループ「質改善グループ」月例会合への参加 (2015年2月～現在) ● 収入創出活動 -COGES を通じた収入創出活動への提言及びサヘル州での UNICEF/JICA によるパイロット事業 -研修モジュールの改訂 WS の開催 (2015年8月)
4.3 近隣地域との情報交換セミナー開催	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● みんなの学校プロジェクト群地域経験共有セミナーへの参加 (2015年3月、ニジュール)
4.4 資源管理の実施に係る COGES 研修の実施	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● COGES を活用したエボラ出血熱対策関連情報の伝達 (2014年12月～2015年3月) ● サヘル州 151 校における AGR に係る COGES 研修 (2015年9～10月) ● 全国 13 州における財務管理に係る COGES 研修の開催 (2015年12月) <p>【現在実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> -COGES による給食運営管理マニュアルの作成 (2015年11月) -COGES によるソーラーランプ管理マニュアルの作成 (2015年11月) <p>【実施予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AGR -サヘル州 151 校における AGR モニタリング -UNICEF との連携を通じた COGES による AGR の試行 (2015/16 年度) -上記試行の評価、研修モジュール・各種用紙の改訂 (2016年7～9月) ● 学校給食関連 -中央北部州での関係者の能力強化 (2016年2月を予定) -上記試行の評価、モデル改善並びにマニュアルの改訂 (2016年7～9月) ● ソーラーランプ管理 -UL/A との連携を通じ、サヘル州・中央北部州・中央プラトー州の 42 校における夜間学習の推進 (2015/16 年度) -中央北部州での教室外学習支援試行へのマニュアルの活用 -UL/A との連携によるソーラーランプ配布における COGES の役割の定着化 ● 学校建設関連 -2016年6月より開始される AFD 新規プロジェクトとの連携を通じた、COGES による学校建設モニタリングの教材作成、能力強化、モニタリング等の実施

4-3 成果の達成状況

【成果1】 COGES が全国で設置され、関係者の能力が強化される

プロジェクトの実施により、フェーズ1での3州を含め、全1万2,613校中1万1,244校(90%)においてCOGESが設置された。COGES設置が困難である私立校を除くとほぼすべての公立学校にCOGESが設置されたことになる。一方で2014/15年度のCOGESからの年次総括表の提出率は目標75%に対して56%にとどまるが、総括表は回収中のため、指標の達成度はこの段階では判断できない。

指標 1.1 : 全国の学校の 80% に民主的選挙により COGES が設立される

プロジェクトの実施により、フェーズ 1 での 3 州を含め、全 1 万 2,613 校中 1 万 1,244 校 (90%) において COGES が設置された。COGES 設置が困難である私立校の比率が高い都市部の Hauts-Bassins 州では、比較的 COGES の設置率が低い傾向にある。設立された COGES のうち、どの程度が民主的な選挙（「COGES ガイド」に沿ったメンバーの選定）を経て設立されたかといった検証はできていないが、聞き取り調査の結果からは、プロジェクト開始後の COGES 設置に際しては、民主的な選挙によるメンバーの選出が厳密に実施されていることが確認された。

表 4-6 COGES 事務局メンバー選挙総会を通して設置された COGES 数と割合

州	学校数	COGES 数	設置率
1. Plateau Central	831	780	94%
2. Centre Est	1,094	882	81%
3. Centre Nord	1,150	1,018	89%
4. Boucle du Mouhoun	1,233	1,077	87%
5. Cascades	521	518	99%
6. Hauts-Bassins	1,297	891	69%
7. Sud-ouest	810	778	96%
8. Sahel	931	930	100%
9. Nord	1,207	1,138	94%
10. Est	1,182	1,129	96%
11. Centre-Ouest	1,220	1,100	90%
12. Centre-Sud	609	597	98%
13. Centre	528	406	77%
合計/平均	12,613	11,244	90%

出所：プロジェクト報告資料

指標 1.2 : COGES の 75% から学校活動計画と、年間総括表が回収される

学校活動計画の内容は年次総括表に統合されているため、本指標の測定には年次総括表の回収率を用いる。その結果、2013/14 年度の回収率は 85% (3 州)、2014/15 年度では中間レビュー時点 (2015 年 12 月集計時点) で 56% (7 州) にとどまるが、総括表は回収中のため、指標の達成度はこの段階では判断できない。

表 4-7 COGES 年次総括表回収率

州	COGES 数	2013/14 年度		2014/15 年度 ⁹	
		提出数	回収率	提出数	回収率
Plateau Central	780	718	92%	552	71%
Centre-Est	882	788	89%	411	47%
Centre-Nord	1,018	738	72%	520	51%
Boucle du Mouhoun	1,077	-	-	676	63%
Cascades	518	-	-	149	29%
Hauts-Bassins	891	-	-	634	71%
Sud-Ouest	778	-	-	592	76%
合計/平均	5,944	2,244	85%	3,534	56%

出所：プロジェクト報告資料

⁹ 2014/15 年度は集計中。数値は 12 月末までに集計の合計/平均。

【成果 2】 COGES の持続的なモニタリング支援システムが強化される

MENA 内において、教育の地方分権化学校運営を担う SCGDE が設置され、中央での COGES のモニタリング支援体制が確立した。さらに現場レベルにおいては、CEB による学校巡回指導により、月に 1 度程度 COGES へのモニタリングが実施されている。CEB とともにコミュニケーションにおいて COGES のモニタリングを担う CCC は、COGES 代表を集めた総会を年 3 回定期的に行っており、その継続が期待される。また 2016 年以内に CCC モデルの承認、普及が計画されており、他州での COGES モニタリング強化が促進されることが想定される。

指標 2.1 : 地方分権化学校運営の組織が MENA に設置される

MENA/SCGDE 設置に係る省令 No.2014-0082/MENA/SG/DRG (2014 年 6 月 13 日) : MENA 内に地方分権化学校運営を担う部署が設置され、研修/能力強化、モニタリング評価、イノベーション/調整の 3 セクションの 11 名が配置されている。SCGDE の設置により、中央での COGES の持続的なモニタリング支援システムが確立された。

指標 2.2 : 75% の COGES が CEB により少なくとも 2 回/年モニタリングされる

2015~2021 年の「新学期通達 (2015 年)」より、CEB による学校巡回指導時における COGES 活動モニタリングが公式に義務化された。CEB レベルの教育行政官による 1 校当たり年 2 回のモニタリングに必要なガソリン代 (CEB 当たり 3 万 5,000 Fcfa) は 2009 年より継続的に MENA より支給されている。実際の CEB による COGES へのモニタリングの実施状況については、少なくとも月 1 回の各学校へのモニタリングが実施されていることが CEB への聞き取りにより確認された。将来の指標の確認には、COGES に対する質問票等によるサンプリング調査の実施が求められる。

指標 2.3 : パイロットサイトの 75% の CCC が年 3 回の総会を開催する

CCC の総会は 2014/15 年度には全 15 カ所 (100%) の CCC が年 3 回の総会を実施した。一方で 2015/16 年度は、中間レビュー時点で第 1 回総会を実施した CCC は 10 カ所 (67%) にとどまり、総会を実施していない CCC に対するフォローアップが必要な状況にある。

表 4-8 CCC の総会開催数

	2014/15 年度	実施率	2015/16 年度	実施率
第 1 回総会	2015 年 2 月	100%	2015 年 11~12 月	67%
第 2 回総会	2015 年 7 月	100%	2016 年 7 月	-
第 3 回総会	2015 年 9~10 月	100%	2016 年 9 月	-

出所：プロジェクト報告書

指標 2.4 : 州レベルでの COGES モニタリングのための総会が年 1 回以上開催される

下記に示すとおり、州レベルでの COGES モニタリングに係る会合が、2013/14 年度から毎年 1 回以上実施されている。州レベル会合では COGES モニタリングを促進するために DRENA、DPENA、CEB の FP との情報、経験共有が実施され、モニタリングにおける会議の有効性が確認された。開催方法は表 4-9 に示すとおり、各州において実施した「州/県 FP 年次総括会合」と中央レベルに州関係者を徴集した「全国普及フォローに係る州レベル会合」であるが、今後の実施形態に関しては、MENA の予算規模に合わせた継続可能な形態が検討されている。

表 4-9 州レベル会合開催状況

実施時期	州レベル会合
2015年11月	州/県 FP 年次総括会合
2015年12月	全国普及フォローに係る州レベル会合 州/県 FP 年次総括会合

出所：プロジェクト報告書

指標 2.5 : CCC のモデルが構築、評価、承認される

CCC モデルの定着、評価及び承認に関しては、パイロット地域で CCC の有効性についての検証が行われており、今後、MENA と MATD により CCC モデルを最終化し、2016 年内のモデル承認をめざしている。

【成果 3】 コミュニティ参画を通じた COGES による学習成果向上活動の有効性が実証され、全国で共有される

今後、中央北部州において計画されている学習の質向上に係るパイロットプロジェクトにより、COGES を通じた学習成果向上の実証が行われる。パイロットプロジェクトから得たグッドプラクティスがメディア、州会合等を通して共有される計画である。

指標 3.1 : パイロットサイトで学習効果向上に係る COGES の活動の有効性が確認される

中央北部州におけるマルチセクターアプローチを通じた教育の質改善と生徒の健康改善の取り組み実施が 2016 年 1~9 月に計画されている。主な活動は、教室外学習条件の改善のための父母支援、持続的な給食運営のための COGES 能力強化、コミュニティ参加を通じた学校保健衛生、栄養改善及び COGES による AGR であり、このパイロット地域における学習効果向上の活動について、有効性の確認が計画されている。

指標 3.2 : パイロットサイトで学習効果向上に係るグッドプラクティスが集積される

上記指標 3.1 に記載した、中央北部州におけるパイロット地区での活動から抽出されたグッドプラクティスが蓄積される予定である。既にプロジェクトでは、15 カ所の CCC における優良 COGES の選出と表彰や MENA/DGESS による「COGES グッドプラクティス集」の作成などにより学習効果向上に係る好事例の蓄積が進められている。

指標 3.3 : 80% の COGES に学習効果向上に係るグッドプラクティスが共有される

上記の中央北部州でのグッドプラクティスのプロジェクト終了までの共有が計画されている。また「COGES 活動を通じた学習成果向上のグッドプラクティス集」ビデオを用いたグッドプラクティスの共有が各種研修及び WS の機会を用いて実施されている。さらに JCC 及び州/県 FP 年次会合などでの経験共有が行われている。本指標のグッドプラクティスの共有度の最終的な確認には、COGES への質問票によるサンプリング調査の実施が望まれる。

【成果 4】 COGES のリソース運営管理システムが強化され、COGES の能力が強化される

リソース運営管理に関しては、COGES を活用した AGR、学校給食、ソーラーランプ、学校建設等の活動から抽出されたグッドプラクティスを取りまとめ、メディア、州会合の機会等により共有することが計画されている。現時点でも既にメディアを用いて COGES のグッドプラクティスが全国に紹介されている。

指標 4.1 : リソース管理に係るグッドプラクティスが集積される

リソース運営管理に関しては、COGES を活用した AGR、学校給食、ソーラーランプ、学校建設等の活動から抽出されたグッドプラクティスを取りまとめ、実施されることが計画されている。また指標 3.2 同様に、MENA/DGESS による「COGES グッドプラクティス集」には、リソース管理に係るグッドプラクティスの蓄積も含まれている。

指標 4.2 : 80%の COGES にリソース管理に係るグッドプラクティスが共有される

今後計画が予定されている上記の活動から抽出されたグッドプラクティスをメディア、州会合などを通して全国の COGES に共有することが計画されている。既に一部のグッドプラクティスは表 4-10 のとおりラジオ、テレビなどのメディアを用いて全国に紹介されている。

表 4-10 州レベル会合開催状況

媒体 (メディア)	内容
ラジオ	全国の 13 州 51 ラジオ局を通し、7 回シリーズで物語化された COGES のグッドプラクティスを計 285 回放送
テレビ	全国 (全州・全県) において視聴が可能な国立放送を通し、COGES のグッドプラクティスに関する 5 分番組を 1 回、90 秒番組を計 24 回放映

出所：プロジェクト報告書

4-4 プロジェクト目標の達成状況

【プロジェクト目標】 全国の小学校において COGES が機能する

設置された COGES の 2,711 カ所 (年次総括表を提出した 94%の COGES) が少なくとも一つ以上の活動を実施している。また COGES 会合 (会計報告、住民総会、事務局会合) の頻度も目標を達成している。しかし、予算執行率に関しては、2013/14 年度が 64%、2014/15 年度が 51%と目標である 60%に未達であり、COGES についてのコミュニティの理解促進による動員額の増加の必要性が指摘された。

指標 1 : 80%の COGES が学校活動計画を実施する

2014/15 年度の 7 州からの年次総括表の集計結果からは、年次総括表を提出した 2,891 カ所の COGES のうち、180 カ所 (6.2%) が全く活動を実施していないことが確認された。このことから、COGES の 2,711 カ所の COGES (94%) が少なくとも一つの活動を実施したと判断できる。しかし、同指標の正確な把握には、年次総括表の回収率及び回収された年次総括表の精度¹⁰の改善が求められる。

¹⁰ 回収された年次総括表 3,534 件に対し 643 件で記載に不備があり、使用データから除外した。

表 4-11 COGES 活動を全く実施できなかった COGES の数 (2014/15 年度)

州	COGES 数	集計済み数 ¹¹	全く活動を実施できなかった COGES 数と割合	
Plateau Central	780	503	13	2.6%
Centre-Est	882	326	4	1.2%
Centre-Nord	1,018	455	10	2.2%
Boucle du Mouhoun	1,077	603	57	9.5%
Cascades	518	132	8	6.1%
Hauts-Bassins	891	522	73	14.0%
Sud-Ouest	778	350	15	4.3%
合計/平均	5,944	2,891	180	6.2%

出所：プロジェクト報告書

指標 2：COGES の学校活動計画への予算執行率が平均 60%以上となる

COGES 当たりの活動実施のための予算動員額は、2013/14 年度の COGES 当たりの平均動員額は 14 万 9,011 Fcfa であり、執行率は 64%となる。一方、中間レビュー時点では年間総括表が回収中であるが、2014/15 年度は 14 万 2,245Fcfa であり、執行率は 51%と現時点では指標の目標値に達していない。聞き取り調査においても、COGES についてのコミュニティの理解促進による動員額の増加の必要性が指摘された。

表 4-12 2013/14 年度のコミュニティ参加を通じた予算動員状況

州	計画額	動員額	執行率	動員額/COGES
Plateau Central	128,517,635	83,778,295	65%	116,683
Centre-Est	218,094,727	166,073,573	76%	210,753
Centre-Nord	177,843,080	84,529,155	48%	114,538
合計/平均	524,455,442	334,381,023	64%	149,011

出所：プロジェクト報告書

表 4-13 2014/15 年度のコミュニティ参加を通じた予算動員状況

州	計画額	動員額	執行率	動員額/COGES
Plateau Central	100,708,970	74,519,540	74%	148,150
Centre-Est	88,914,130	73,977,055	83%	226,923
Centre-Nord	74,225,670	48,183,365	65%	105,898
Boucle du Mouhoun	215,254,555	98,162,580	46%	162,790
Cascades	28,335,270	16,181,970	57%	122,591
Hauts-Bassins	210,887,637	75,127,782	36%	143,923
Sud-Ouest	89,614,325	29,903,073	33%	85,437
合計/平均	807,940,557	416,055,365	51%	143,914

出所：プロジェクト報告書

指標 3：各 COGES が平均、会計報告 1 回、総会 2 回、事務局会合 3 回を実施する

COGES 会合の開催率は、2013/14 年度には COGES 当たりの会計報告の回数が 2.2 回/年、事務局会合が 4.3 回/年、住民総会数が 3.7 回/年である。また 2014/15 年度は、会計報告が 1.5 回/年、事務局会合が 3 回/年、住民総会数が 2.5 回と 2013/14 年度及び 2014/15 年度ともに目標値に到達している。

¹¹ 記入に不備のあった 643 件のデータを除いた数。

表4-14 2013/14年度のCOGES事務局会合並びに総会頻度

州	COGES データ		会計報告数		事務局会合		住民総会開催数	
	数	提出数	報告数	頻度/COGES	会合数	頻度/COGES	総会数	頻度/COGES
Plateau Central	780	442	763	2.8	1,268	4.6	996	3.6
Centre-Est	882	234	469	1.8	748	2.8	563	2.1
Centre-Nord	1018	452	1,073	3.3	2,229	6.6	1,960	5.8
合計/平均	2680	686	1,542	2.2	2,977	4.3	2,523	3.7

出所：プロジェクト報告書

表4-15 2014/15年度のCOGES事務局会合並びに総会頻度

州	COGES データ		会計報告数		事務局会合		住民総会開催数	
	数	提出数	報告数	頻度/COGES	会合数	頻度/COGES	総会数	頻度/COGES
Plateau Central	780	503	919	1.8	1,494	3.0	1,294	2.6
Centre-Est	882	326	698	2.1	976	3.0	810	2.5
Centre-Nord	1018	455	731	1.6	1,360	3.0	1,151	2.5
Boucle du M.	1077	603	823	1.4	1,806	3.0	1,503	2.5
Cascades	518	132	212	1.6	406	3.1	351	2.7
Hauts-Bassins	891	522	620	1.2	1,464	2.8	1,314	2.5
Sud-Ouest	778	350	434	1.2	1,143	3.3	864	2.5
合計/平均	5944	2,891	4,437	1.5	8,649	3.0	7,287	2.5

出所：プロジェクト報告書

4-5 上位目標の達成状況

【上位目標】全国の小学校において参加型学校運営が改善される

上位目標の就学児童数はプロジェクト開始時の204万8,000人（2009年）から、現時点の270万7,000人（2015年）と毎年増加している。特にフェーズ1（2009～2012年）の対象州ではその増加が他州と比較しても顕著であることから、将来的にはCOGESが設置された他州での増加も期待される。またCOGESの支援により設置された教室数、補習学習及び夜間学習時間の増加に係る将来の目標達成に向けた取り組みが順調に実施されている。

指標1：各学校の就学者数（男女別）

上位目標の就学児童数は、2,04万8,000人（2009年）から270万7,000人（2015年）と毎年増加している（表4-16参照）。聞き取り調査からも、COGESの設置による学校環境の改善、父母への就学促進に係る啓発活動、補習授業、夜間学習支援といった活動により、学校レベルでの就学率の向上が確認された。

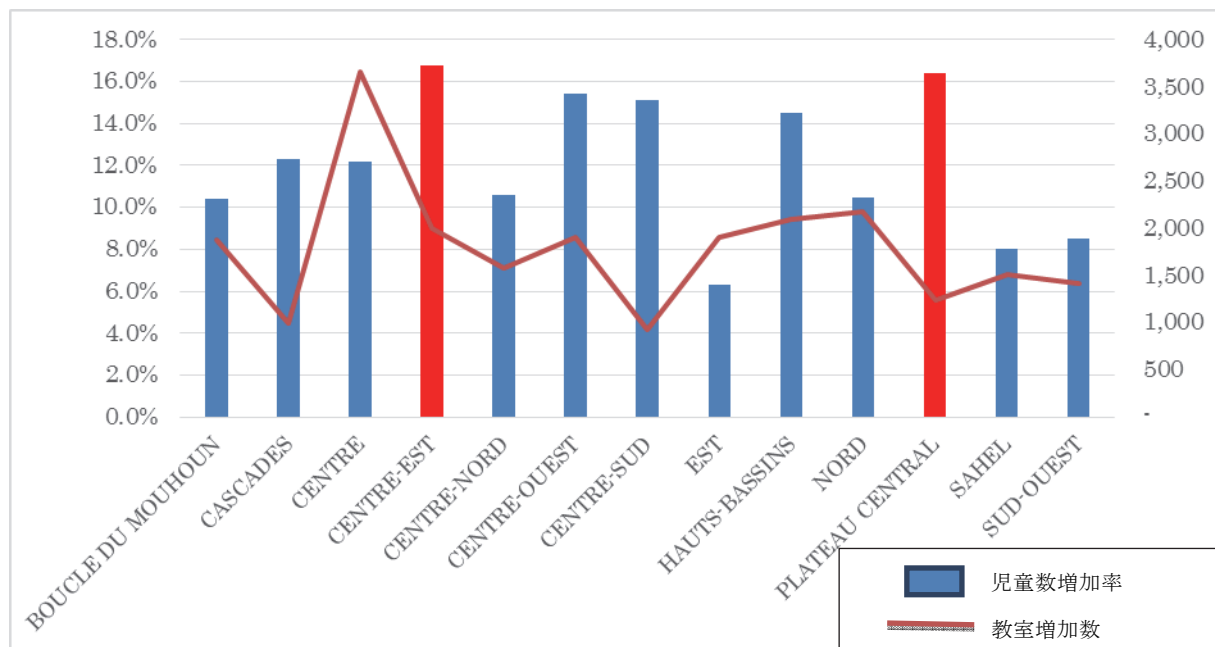
表4-16 2009～2015年度の就学者数（男女別）

	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14	2014/15
男子	1,089,912	1,163,784	1,225,032	1,276,330	1,337,654	1,395,418
女子	957,718	1,041,511	1,118,999	1,190,049	1,256,370	1,311,385
合計	2,047,630	2,205,295	2,344,031	2,466,379	2,594,024	2,706,803

出所：プロジェクト報告書

州別の児童増加数の比較では、フェーズ1（2009～2012年）の対象州であった中央西部州及び中部プラトー州における児童増加率は他州と比較しても高い増加率が確認された。一方で教室の

増加数は他州と比較しても同2州が高いといったことはなく、児童数の増加が必ずしもインフラ整備による影響ではないことが分かる。このことから、児童数の増加にはプロジェクトによるCOGES設置の一定の寄与が想定される。フェーズ2においてCOGESが設置された州では、設置後の期間が短いことから、就学児童数の増加へのインパクトは顕在化していないが、フェーズ1の実績からも将来的な指標の改善が見込まれる。



出所：教育統計 2014～2015 (DGESS)

図 4 - 1 州別の児童数増加率及び教室数

指標 2 : COGES により設置された教室数

表 4-17 に示すとおり、2014/15 年度には、169 教室 (0.1 教室/COGES) が COGES の支援により設置された。COGES の活動はインフラ整備から、学習の質に係る活動に移行しつつあるが、聞き取り調査からも教室整備には依然高いニーズがあると同時に、仮設教室の藁葺を葺き替える作業に、毎年コミュニティからの動員が活用されていることが確認された。

指標 3 : COGES により組織された補習授業時間数 (60 時間/COGES 以上)

COGES の支援による補習授業は、主に休校中の木、土曜に教員により実施されることが多い。年次総括表の結果、補習授業時間の合計は COGES 当たり 53.7 時間であり、目標の 60 時間には未達であるが、同データは集計中であり、中間レビュー時点での目標の達成状況は確認できていない。

指標 4 : COGES により組織された夜間学習時間数 (15 時間/COGES 以上)

夜間学習時間は 10 時間/COGES (目標:15 時間) と将来の目標値の達成に向けた取り組みが実施されている。年次総括表の結果、夜間学習時間の合計は COGES 当たり 10.0 時間であり、目標の 15 時間には未達である。補習授業時間同様、同データは集計中であり、中間レビュー時点での目標の達成状況は確認できていない。

表 4-17 2014/15 年の COGES による学習成果改善のための取り組み実績

州	COGES 数	総括表 回収数	教室 建設数	COGES が実施した補習・夜間学習時間数			
				補習授業	h/COGES	夜間学習	h/COGES
Plateau Central	780	503	46	29,278	58.2	6,443	12.8
Centre-Est	882	326	31	17,319	53.1	2,622	8.0
Centre-Nord	1,018	455	14	28,912	63.5	8,027	17.6
Boucle du M	1,077	603	39	38,780	64.3	3,514	5.8
Cascades	518	132	5	7,537	57.1	1,165	8.8
Hauts-Bassins	891	522	10	24,624	47.2	3,811	7.3
Sud-Ouest	778	350	24	8,799	25.1	3,308	9.5
合計/平均	5,944	2,891	169	155,249	53.7	28,890	10.0

出所：プロジェクト報告書

4-6 スーパーゴールの達成状況

【スーパーゴール】初等教育のアクセス並びに学習の質が改善される

スーパーゴールは全国の就学率、中退率、修了率¹²、CEP 合格率¹³を用いて測定した。フェーズ 1 を含めたプロジェクト実施前の 2007/08 年度と現時点の 2014/15 年度の比較からは、すべての指標で改善が確認された。教育指標の改善には多様な要因が考えられるが、聞き取り調査では、COGES による活動の効果として、学校レベルにおいてこれらの教育指標の改善がみられることが多くの関係者から指摘された。

表 4-18 上位目標の指標達成状況

	就学率	修了率	中退数	CEP 合格率
2007-2008	71.8%	38.9%	183,230	58.5%
2008-2009	72.4%	41.7%	201,354	72.7%
2009-2010	84.8%	45.9%	207,271	65.9%
2010-2011	77.6%	52.1%	178,322	64.0%
2011-2012	79.6%	55.1%	191,753	65.2%
2012-2013	81.3%	59.5%	182,013	60.9%
2013-2014	83.0%	57.6%	178,317	82.2%
2014-2015	83.7%	58.4%	151,275	73.4%

出所：教育統計 2014～2015 (DGESS)

¹² 修了率は 11 歳児人口と CM2（初等教育課程 6 年生）の登録人数から算出した。

¹³ PDM のスーパーゴールの指標には、CEP 合格率の代わりに、進級率が含まれているが、入手不可能であったため使用せず。

第5章 評価結果

5-1 評価5項目による評価

5-1-1 妥当性：高い

(1) ブルキナファソの国家政策との整合性

ブルキナファソ政府は、「初等教育従事組織に係る政令・第2008-236号」より COGES の設置を定め（第31条）、2013年3月発布の省令第2013-029号により COGES の構成員と各役割を更に明確化し、同国の教育開発において極めて重要なアクターかつリソースであるとした。さらに教育開発における COGES の役割を重視し、PDSEB（2012～2021年）の「第1プログラム・初等教育のアクセス拡大プログラム」における「市民及び協力パートナーの参加促進・サブプログラム」「第2プログラム・教育の質の向上」での「学校活動に焦点をあてた学習の（質的）改善・サブプログラム」にて、アクターあるいは学校運営の末端組織として位置づけている。同プログラムは「COGES、APE、AME の啓発及び能力強化」を通じ全州・全県に COGES が民主的な教育活動を展開するとしている。この方針に基づき、政府は2013年4月に「COGES 全域普及戦略」を発表し、2015年までの全域・全小学校の COGES 設置計画を具体化した。本プロジェクトは、これらブルキナファソ政府の戦略と目標を直接的に支援するものであり、政策的な整合性は高い。

(2) 日本の援助政策との整合性

日本政府は2015年9月の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」採択に係る国連サミットに合わせ、教育分野における新たな戦略を発表した。本政策では、みんなの学校プロジェクト群を含むこれまでの取り組みを更に発展させ、学び合いを通じた質の高い教育の実現「みんなで支えるみんなの学び（Learning for All, All for Learning）」をめざすとしている。さらに2010年9月のミレニアム開発目標（MDGs）に関する国連首脳会合で発表された教育分野における新たな5年間の協力政策である「教育協力政策（2011～2015年）」では、学校運営改善（父母やコミュニティの参加を得た学校運営）、地域に開かれた学校（地域の教育ニーズに対応した学校）、安全な学習環境の整備、女子・貧困層等の社会的弱者の就学向上を中核的支援とすることが示された。また2013年の第5回 TICAD においては、みんなの学校プログラムを用いた質の高い教育環境への支援が表明されている。日本の政策である「対ブルキナファソ国別援助方針事業展開計画（2015年）」では PDSEB（2012～2021年）への支援が示されており、本プロジェクトは、わが国政府・JICA の支援政策と合致している。

(3) ターゲットグループのニーズとの整合性

プロジェクトの支援による COGES は MENA による学校給食プログラム、学習の質向上、AGR 等に活用されており、MENA の各部署のニーズに合致している。さらに COGES の活動は、住民の合意の下決定された年間計画に沿って実施されることから、COGES 活動と地域住民のニーズとの整合性は高いといえる。

(4) アプローチの妥当性

フェーズ1の成果及び他国の類似プロジェクトの経験を活用して、「機能するCOGES」のために重要となる民主的な選挙によるメンバーの選定、学校運営に関する研修の実施、継続的なモニタリング体制といった要素が取り込まれている。さらにフェーズ1から試行されているCCCモデルの確立への支援は、教育行政の地方分権化の推進の下、地方分権化機関が住民からのニーズを吸い上げるうえで重要なアプローチである。同時にMATD内にCOGES活動に関するFPが選定されるなど、地方分権化組織を活動に巻き込んだ取り組みが実施されている。CCCのパイロット地域の選定についても、中央からのアクセス、関係者の業務実施能力などから妥当であることが確認された。

5-1-2 有効性：中程度

(1) プロジェクト目標の達成状況

プロジェクト目標の指標には活動達成率、予算執行率、COGES事務局会合、会計報告並びに住民総会の頻度が用いられている。予算執行率において一部未達の指標があるがその他の指標は達成している。しかし、新たにCOGESが設置された地域の指標は含まれておらず、今後、COGESによる活動が年次活動計画に沿って適切に実施されるためのモニタリング支援が重要となる。また回収された年次総括表の約18%に記載不備があるなど、実施中の各種モニタリングの取り組みを精緻化する必要がある。具体的には、行政官のモニタリング技術向上、各種モニタリング用紙の改善、モニタリング用紙回収システムの改善、集計・分析を担う担当職員の能力強化の継続が求められる。

(2) 成果のプロジェクト目標への貢献度

プロジェクト目標である「全国の小学校においてCOGESが機能する」を達成するために、成果1(COGES設置・機能化)、成果2(モニタリング強化)によりCOGES機能の基礎を固めるための成果が設定されている。その後、全国に設置されたCOGESを活用した具体的な活動である成果3(学習効果の実証・共有)及び成果4(リソース運営管理強化)が行われている。特に成果3,4におけるMENA内の他部署及びドナーの支援によるCOGESの活用は、COGESメンバーの活動遂行、リソース管理能力を強化し、活動を継続的に実施するための機能強化に貢献することから、プロジェクト目標の達成には不可欠な要素である。よって各成果のプロジェクト目標達成への因果関係は適切であるといえる。

(3) プロジェクト目標・成果の達成の促進要因

2013/14年度並びに2014/15年度の活動実績において、教育の質に直接的に効果をもたらすと判断される取り組みは、2013/14年度で全体の活動の58%、2014/15年度では62%実施されており、増加傾向にある。また2014/15年度でこれらの教育の質に直接的に効果をもたらす活動を実施したCOGESは全体の93%であり、特にCOGESへの住民の動員に不可欠となる児童の学習効果の向上のための取り組みが推進されていることは、プロジェクト目標、成果の達成の重要な要因となる。

(4) プロジェクト目標・成果の達成の阻害要因・外部条件

現在の CCC モデルは開発途上にあり、パイロット地位の CCC の機能度は場所により違いがみられる。特に、現 CCC モデルでは、市長を議長としているが、国内情勢の不安定化や、市長の教育行政へのかかわり、実業務への理解など、CCC 活動が停滞している理由として確認された。今後の 3 州（中央プラトー州、中央東州、中央北州の一部）への普及に際しては、パイロット地位の成果の集積・評価を実施するとともに、モデル化の際の CCC の位置づけ、メンバー構成等の見直しが求められる。

PDM に記載された、外部条件である「ブルキナファソの治安が活動を妨げるほどに悪化しない」に関して、2014 年 10 月には大規模なデモから大統領を追放する事態が発生し、2015 年 9 月にはクーデター未遂が生じるといった外部条件が満たされない事態が生じている。さらに 2016 年 1 月に発生した国際テロ組織アルカイダ系によるテロの今後のプロジェクトへの影響（専門家の渡航地域の制約など）も配慮する必要がある。

5-1-3 効率性：高い

(1) 成果の達成度と投入の適切さ

フェーズ 1 における経験、作成された教材、ガイドを改定し有効的に活用している。またフェーズ 1 から引き継いだ施設や機材を用いることにより、プロジェクトへの新たな投入を最小限に抑えた効率的なプロジェクト運営が実施されている。

(2) モニタリング体制の構築

既存の教育行政機関である DRENA、DPENA 及び CEB を活用することで効率的な COGES モニタリング体制を確立し、関係者の主体性を醸成している。またナショナルチームは、新たなモニタリング／報告システムを導入し、年次計画表や年次総括表の集計の効率化を図ると同時に、中央における COGES レベルでの活動状況の把握を促進した。

(3) 効率性の向上のための促進要因

3 年間の比較的短期のプロジェクト期間にもかかわらず、アフリカランププロジェクトとのソーラーランプマニュアル、AFD コミュニティ参加型学校建設における学校建設マニュアルの作成支援、エボラ出血熱の情報提供等、COGES を通した多くの活動が実施されている。またこれらの他の関連機関との連携による活動は、COGES への財政支援につながり、COGES の機能強化に結びついていることから、プロジェクト目標達成に向けた効率性は向上していると判断できる。さらにプロジェクトのメンバーは PDSEB テーマグループ「質改善グループ」月例会合における情報収集を通して、他の機関との連携を強化している。

(4) 効率性における阻害要因

政権交代による予算執行の遅れから第 2 回普及期間が減少したことを受けて、6 州同時に COGES 研修を実施する必要が生じた。これにより研修のための準備が十分にできず、研修の質への影響が懸念される。

5-1-4 インパクト：やや高い

(1) 上位目標、スーパーゴールの達成見込み

COGES 設立から期間が短く、現時点で上位目標及びスーパーゴールである教育のアクセス、学習の質に対して明確なインパクトは確認することは困難であるが、学校レベルでは、COGES の成果として、就学率、成績、卒業試験の合格率等の教育指標の改善が報告されている。さらに 15 カ所の CCC のパイロット地域では、プロジェクト介入前後の各種教育指標（入学率・就学率・退学率・卒業試験合格率・統一試験結果）へのインパクトを評価するため、DECEB による CEP データ、DGESS 教育統計を分析したところ、CCC の設置された地域での教育指標の向上が確認された¹⁴。

(2) プロジェクトの波及効果

AFD の実施する「コミュニティ参加型学校建設における学校建設マニュアル」に COGES による建設管理のモニタリングの実施が記載され、今後同プロジェクトのパイロット地域での学校建設において、学校建設における COGES の活用が期待される。さらに世界銀行の実施する最貧困 5 州において、女子に重きを置いた中学と高校へのアクセスと質の改善を支援する「教育アクセスと質改善プロジェクト（PAAQE）」では、中等教育における COGES の設置に際しては PACOGES による COGES モデルの適応することが取り極められた。

(3) その他の正のインパクト

COGES を用いたエボラ出血熱の予防、治療、調査に係る研修をマリ、ガーナ国境の州の 67 万 3,968 名の参加者に対して実施したことにより、エボラ出血熱の抑制に一定の効果を果たしたことが想定される。さらに COGES モニタリングシートにおける幾つかの項目が DGESS による国家教育統計へ統合され、2015/16 年度統計より運用が開始された。今後、必要なデータが国家教育統計から入手可能となるため、モニタリングの効率性への貢献が期待される。

5-1-5 持続性：やや高い

(1) 政策面

「妥当性」にも記載したとおり、国家開発計画である PDSEB（2011～2021 年）には、COGES が地方教育行政の発展と教育課題の解決の重要なリソースであるとして、その全域への設置が示されている。さらに COGES の各学校への設置は法令に規定されており、プロジェクトにより得られた成果・波及効果の政策的な持続性は高い。

(2) 組織面

プロジェクト開始後の 2014 年 3 月に省令により COGES の普及を担う部署として SCGDE

¹⁴ プロジェクトによる CCC 設置の前後の各種教育指標へのインパクトを評価するため DECEB の CEP データ、DGESS 教育統計による中央北州 27 コミュニティ（対象 15 コミュニティ、非対象 12 コミュニティ）の比較がプロジェクトチームにより実施された。

が MENA 内に設置され、現在 11 名の専属スタッフが配置されている。さらに MENA 内の他部署や援助機関により COGES が積極的に活用されており、活動予算を含む多くの支援が COGES に投入されることにより、組織面での更なる機能強化が期待される。一方で CCC における体制はパイロットの段階であることから、その活動の位置づけ（COGES モニタリング機能）、メンバーの選定は今後パイロット地域の結果分析を通して見直される。

(3) 財政面

プロジェクトの活動の多くが MENA による財政負担により実施され、JICA 側、ブルキナファソ側のローカルコストの比較では、74%がブルキナファソ側より支払われている。プロジェクト開始時の R/D に取り極めたブルキナ側負担の負担額も、計画に対して 87%が支出されているなど、ほぼ計画どおりの予算確保が実施されていることから財政面での持続性は高いと判断される。他方、今後のモニタリング制度の強化及び CCC の全国普及に際して、権限・予算の確保のため、SCGDE が現在の課から局へ昇格することが望まれる。

プロジェクト開始後の MENA 予算のコミューンへの配賦額にも増額傾向がみられ、今後もコミューンへの予算配賦が継続されるとともに、文房具調達に係るプロセスの軽減を目的に、COGES への直接的な予算配賦も検討されている。

表 5-1 教育セクターにおけるコミューンへの予算配賦額の推移 (1,000Fcf)

項目	2012 年	2013 年	2014 年	2012～2014 年 合計
学校運営費	648,390	719,730	959,640	2,328,328
基礎文房具	6,139,619	6,731,312	7,100,321	19,976,600
新校舎建設費	5,367,380	7,774,998	6,073,998	19,216,376
校舎改修工事費	450,000	450,009	478,524	1,378,533
合計	12,605,389	15,676,049	14,612,483	42,899,838

出所：プロジェクト報告書

COGES が実際に活動に用いた平均金額は、COGES 当たり 14 万 3,914 Fcfa (約 2 万 9,000 円) となっている。これは年次実施計画において集計された金額 28 万 2,184 Fcfa (約 5 万 7,000 円) の 51%であり、コミュニティからの分担額の徴収が困難であることが、COGES の活動実施の主な阻害要因であることが確認された。特に貧困地域の農村部のコミュニティからの分担金の回収は困難な状況にある。

(4) 技術面

各種プロジェクトにより実施された研修の参加者の満足度は高く、ナショナルトレーナーは COGES に係る研修を継続的に実施するために十分な能力を有することが確認された。他方、COGES の順調な運営に際しては、新たに選出された COGES の主要メンバーへの研修体制及び既存のメンバーへの継続的な研修実施体制整備の必要性が指摘された。

5-2 貢献要因と阻害要因の検証

5-2-1 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容に関すること

1) 学習の質に注力した取り組み

住民、特に父母からの高いニーズのある児童の学力向上に直接的に寄与する活動を COGES の活動に優先的に取り入れている。その結果、COGES の活動は学校環境改善のためのインフラ整備から、学習の質向上に寄与する活動に移行しつつある。また、児童の学習向上の成果を住民と共有することにより、COGES への住民参加が促進されている。

(2) 実施プロセスに関すること

1) 国家政策への主流化の促進

COGES の国家政策への主流化への取り組みがナショナルコーディネーターを中心としてカウンターパートにより主体的に実施されている。さらに日本人専門家及び MENA に派遣されている政策アドバイザーによるプロジェクト成果の可視化、研修やセミナーの機会を用いた共有は、COGES の主流化に寄与している。その結果、MENA 内の他部署や援助機関により、COGES が積極的に活用されている。その結果、活動予算を含む多くの支援が COGES の活動に分配されることで COGES 機能が更に強化されるといった好循環が生じている。

2) カウンターパートの主体的取り組み

プロジェクトは計画当初よりコストシェアによる実施が計画されており、現時点では活動経費の 74% がブルキナファソ側の財政負担により実施されている。またすべての研修はナショナルチームによりモニタリングされており、研修費に関する校長研修のストが発生した際にも、教員組合と主体的に協議し、ストを回避するなど、問題解決にも主体的な取り組みを行っていることが、プロジェクトの円滑な実施の貢献要因となっている。

5-2-2 問題点と問題を引き起こした要因

(1) 計画内容に関すること

1) 私立校への COGES の導入

都市部にある私立高における研修参加率及び COGES の設置率は比較的 low、住民からの分担金の回収も困難な状況にある。校長には COGES の設置に理解を示す者もいるが、経営者の理解不足が最大の阻害要因である。

2) 既存の APE、AME との調整

関係者の COGES についての理解不足により、既存の組織である APE や AME との調整に困難を抱える COGES が散見された。

(2) 実施プロセスに関すること

1) 研修の未受講の関係者

研修を未受講の校長は、適切なプロセスに沿った COGES 運営の実施に困難を感じている。特に校長は事務局長として住民総会の実施、年次活動計画、年次総括表作成等、重要な役割があるため、研修実施体制の構築が望まれる。

2) 政変による研修予算の遅れ及び人事異動

政変による人事異動とそれに伴う研修経費の執行の遅れにより、6 州への全国展開のための研修の用意が十分に行うことができずに研修の質に影響を与えた。また今後 2016 年 1 月には地方レベルでの選挙が予定されており、カウンターパート及び関係者の人事異動が懸念されている。

5-3 結論

短期間のプロジェクト期間、政変による混乱にもかかわらず、ほぼすべての活動が計画どおり実施されており、COGES 機能は各成果の活動を通して強化され、プロジェクト目標の指標も達成されつつある。上位目標及びスーパーゴールの指標である就学率、中退率、修了率、修了試験合格率の改善への具体的な効果は確認できないが、教育現場での聞き取りからは、COGES の機能効果がこれらの教育指標の改善につながるということが指摘された。

現時点でもプロジェクト目標はターゲットグループのニーズに合致しており、またブルキナファソ側及び日本側の政策との整合性も高いことから妥当性は高い。プロジェクト目標及び成果指標の一部が未達であることから有効性は中程度とした。プロジェクト活動は短期間での実施、政変による混乱にもかかわらず、計画どおり実施されている。また投入は質、量、タイミングともに適切であることから効率性は高いと判断する。教育指標の向上との因果関係は、詳細な調査を必要とするが、聞き取り調査からは COGES による上位目標、スーパーゴールへの貢献が確認されたことからインパクトはやや高いと判断した。さらに政策、財務面での高い持続性が確認された一方で、継続的な COGES 関係者への能力強化、モニタリング体制強化が必要となることから持続性はやや高いとした。

第6章 提 言

- (1) 学校運営委員会（COGES）全国普及後の関係者の能力強化【プロジェクト期間中】

設置後の COGES を安定的に機能させるため、関係者への能力強化として、特に活動計画、年次総括表の策定への支援を継続的に実施する必要がある。したがって各種現職教員研修（Encadreurs pédagogique を含む）を用いて、異なるレベルの関係者への研修を行うことにより、COGES の機能化を図ることが望ましい。
- (2) 研修未受講の関係者への研修実施【プロジェクト期間中】

研修を受講していない新たな関係者（新任教員、学校長、視学官）への能力強化のシステムとして、MENA の年次教員会合（Conférences pédagogiques）や、CCC を通した新 COGES メンバーへの研修、教員養成校及び高等師範学校におけるカリキュラム化の妥当性、実現可能性を検討する必要がある。
- (3) 私立校及び都市部の学校への学校運営委員会（COGES）設置の戦略策定【プロジェクト期間中】

MENA として、COGES 設置に困難を抱える私立校及び都市部の学校における戦略を明確化し、プロジェクトの対象を見直す必要がある。
- (4) 学校運営委員会（COGES）モニタリングの強化【プロジェクト期間中】

COGES 活動の持続的なモニタリングのため、①行政官のモニタリング制度、②各種モニタリング用紙、③モニタリング用紙回収システムの改善及び、④集計・分析を担う担当職員の能力強化を実施する必要がある。また、集会型モニタリングに関して、MENA による州レベルの定期会合の制度化を提言する。
- (5) コミューン-COGES 連絡委員会（CCC）モデルの安定化【プロジェクト期間中】

現 CCC モデルでは市長を議長としているが、市長の不在等により、CCC 活動の停滞がみられるため、CCC モデルの見直しを提言する。さらに、州または県の広域会合において、CCC の成果と課題を共有するとともに、3 州でのモデル拡大を図る。また、モデルの合同承認のため、評価を関係者、特にコミューンの管轄省である MATD と共同で実施し、その後、承認された CCC モデルを他地域へ普及する準備をプロジェクト期間内に実施する必要がある。
- (6) 学校運営委員会（COGES）による学習条件の改善【プロジェクト期間中】

学習成果を改善するためには、CM2 のみならず、中、低学年への取り組みが長期的対策として重要となる。2016 年にプロジェクトが実施予定の学習効果改善のパイロット事業を用いて、同取り組みの試行を提言する。
- (7) プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）の改訂【2016 年 6 月まで】

中間レビューに際して、未確定だった目標値の設定、指標の整理及び明確化を提案した。今後、公式に PDM 改訂を行う。また、SCGDE はプロジェクトの残り期間にかんがみ、PDM 改

訂までに活動の優先順位をつける必要がある。

(8) 地方分権化学校運営調整課（SCGDE）の専門局への昇格【プロジェクト期間中】

COGES 及び CCC の機能を継続的に確保していくうえで、SCGDE の役割は非常に大きい。幼・小・中の基礎教育一貫教育推進を背景に、COGES をより広くとらえる必要があること、また、給食や補助金等各種取り組みの受け皿として COGES が活用されることにかんがみ、必要な権限・予算を確保する必要がある、SCGDE を現在の課から専門局へと昇格することが望まれる。

付 属 資 料

1. ミニッツ（合同評価レポート）
2. 評価グリッド
3. 質問票
4. 収集文献・資料一覧

COMPTE RENDU DE DISCUSSIONS
ENTRE
L'EQUIPE JAPONAISE DE L'EVALUATION A MI-PARCOURS
ET
LES AUTORITES CONCERNEES DU GOUVERNEMENT
DU BURKINA FASO
DANS LE CADRE DE
LA COOPERATION TECHNIQUE JAPONAISE
POUR
"LE PROJET D'APPUI AUX COMITES DE GESTION D'ECOLE-PHASE II"

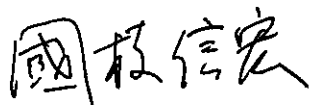
L'Equipe Japonaise de l'évaluation à mi-parcours (ci-après désignée "l'Equipe"), organisée par l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désignée "JICA") et dirigée par Monsieur Nobuhiro KUNIEDA, a visité le Burkina Faso (ci-après désignée "Burkina Faso") du 5 au 22 Janvier 2016 dans le but de mener une évaluation à mi-parcours du "Projet d'Appui aux Comités de Gestion d'École-Phase II (PACOGES II)" (ci-après désignée "le Projet").

Au cours de son séjour au Burkina Faso, l'Équipe a eu une série de discussions avec les autorités burkinabè concernées. Elle a fait une évaluation conjointe des réalisations du Projet et échangé des points de vue afin d'améliorer davantage le Projet.

A la suite des discussions, les deux parties se sont accordées sur les points contenus dans le document ci-annexé.

Ce compte-rendu a été préparé en Français et en Anglais, chaque version étant authentique. En cas de divergence d'interprétation, la version anglaise prévaudra.

Ouagadougou, le 22 Janvier 2016



Nobuhiro KUNIEDA
Chef de l'Equipe Japonaise de
l'Evaluation à Mi-parcours,
Agence Japonaise de Coopération
Internationale, Japon



Yembo Paul DIABOUGA
Secrétaire Général,
Ministère de l'Education Nationale et de
l'Alphabétisation, Burkina Faso

Liste des Abréviations et des Acronymes

AFD	Agence Française de Développement
AG	Assemblée générale
AGR	Activité Génératrice de Revenus
AME	Association des Mères Educatrices
APE	Association des Parents d'Elèves
BA	Bilan annuel
CCC	Coordination Communale des COGES
CEB	Circonscription de l'Education de Base
CEP	Certificat d'études Primaires
COGES	Comité de Gestion d'Ecole
DAMSSE	Direction de l'Allocation des Moyens Spécifiques aux Structures Éducatives
DDEPrim	Direction du développement de l'enseignement primaire
DFIPEB	Direction de la Formation Initiale des Personnels de l'Education de Base
DGEB	Direction Générale de l'Education de Base
DGESS	Direction Générale des Etudes et des Statistiques Sectorielles
DPENA	Direction Provinciale de l'Education Nationale et de l'alphabétisation
DRENA	Direction Régionale de l'Education Nationale de l'alphabétisation
ENEP	Ecole nationale des enseignants du primaire
ENS/UK	Ecole normale supérieure de l'Université de Koudougou
EPFEP	Ecole privée de formation des enseignants du primaire
EQAmE	Ecole de Qualité Amie des Enfants
FCFA	Franc CFA
FDC	Fondation pour le Développement Commentaire
IP	Instituteur Principal
MATDSI	Ministère de l'Administration Territoriale, de la Décentralisation et de la Sécurité Intérieure
MEF	Ministère de l'Economie et des Finances
MENA	Ministère de l'Education Nationale et de l'Alphabétisation
PA	Plan d'action de l'école
PACOGES	Projet d'Appui aux Comités de Gestion d'Ecole
PAM	Programme alimentaire mondial
PDM	Cadre Logique du Projet
PDSEB	Programme de Développement Stratégique de l'Education de Base 2012-2021
R/D	Procès-verbal des Discussions
SCGDE	Service de la coordination de la gestion décentralisée des écoles
SP-PDSEB	Secrétariat Permanent de Programme de Développement Stratégique de l'Education de Base (PDSEB) 2012-2021
TICAD	Conférence Internationale de Tokyo sur le Développement de l'Afrique
UNICEF	Fonds des Nations Unies pour l'Enfance

12

TABLE DES MATIERES

Liste des Abréviations et Acronymes

1. INTRODUCTION	3
1-1. Préface	3
1-2. Objectifs de l'évaluation à mi-parcours	3
1-3. Programme de l'évaluation à mi-parcours.....	4
1-4. Membres de l'équipe d'évaluation.....	5
1-5. Méthodologie de l'Évaluation	5
1-6. Amendements du Cadre Logique du Projet.....	6
2. L'EXECUTION DU PROJET ET LE PROCESSUS DE MISE EN ŒUVRE	7
2-1. Contributions	7
2-2. Etatd'avancement des activités	8
2-3. Les réalisations du Projet	13
2-3-1. Les résultats.....	13
2-3-2. Lebut du Projet	17
2-3-3. Objectif Global	18
2-3-4. Finalité.....	20
2-4. Résultats de l'Évaluation.....	20
2-4-1. Processus de mise en oeuvre.....	20
2-4-2. Évaluation par les cinq Critères.....	22
2-5. Conclusion	28
3. RECOMMANDATIONS.....	29
ANNEXES	
ANNEXE 1. Contributions du Projet	
1-1. Liste des Experts de la JICA	
1-2. Liste des Matériels et Équipements fournis par la JICA	
1-3. Liste des Contreparties	
1-4. Liste des Participants aux formations organisées au Japon et dans d'autres pays	
1-5. Liste des terrains, Bâtiments et Infrastructures	
1-6. Dépenses du Budget	
ANNEXE 2. Cadre Logique du Projet	
ANNEXE 3. Plan de fonctionnement et Etat d'avancement des Activités	

1. INTRODUCTION

1-1. Préface

Le gouvernement du Burkina Faso a élaboré et est en train de mettre en place le Programme de Développement Stratégique de l'Éducation de Base (PDSEB 2012-2021) qui vise à améliorer l'accès et la qualité de l'éducation de base et à promouvoir aussi l'éducation non-formelle et le système d'éducation décentralisé. Sous ce programme, le Ministère de l'Éducation Nationale et de l'Alphabétisation(MENA) a entrepris de généraliser le modèle du Comité de Gestion d'École (COGES) élaboré par le Comité Technique chargé de la préparation de la généralisation des COGES avec l'appui du Projet d'Appui aux Comités de Gestion d'École (Phase I). Le Comité de Gestion d'École se définit comme un organe de gestion participative de l'école en mode décentralisé en accord avec les objectifs fixés par le PDSEB. La première Phase qui a débuté en Novembre 2009 et qui a pris fin en Mars 2014, a contribué à mettre en place 2.469 COGES dans trois régions comprenant le Centre-Est, le Plateau Central, le Centre-Nord et une partie de la région du Centre. Le modèle COGES faisait partie de la stratégie de généralisation des COGES approuvée par le MENA en Mai 2013. Pour généraliser le modèle COGES dans tout le pays, le MENA a sollicité auprès du Gouvernement du Japon une coopération technique dans la seconde phase du Projet. En réponse à cette requête, le Projet a été lancé en Mai 2014 pour une durée de trois ans avec les objectifs suivants:

- 1) assurer la qualité et l'efficacité de la dissémination des COGES fonctionnels à l'échelle nationale qui sera mise en œuvre le MENA;
- 2) améliorer le modèle de COGES fonctionnel en mettant l'accent sur la qualité des apprentissages;
- 3) prendre en compte les innovations inscrites dans le Programme de Développement Stratégique de l'Éducation de Base (PDSEB) pour le développement de la gestion décentralisée de l'école Burkinabè.

L'évaluation à mi-parcours a été entreprise conjointement par l'Équipe et les autorités concernées du Burkina Faso dans le but d'évaluer les réalisations du Projet.

1-2. Objectifs de l'évaluation à mi-parcours

Les Objectifs de l'évaluation à mi-parcours sont les suivants:

- (1) examiner et évaluer les contributions, les activités, la structure, le processus de mise en œuvre et les réalisations du Projet;
- (2) identifier les problèmes et les questions indispensables pour une mise en œuvre réussie du Projet durant la période restante;
- (3) faire des recommandations pour les activités durant la période restante;
- (4) et réexaminer et réviser le Cadre Logique du Projet(PDM).

1-3. Programme de l'évaluation à mi-parcours

L'évaluation à mi-parcours a été faite du 5 au 22 Janvier 2016 au Burkina Faso.

Date		Activités
5 jan	mar	18:00 Arrivée au Burkina Faso
6 jan	mer	08:30 Réunion au Bureau de la JICA 09:00 Réunion avec le siège de la JICA 11:00 Entretien avec les homologues du Projet au MENA 13:00 Réunion avec les expertes japonaises
7 jan	jeu	09:00 Visite à la Circonscription de l'Education de Base (CEB) Ourgou Manéga 09:30 Visite à la Coordination Communale des COGES (CCC) 11:00 Visite COGES Zoundi 15:00 Visite COGES Tambogo
8 jan	ven	09:00 Visite à la CEB Koursmoro 09:30 Visite COGESKougpela 11:30 Visite COGES Ikiemdé 13:00 Visite à la CCC KRS
9 jan	sam	Documentation
10 jan	dim	Documentation
11 jan	lun	07:30 Visite à la Direction Provinciale de l'Education Nationale et de l'alphabetisation (DPENA) Kadiogo 08:00 Visite à la CEB Ouaga 6 09:30 Visite COGES Sig Noghin C et D 11:30 Visite COGES Kologh-Koom A et B
12 jan	mar	09:00 Entretien avec DG/REB 11:00 Entretien avec Direction de l'Allocation des Moyens Spécifiques aux Structures Éducatives (DAMSSE) 13:00 Entretien avec SP-PDSEB
13 jan	mer	08:30 Réunion au bureau de la JICA 10:00 Visite de Courtoisie au MENA 11:00 Entretien avec les homologues du projet au MENA 13:00 Réunion avec les expertes japonaises du PACOGES2 17:00 Entretien avec Agence Française de Développement (AFD)
14 jan	jeu	10:15 Visite à la DPENA Sanmatenga (Kaya) 10:40 Visite à la Direction Régionale de l'Education Nationale de l'alphabetisation (DRENA) Centre-Nord 11:00 Visite à la CEB Pissila 11:30 Visite COGES Poulallé 14:30 Visite COGES Thiou-Poecé 17:00 Visite COGES Dibilou
15 jan	ven	08:20 Visite à la CCC Pissila 10:00 Visite à la CEB Zéguédéguen 10:40 Visite à la CCC Zéguédéguen 11:40 Visite COGES Zeguedeguin A 14:30 Visite à la DPENA Namentenga (Boulsa)
16 jan	sam	Documentation
17 jan	dim	Documentation
18 jan	lun	17 :00 Réunion avec les expertes japonaises du PACOGES2
19 jan	mar	15 :00 Réunion avec la Coordinatrice Nationale du PACOGES
20 jan	mer	10 :50 Entretien avec FDC 12:00 Entretien avec UNICEF 13:00Entretien avec International Handicap
21 jan	jeu	08 :00 Échanges avec les homologues de MENA sur le rapport d'évaluation à mi-parcours
22 jan	ven	07:00 Signature du compte-rendu sur les résultats de l'évaluation à mi-parcours 08:00 Comité de pilotage du PACOGES 2 14:15 Rapport à l'ambassade du Japon 15:30 Rapport au bureau de la JICA 20:15 Départ du Ouagadougou

12

14

1-4. Membres de l'équipe d'évaluation

1) Partie Burkinabè

KONFE/TASSENBEDOFatimata	Coordonnateur National duPACOGES
COMPAORE Zatarra	Personnel du projet (DFRC)
KIEMDE Joël	Personnel du projet (DICI)
KINDAA dama	Personnel du projet (DFRC)

2) Partie Japonaise

Nobuhiro KUNIEDA	Chef	Conseiller Senior (Education de Base), Département du Développement Humain, JICA
Kanae ABE	Planification de la Coopération	Experte Associée, Equipe 2, Education de Base, Groupe de l'Education de Base, Département du Développement Humain, JICA
Haruo ITO	Analyse d'Evaluation	ICONS, Co., Ltd.

1-5. Méthodologie de l'Évaluation

Basée sur le Cadre Logique du Projet (PDM) et sur le Plan d'Opération (PO), l'évaluation est destinée à clarifier les aspects suivants:

- 1) Les résultats atteints par le Projet sur la base des indicateurs du PDM
- 2) Le processus de mise en œuvre
- 3) Les cinq critères d'évaluation de la CAD (Comité d'Assistance au Développement) de l'OCDE sont les suivants;

Tableau1: Les cinq critères d'évaluation

Pertinence	Il s'agit de voir si les objectifs du projet, le but global et l'envergure du projet étaient/sont en conformité avec les besoins et préoccupations prioritaires du pays bénéficiaire au moment de l'évaluation du projet aussi bien qu'après l'évaluation. Ce critère mettra l'accent sur la politique/plan de développement du pays bénéficiaire, les besoins des bénéficiaires et la politique du donateur.
Efficacité	Il s'agit d'examiner le degré de réalisation des objectifs du projet par rapport aux résultats. Ce critère prendra en compte l'analyse quantitative sur la base des indicateurs de fonctionnement et d'effet de la JICA.
Efficienc	Il mesure comment les diverses contributions sont converties en résultats du projet pendant sa mise en œuvre (rendement du processus de mise en œuvre). Ce critère examinera l'opportunité des contributions telles que le coût du projet et son volume, le calendrier de mise en œuvre, le timing, sa fonction institutionnelle/organisationnelle.
Impact	Il s'agit d'identifier l'étendue de réalisation de l'objectif d'ensemble du projet, et de vérifier les changements volontaires et involontaires, directs et indirects, positifs et négatifs dans les aspects techniques, socio-économiques, institutionnels et environnementaux en tant que résultat du projet.
Viabilité	Il s'agit de voir si les avantages du projet vont probablement continuer après l'achèvement du projet. Ces critères vont inclure une étude des aspects techniques, institutionnels et financiers de l'agence/organisation d'exécution, le transfert de technologie et l'appropriation des bénéficiaires. Il comportera aussi une analyse des questions et contraintes qui pourraient entraver la viabilité du projet.

1-6. Amendements du Cadre Logique du Projet

Dans le Cadre Logique du Projet ver.1 qui a été approuvé le 10 Février 2014, la valeur cible de divers indicateurs n'a pas été déterminée et certains indicateurs n'ont pas été clairement décrits afin de pouvoir évaluer l'état d'avancement du Projet. Ainsi, les indicateurs modifiés (comme mentionné dans le Tableau 2) convenus entre l'Équipe et les autorités concernées ont été utilisés pour l'évaluation à mi-parcours.

Tableau 2: Indicateurs amendés pour l'Évaluation à Mi-parcours

	Cadre Logique du Projet Ver.1	Amendé
Objectif Global	<ol style="list-style-type: none"> 1. Effectif des élèves (garçons et filles) dans chaque école 2. Nombre total de classes construites par les COGES 3. Nombre total d' heures de cours supplémentaires 4. Nombre total d' heures d' études de nuit 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Effectif des élèves (garçons et filles) dans chaque école 2. Nombre total de classes construites par les COGES 3. Nombre total d' heures de cours supplémentaires organisés par le COGES (60 heures ou plus) 4. Nombre total d' heures d' études de nuit organisées par le COGES (15 heures ou plus)
But du Projet	<ol style="list-style-type: none"> 1. XX % de COGES exécutent les activités programmées dans le plan d'actions. 2. XX % de COGES sont mis en place démocratiquement à travers le vote à bulletin secret. 3. XX % de COGES ont élaboré un plan d'action et un bilan annuel. 4. XX % de plans d'action et bilan de COGES ont été récupéré par les services concernés. 5. La participation communautaire à la gestion participative de l'école est augmentée en terme personnel et financier. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 80% de COGES exécutent les activités programmées dans le plan d'actions. 2. La participation communautaire à la gestion participative de l'école est augmentée en terme personnel et financier <ul style="list-style-type: none"> - Taux de réalisation financière du PACOGES à 60%. - Fréquence des rencontres : 1 bilan financier, 2 assemblée générale(AG), 3 réunions de bureau
Résultat 1	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 XX % de COGES sont mis en place démocratiquement à travers le vote à bulletin secret. 1.2 XX % de COGES ont élaboré un plan d'action et un bilan annuel. 1.3 XX % de plans d'action et bilan de COGES ont été récupéré par les services concernés. 	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 80% de COGES sont été mis en place démocratiquement à travers le vote à bulletin secret. 1.2 75% de plans d'action et de bilan des COGES ont été récupéré par les services concernés.
Résultat 2	<ol style="list-style-type: none"> 2.1 Le rapport est élaboré. 2.2 Au moins XX par an, le suivi du MENA s'est tenu dans la zone de projet pilote. 2.3 Au moins XX par an, les AG de la CCC se sont tenues par dans la zone de projet pilote. 2.4 Au moins XX fois par an, la réunion provinciale/régionale de suivi des COGES se sont tenues. 2.5 Une atelier sur la capitalisation et la validation du modèle de la CCC a été organisé. 2.6 Validation du modèle du suivi du MENA-Commune/Arrondissement avec le modèle de la CCC. 	<ol style="list-style-type: none"> 2.1 Une structure chargée de la gestion décentralisée de l'école est prise en compte dans l'organigramme du MENA. 2.2 75% des COGES sont suivis par leur CEB au moins au moins 2 fois par an. 2.3 75% des CCC ont tenu leurs AG trois fois par an dans la zone pilote. 2.4 Au moins 1 fois par an, les réunions provinciale, et /régionale de suivi des COGES se sont tenues. 2.5 Le modèle de CCC est capitalisé, évalué et validé.
Résultat 3	<ol style="list-style-type: none"> 3.1 Capitalisation des bonnes pratiques relatives au thème et à la localité. 3.2 Présentation des bonnes pratiques à travers les media et le forum. 	<ol style="list-style-type: none"> 3.1 L'efficacité du modèle d'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion communautaire est confirmée dans la zone pilote; 3.2 Capitalisation des bonnes pratiques relatives à l'amélioration de la qualité des apprentissages dans la zone pilote; 3.3 Présentation des bonnes pratiques à travers les média et les différentes rencontres pour 80% des COGES.
Résultat 4	<ol style="list-style-type: none"> 4.1 Capitalisation des bonnes pratiques relatives au thème et à la localité. 4.2 Présentation des bonnes pratiques à travers les medias et le forum. 	<ol style="list-style-type: none"> 4.1 Capitalisation des bonnes pratiques relatives à la gestion des ressources par les COGES; 4.2 Présentation des bonnes pratiques à travers les média et les différentes rencontres pour 80% des COGES.

2. L'EXECUTION DU PROJET ET LE PROCESSUS DE MISE EN ŒUVRE

2-1. Contributions

2-1-1. Contributions de la Partie Japonaise

Le Tableau 3 fait une comparaison de ce qui a été prévu dans le Cadre Logique en Février 2014 avec les contributions réelles de la Partie Japonaise.

Tableau 3: Contribution de la Partie Japonaise

Planifié (PDM ver. 1)	Réalisé																
<p>[Experts Japonais]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Chef Conseiller (expert à court terme basé au Japon) 2. Adjoint au Chef Conseiller / Gestion d'École (Expert à long terme) 3. Gestion des Formations / Gestion du projet (1ère Année), Amélioration de la qualité de l'apprentissage / Gestion du projet (2^{ème} Année) (expert à long terme) 4. Gestion des ressources des COGES/ Gestion du projet (expert à long terme) -Experts à court terme (selon le besoin) 	<p>[Experts Japonais] (Voir Annexe 1-1) Les Experts suivants à long et court termes ont été dispatchés</p> <p>Experts à long terme</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Chef Conseillère/Gestion d'École 2. Gestion du projet/Gestion des formations 3. Gestion du projet/ Suivi des COGES <p>Experts à court terme</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Chef Conseiller (jusqu'en Avril 2015) 2. Expert audio-visuel pour la sensibilisation sur le COGES 																
<p>[Machines et Equipements]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Véhicule (s) 2. Selon le besoin 	<p>[Equipements] (Voir Annexe 1-2) Au total trois articles tels que les véhicules, la photocopieuse et les ordinateurs ont été fournis. Le montant total des dépenses s'élevait à 49, 860,200 CFA</p>																
<p>[Coût d'exploitation du Projet]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Coûts de l'organisation des ateliers et séminaires 2. Coûts de l'étude de base et de l'étude finale du Projet 3. Coûts pour les activités des projets pilotes 	<p>[Coût d'exploitation du Projet] (Voir Annexe 1-5) Au total la somme de 436, 529,890 CFA (A peu près 87 million de Yen)¹ a été allouée comme coût d'exploitation du Projet (Personnel, dépenses de fonctionnement, coûts des équipements, voyages et réunions). Les dépenses représentent 90% de l'estimation initiale convenue dans le Procès-verbal.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>PV</th> <th>Réel</th> <th>Taux</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td> <td>259.670.000</td> <td>126.067.295</td> <td>49 %</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>226.720.000</td> <td>310.462.595</td> <td>137 %</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td>486.390.000</td> <td>436.529.890</td> <td>90 %</td> </tr> </tbody> </table>		PV	Réel	Taux	2014	259.670.000	126.067.295	49 %	2015	226.720.000	310.462.595	137 %	Total	486.390.000	436.529.890	90 %
	PV	Réel	Taux														
2014	259.670.000	126.067.295	49 %														
2015	226.720.000	310.462.595	137 %														
Total	486.390.000	436.529.890	90 %														

2-1-2. Contributions de la Partie Burkinabè

Le Tableau 4 fait une comparaison de ce qui a été prévu avec les contributions réelles de la Partie Burkinabè.

Tableau 4: Contributions de la Partie Burkinabè

Planifié (PDM ver. 1)	Réalisé (Jusqu'en Décembre 2015)
<p>[Allocation du Personnel de l'Homologue]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MENA -Secrétaire Général -DGEB -Service pour la promotion des COGES/ Direction Générale de l'Education de Base(DGEB) 2. DRENA, DPENA, DRENA, DPENA, CEBetDirecteurs 	<p>[Allocation du Personnel de l'Homologue] (Voir Annexe 1-3)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Equipe du Projet (MENA): 11 2. Points Focaux des DRENA: 13
<p>[Coût d'exploitation du Projet]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Coûts directionnels liés aux formations 	<p>[Coût d'exploitation du Projet] (Voir Annexe 1-5) Au total, 274,295,897 CFA (A peu près 256 million Yen)² a été allouée comme coût</p>

¹ Taux de change 1CFA=0,201 Yen (Le taux de la JICA au 7 janvier 2016)

² Taux de change 1CFA=0,201 Yen (Le taux de la JICA au 7 janvier 2016)

<p>pour la généralisation des COGES dans tout le pays.</p> <p>2. Budget pour le suivi (carburant) des COGES dans la 1ère année</p> <p>3. A partir de la deuxième année, le budget pour le suivi est déboursé par un système régulier de suivi</p> <p>4. Les charges directionnelles pour le coût de fonctionnement.</p> <p>5. Bureau du Projet et coûts afférents</p>	<p>du Projet par la Partie Burkinabè (Personnel, dépenses de fonctionnement, coûts des équipements, des voyages, et des rencontres). Les dépenses représentent 86% de l'estimation initiale convenue dans le PV.</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>PV</th> <th>Réel</th> <th>Taux</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td> <td>583.013.493</td> <td>463.233.897</td> <td>79%</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>901.437.024</td> <td>811.062.000</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td>1.484.450.517</td> <td>1.274.295.897</td> <td>86%</td> </tr> </tbody> </table>		PV	Réel	Taux	2014	583.013.493	463.233.897	79%	2015	901.437.024	811.062.000	90%	Total	1.484.450.517	1.274.295.897	86%
	PV	Réel	Taux														
2014	583.013.493	463.233.897	79%														
2015	901.437.024	811.062.000	90%														
Total	1.484.450.517	1.274.295.897	86%														

2-2. Etat d'avancement des activités

Dans l'ensemble, les activités du projet ont été bien exécutées comme prévu, quand bien même certaines activités ont eu du retard compte tenu des perturbations politiques intervenues dans le pays. Au moment de l'évaluation à mi-parcours, la plupart des activités du Résultat 1 (renforcement des capacités de mise en place des COGES) et du Résultat 2 (renforcement du système de suivi et d'appui des COGES) ont été atteints. Ce qui a permis au Projet de passer à la mise en œuvre des activités des Résultats 3 et 4 qui visent l'amélioration de la qualité de l'apprentissage et de la gestion des ressources des COGES.

Comme le Projet a planifié beaucoup d'activités supplémentaires à travers le COGES en réponse à la stratégie et aux besoins du MENA, une mise en œuvre plus efficiente du Projet est requise pour la période restante du Projet.

Tableau 5: Etat d'avancement des activités (mai 2014-nov. 2015)

Activités	Etat d'avancement
1-1 Elaborer un plan d'opération de pour la généralisation des COGES dans tout le pays.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • L'Atelier de renforcement des capacités pour la mise en œuvre de la stratégie de généralisation des COGES (juin 2014) • Budgétisation de la 1ère généralisation (juin-juillet 2014) • Développement d'un standard de paiement de la généralisation à l'échelle nationale (juin 2014) • Budgétisation de la 2ème généralisation (nov. 2014) • Appuyer la budgétisation du plan d'action du SCGDE en 2015 y compris la généralisation à l'échelle nationale (nov. 2014-jan. 2015)
1-2 Reproduire les guides et traduire les supports audio-visuels en langues nationales.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Fourniture de copies des guides de gestion des COGES <ul style="list-style-type: none"> - Guide sur la gestion participative des COGES: 16,400 exemplaires - Aide-mémoire sur la gestion participative des COGES: 14,800 exemplaires • Traduction des supports vidéo de formation sur le COGES (oct. 2014-fév. 2015) • Conception, multiplication et distribution des affiches sur l'élection des membres de bureau COGES (oct. 2015)
1-3 Organiser des formations préparatoires pour les formateurs nationaux sur la généralisation des COGES.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Formation de recyclage pour les formateurs nationaux (FN) (2014) 2^{ème} vague Participants: 61 FN • Formations des responsables des Ecole nationale des enseignants du primaire (ENEP) (déc. 2014) Participants: 3 participants venus des 7 ENEP et de l'Université de KOUDOUGOU • Appui pour publier un arrêté ministériel pour accroître le nombre des Formateurs Nationaux (jan. 2015-) • Formation de recyclage pour les Formateurs Nationaux (mar. 2015) Participants: 81 FN

1-4 Organiser un atelier national d'échange d'informations sur la généralisation des COGES.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cérémonies de lancement de la Phase II du Projet (juin 2014) • Cérémonie d'inauguration de la généralisation à l'échelle nationale (juillet 2014) • Premier Comité de pilotage (juin 2014)
1-5 Organiser unesérie de programme de sensibilisation sur la promotion des COGES par les émissions radiodiffusées et télévisées.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Production de supports de sensibilisation par la radio et la TV pour la généralisation des COGES à l'échelle nationale • Activité de sensibilisation à travers les émissions radio (fév.-Oct.2015) Au total, 285 activités de sensibilisation ont été réalisées dans 51 stations radio de toutes les 13 régions (une moyenne de 21.9 fois/région). • Activité de sensibilisation à travers les émissions TV (mar. 2015) Au total, un programme de sensibilisation de 5minutes et un autre de 90 secondes ont été diffusés 24 fois par la chaîne nationale ont été fournis. • Activité du MENA pour promouvoir les COGES à travers les medias La généralisation à l'échelle nationale des COGES a été promue à travers une diffusion de la radio locale dans la région du Sud-ouest (sep. 2015) • Production de matériels d'information sur les COGES -Brochure sur l'approche COGES (nov. 2014) -Introduction du COGES dans le magazine de presse du MENA (ARC) (sep.2015) • Activité de sensibilisation à travers la diffusion par la radio et la télévision dans la région du Centre (déc. 2015)
1-6 Organiser des sessions de formation régionale au profit des premiers responsables (DRENA, DPENA, Gouverneurs, Hauts Commissaires, Maires) sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Formation des responsables déconcentrés et décentralisés dans 10 régions du Burkina Faso -Première généralisation (juil.-août. 2014) -Seconde généralisation (apr. 2015) Participants:426 des personnels (régional et provincial); gouverneurs:41, DRENA/DPENA:46, Maires (Délégations spéciales):278 et Association des Parents d'Elèves (APE)/Association des Mères Educatrices (AME):61
1-7 Organiser des sessions de formations provinciales pour les points focaux des DRENA, DPENA, CEB, et des chargés de l'éducation de Commune/Arrondissement sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Formation des points focauxdesDRENA, DPENA, CEB, et des chargés de l'éducation de la Commune - Première généralisation (août.-sep. 2014) - Seconde généralisation (juil. 2015) Participants:1.228 personnes (DRENA-PF, DPENA-PF, CEB et des chargés de l'éducation de la commune)
1-8 Organiser des sessions de formation pour les directeurs d'école sur la gestion participative de l'école et la mise en place des COGES.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Formation des directeurs d'école sur la gestion participative de l'école et la mise en place des COGES - Première généralisation (oct. 2014) - Seconde généralisation (avr.-mai 2015) Participants:9.434personnes
1-9 Organiser des sessions de formation pour les membres COGES sur la gestion participative de l'école et la planification.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Formation des membres COGES sur la gestion participative de l'école et la planification au niveau communal Participants: 40.036 personnes (9 régions, 5 membres de chaque COGES)* *les données de la région de centre-sud est en cours de récupération.
1-10 Organiser le suivi-évaluation relatif aux différentes formations.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Suivi de la formation de recyclage pour les Formateurs Nationaux (5 fois) • Suivi de la formation des responsables déconcentrés et décentralisés (2 fois) • Suivi de la formation des points focaux des DRENA, DPENA, CEB, et des chargés de l'éducation de la commune (2 fois) • Suivi de la formation des directeurs d'école sur la gestion participative de l'école et la mise en place des COGES (2 fois) • Suivi de la formation des membres COGES sur la gestion participative de l'école et la planification (2 fois)

<p>1-11 Organiser des sessions d'ateliers de partage d'expériences.</p>	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cérémonie de lancement de la phase II du Projet (juin 2014) • Comité de Pilotage (Premier: Juin 2014, Deuxième: Déc. 2014 et Troisième: Juil. 2015 jan 2016) • Visite de site des bonnes pratiques du COGES/CCC par les Formateurs Nationaux (août 2014) • Participation à la mission conjointe de suivi du PDSEB (avr. 2015) • Formation sur l'approche COGES pour le personnel concerné au MENA (juil. 2015) • Conférence publique sur la gestion des COGES à l'ENEP (mai 2015) • Participation à l'atelier d'élaboration d'outils pour la capitalisation et des bonnes pratiques des COGES (oct. 2015) (organisé par le MENA/ Direction Générale des Etudes et des Statistiques Sectorielles (DGESS)) <p>[Activité prévue]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Définir clairement un concept de COGES pour le continuum de l'éducation de base (Écoles préscolaire, primaire et secondaire) (après juin 2016) • relire l'arrêté ministériel sur les COGES (publié en 2013), basé sur le concept ci-dessus (courant 2016)
<p>1-12 Evaluer et réviser le plan opérationnel pour la généralisation des COGES à mi-parcours de la généralisation.</p>	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Atelier d'évaluation à mi-parcours pour la première généralisation (nov.2014) • Bilan du travail de la première généralisation et atelier (déc. 2014) • Atelier bilan à mi-parcours des activités de la deuxième généralisation des COGES (juin. 2015) <p>[Activité prévue]</p> <p><i>Atelier d'évaluation finale pour la généralisation à l'échelle nationale (jan. 2016)</i></p>
<p>2-1 Etudier et faire des recommandations sur le rôle de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Eccles à l'orientation et la gestion des services décentralisés et déconcentrés du secteur de l'éducation de base.</p>	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Au Burkina Faso <ul style="list-style-type: none"> -Recommandation sur le renforcement de la relation avec le MATDSI (lors de la cérémonie de lancement du Projet : juin2014) -Recommandation sur les rôles de la commune et des COGES pour le suivi de la construction des infrastructures scolaires (dans l'étude de faisabilité du Projet de construction d'école par l'AFD : juin- juil. 2015) -Recommandation dans le premier comité de pilotage du PDSEB (juil. 2015) • Dans les Pays voisins <ul style="list-style-type: none"> -Étude sur la décentralisation en Afrique de l'Ouest par la JICA (fév. 2015) -l'Atelier sous régional de Partage d'Expériences sur la Gestion Décentralisée de l'Ecole (mars. 2015, Niger) <p>[En cours]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Renforcement de capacité du SCGDE (De juin2014 jusqu'à nos jours)
<p>2-2 Evaluer et faire des recommandations sur l'état des lieux du système du suivi du MENA et des CCC dans la zone de la première phase.</p>	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Evaluation et recommandation sur le système de suivi par le MENA <ul style="list-style-type: none"> -Améliorer et revoir les fiches de suivi et le système de rapport • Atelier d'évaluation des CCC (sep. 2014) • Révision du guide CCC (nov.2014)
<p>2-3 Mener un Projet Pilote au niveau de la zone de la première phase pour expérimenter le système du suivi du MENA-Commune/Arrondissement avec le modèle de la CCC.</p>	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Formation des acteurs de la CCC (jan. 2015) Participants: 55 personnes (les secrétaires généraux des Communes, les chargés de l'Education, les Chefs de circonscription et les points focaux aux niveaux régional et provincial des 15 communes cibles) • AG de mise en place de la CCC (fév. 2015) • Élaboration du Plan d'Action de la CCC (fév. 2015) • AG d'évaluation à mi-parcours de la CCC (juil.2015) • AG de bilan annuel de la CCC (sep.-oct.2015) <p>[En cours]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Analyse des résultats pilotes de la CCC (De nov. 2015 jusqu'à nos jours) <p>[Activité prévue]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Atelier de partage d'expériences sur les résultats pilotes de la CCC (fév. 2016) • Révision du guide de la CCC (déc. 2015- jan. 2016)
<p>2-4 Organiser des fora régionaux de la CCC (scolarisation des filles, etc.)</p>	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • En lieu et place du forum des CCC au niveau régional, des activités pilotes pour le développement de l'éducation participative ont été réalisés au niveau de la commune (à travers la CCC).

12

AA

2-5 Valider le modèle du suivi du MENA-Commune/Arrondissement avec le modèle de la CCC.	<p>[Activité prévue]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Approbation du modèle de la CCC <i>Partager les résultats pilotes et finaliser le modèle CCC avec le MENA-MATDSI (fév. 2016)</i> • Publier l'arrêté ministériel conjoint par le MENA et le MATDSI (courant 2016)
2-6 Partager des expériences sur le modèle du suivi du MENA-Commune/Arrondissement avec le modèle de la CCC.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Suivi dans les zones pilotes de la CCC • Partage d'information et d'expérience de la CCC -Partager le modèle CCC dans l'Atelier sous régional de Partage d'Expériences sur la Gestion Décentralisée de l'Ecole (mars. 2015, Niger) -Partager les informations sur le modèle CCC avec l'AFD (juin-juil. 2015) <p>[En cours]</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>Collecte des fiches de suivi des CCC (De nov. 2015 jusqu'à nos jours)</i> • <i>Révision de la manière de rencontres régulières</i> <p>[Activité prévue]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Généraliser le modèle CCC dans 3 provinces (Centre-Nord, Centre-Est, Plateau-Central) • Généraliser le modèle CCC dans l'ensemble du pays (2016-2018)
3-1 Organiser une étude sur l'état des lieux des activités des COGES qui visent l'amélioration de la qualité de l'apprentissage à travers la gestion communautaire au niveau des pays voisins et au Burkina Faso.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Pays voisins - l'Atelier sous régional de Partage d'Expériences sur la Gestion Décentralisée de l'Ecole (mar. 2015, Niger) • Au Burkina Faso -Étude de base (sep.-déc. 2014) -Participation à l'atelier de l'Élaboration d'une feuille de route pour la mise en œuvre de la matrice de performance de la qualité /groupe de qualité de l'éducation (jan. 2015) -Evaluation et recommandations à la troisième mission conjointe de suivi du PDSEB (avr. 2015) -Participation à l'atelier sur l'approbation du rapport d'évaluation des rendements scolaires en 2014 par le MENA/DGESS (mai 2015) <p>[Activité prévue]</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>Etude sur l'efficacité des activités de COGES de l'amélioration des conditions d'apprentissage périscolaire pour améliorer les rendements scolaires (jan.-sep. 2016)</i> • <i>Evaluation des activités des COGES et du rendement scolaire en se basant sur les statistiques de l'éducation</i> • <i>Evaluer la contribution des activités COGES dans le résultat du CEP</i>
3-2 Organiser la session des rencontres de partage d'expériences et d'informations avec les acteurs concernés qui travaillent dans les activités de l'amélioration de la qualité des apprentissages.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Atelier de conception sur l'approche intégrée : COGES/ Ecole de Qualité Amie des Enfants (EQAmE)/PEQ (fév. 2015) • Partage des informations avec le MENA/EQAmE • Participation au "séminaire d'information et de réflexion sur les résultats de trois études concernant l'amélioration de la qualité de l'éducation via la gestion participative de l'école" organisé par la JICA (fév. 2015) • Participation à la 3eme mission conjointe de suivi du PDSEB (avr. 2015) • Participation à la rencontre mensuelle du groupe thématique qualité (De fév.2015 à nos jours)
3-3 Organiser des ateliers pour la révision du modèle de COGES qui vise l'amélioration de la qualité des apprentissages.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Atelier pour élaborer un manuel dans le but d'encourager les parents à l'amélioration des conditions d'apprentissage périscolaire (nov. 2015) <p>[Activité prévue]</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>Améliorer la qualité de l'apprentissage et la promotion de la santé à travers une approche multisectorielle dans la région du Centre-Nord (jan.-sep.2016)</i>
3-4 Réviser le guide et les modules de formation élaborés en première phase qui vise à l'amélioration de la qualité des apprentissages.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Conception d'un manuel dans le but d'encourager les parents à l'amélioration des conditions d'apprentissage périscolaire (nov. 2015) <p>[Activité prévue]</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>Révision du manuel ci-dessus mentionné après l'avoir testé (sep. 2016)</i>
3-5 Organiser un forum national sur les COGES (amélioration de la qualité des apprentissages etc.) dans la zone de la première phase.	<p>[Activité prévue]</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>Partager les expériences avec les COGES pour améliorer l'enseignement sur la base des résultats d'études prévues en activité 3-1.</i>

D

AA

<p>4-1 Réaliser une étude sur la gestion des ressources des COGES (cantine scolaire, infrastructure etc.) aux niveaux des pays voisins et au Burkina Faso.</p>	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Étude et évaluation de la politique de cantine scolaire au Burkina Faso <ul style="list-style-type: none"> -Faire un rapport sur la situation présente et la vision future du programme de cantine scolaire par le MENA lors de la troisième mission conjointe de suivi du PDSEB (avr. 2015) -Participation à l'atelier d'évaluation des capacités nationales en matière d'alimentation et de nutrition scolaires au Burkina Faso soutenu par le PAM (juil.2015) -Participation au premier Comité de Pilotage du PDSEB (juil.2015) • Construction d'école à travers la participation communautaire <ul style="list-style-type: none"> -Étude de faisabilité supplémentaire du nouveau projet de l'AFD (juin-juil. 2015) -Participation à l'élaboration du guide sur la construction des infrastructures scolaires (août.-sep. 2015)
<p>4-2 Organiser des sessions de partages d'information et d'expériences sur la gestion des ressources des COGES au niveau Burkina Faso et formuler des recommandations.</p>	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Programme de cantine scolaire <ul style="list-style-type: none"> -Collecte d'informations et échange sur le programme de cantine scolaire lors du second comité de pilotage du PACOGES (déc. 2014) -Partage d'informations avec le MENA/DAMSSE sur le programme de cantine scolaire (jan. 2015) - Collecte d'informations et échange sur la politique de cantine scolaire lors de la rencontre de Groupe thématique qualité (fév. 2015) - Collecte d'informations et échange avec le MENA/DAMSSE sur la contribution des COGES portant sur la cantine scolaire (mars. 2015) -Echange avec le MENA/DAMSSE sur les rôles des COGES dans le nouveau programme de la cantine en se basant sur la note circulaire du Ministère de l'Economie et des Finances (MEF) (juin 2015) - Collecte d'information et échange avec le MENA/DAMSSE sur la vision du programme de cantine scolaire en 2015-2016 (oct. 2015) -Atelier d'élaboration de guide sur la gestion des cantines scolaires par le COGES (nov. 2015) • Activité Génératrice de Revenus (AGR) <ul style="list-style-type: none"> -Recommander l'activité génératrice de revenus à travers le COGES et lancer des activités pilotes dans le cadre de la collaboration l'UNICEF-JICA (PACOGES) dans la région du Sahel. -Atelier sur la révision des modules de formation de l'AGR (août. 2015)
<p>4-3 Organiser des séminaires de partage d'expériences des COGES au niveau de l'Afrique de l'ouest.</p>	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> -l'Atelier sous régional de Partage d'Expériences sur la Gestion Décentralisée de l'Ecole (mars. 2015, Niger)
<p>4-4 Organiser des formations de renforcement des capacités des COGES sur la gestion des ressources.</p>	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Fournir des informations sur la fièvre hémorragique Ebola à travers les COGES (déc. 2014-Mars. 2015) • Formation des COGES sur les AGR dans 151 écoles de la Région du Sahel (sep.-Oct. 2015) • Formation des COGES sur la gestion financière dans toutes les 13 Régions (déc. 2015) <p>[En cours]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Élaboration d'un guide de gestion de la cantine scolaire par les COGES (nov. 2015) • Élaboration d'un manuel de gestion des lampes solaires par les COGES (nov. 2015) <p>[Activité prévue]</p> <ul style="list-style-type: none"> • AGR <ul style="list-style-type: none"> -Suivi des AGR dans 151 écoles de la Région du Sahel -Activité pilote de mise en œuvre des AGR à travers le COGES en collaboration avec l'UNICEF (2015-2016) -Révision du module de formation et des fiches de suivi de l'AGR sur la base de résultat de l'activité pilote (juil.-sep. 2016) • Programme de cantine scolaire <ul style="list-style-type: none"> -Renforcer la capacité des personnes ressources dans la Région du Centre-Nord (fév. 2016) -Révision du modèle et du manuel sur la base de résultat de l'activité pilote (juil.-sep. 2016) • Gestion des lampes solaires <ul style="list-style-type: none"> -Promotion des études de nuit dans 42 écoles des Régions du Sahel, du Centre-Nord et du Plateau Central en collaboration avec l'Une Lampe pour Afrique (2015-2016) -Utilisation de manuels d'appui à l'apprentissage hors classe dans la Région du Centre-Nord -Responsabiliser les COGES dans la distribution et la gestion des lampes solaires en collaboration avec l'Une Lampe pour Afrique • Construction d'écoles <ul style="list-style-type: none"> -Élaboration de manuel, renforcement des capacités sur le suivi de construction d'écoles par la participation communautaire en collaboration avec l'AFD.

12

2-3. Les réalisations du Projet

2-3-1. Les résultats

La plupart des activités prévues ont été mises en œuvre avec succès et les résultats sont en cours finalisation; ce qui devrait contribuer à la réalisation de l'objectif du Projet.

Résultat 1: Les COGES sont mis en place sur l'ensemble du territoire national et les capacités des acteurs concernés sont renforcées

Indicateur 1-1: 80% des écoles disposent d'un COGES mis en place démocratiquement

Le COGES a été mis en place à travers le processus d'élection démocratique dans 87,9% des écoles publiques dans les 4 régions cibles (première dissémination en 2014) et 92,5% dans 6 régions cibles (deuxième dissémination en 2015). Cependant les écoles privées sont moins intéressées par les activités COGES. Ce sont les régions de la Boucle du Mouhoun et des Hauts-Bassins qui ont le plus d'écoles privées et où le taux de mise en place des COGES est relativement faible.

Tableau 6: Nombre et taux des COGES mis en place à travers une élection démocratique (2014-2015)

	Ecoles	COGES	Taux d'installation
(1) Boucle du Mouhoun	1.233	1.077	87,3%
(2) Cascades	521	518	99,4%
(3) Hauts-Bassins	1.297	891	68,7% ³
(4) Sud-ouest	810	778	96,0%
Total	3.861	3.264	87,9%

Source : Statistiques de l'éducation en 2014-2015 (DGESS)

Tableau 7: Nombre et taux des COGES mis en place à travers une élection démocratique (2015-2016)

	Ecoles	COGES	Taux d'installation
(1) Sahel	931	930	99,9%
(2) Nord	1.207	1.138	94,3%
(3) Est	1.182	1.129	95,5%
(4) Centre-Ouest	1.220	1.100	90,2%
(5) Centre-Sud	609	597	98,0%
(6) Centre	528	406	76,9%
Total	5.677	5.300	92,5%

Source : Statistiques de l'éducation en 2015-2016 (DGESS)

Indicateur 1-2: 75% de plans d'action et bilan de COGES ont été récupéré par les services concernés

En 2013-2014, 85% des COGES dans 3 régions cibles (COGES mis en place pendant la première phase du Projet) ont élaboré et soumis un plan d'action de l'école (PA) et un bilan annuel (BA). Cependant, seulement 56% des COGES dans 7 régions (3 de la première phase et 4 de la première dissémination) ont présenté un PA et un BA de 2014-2015 (la collecte des PA et des BA est en cours).

³Annuaire Statistique de l'Education Nationale: DGESS (2014-2015)

12

12

Tableau 8: Taux de collecte du rapport annuel (jusqu'en novembre 2015)

	COGES	2013-2014		2014-2015(en cours)	
		No. Rapport annuel	Taux de collecte	No. du rapport annuel	Taux de Collecte
Plateau Central	780	718	92%	552	71%
Centre-Est	882	788	89%	411	47%
Centre-Nord	1018	738	72%	520	51%
Boucle du Mouhoun	1077	-	-	676	63%
Cascades	518	-	-	149	29%
Hauts-Bassins	891	-	-	634	71%
Sud-Ouest	778	-	-	592	76%
Total	5.944	2.244	85%	3534	56%

Source: Rapport du Projet

Résultat 2: Le système durable de suivi-accompagnement des COGES est renforcé

Indicateur 2-1: Une structure chargée de la gestion décentralisée de l'école est prise en compte dans l'organigramme du MENA

L'arrêté ministériel portant création du SCGDE au MENA: No.2014-0082 / MENA / SG / DGEB a été publié (le 13 juin, 2014). Le SCGDE est composé de 3 départements (formation / renforcement des capacités, suivi et évaluation, innovation et coordination) avec 9 membres du personnel et le service est relèvé de la DDEPrim/DGEB au MENA.

Indicateur 2-2: 75% des COGES sont suivis par leur CEB au moins 2 fois par an

Le MENA a publié la note du nouveau semestre (2015-2021) en 2015 qui stipule que la supervision des COGES lors de la supervision pédagogique et administrative par la CEB est obligatoire. En effet, le carburant nécessaire à cette supervision est doté aux CEB depuis 2009. Bien que les données nécessaires pour évaluer cet indicateur ne fussent pas disponibles pour l'évaluation à mi-parcours, les inspecteurs des CEB ont répondu pendant l'entretien que la fréquence de suivi dans chaque école couverte est d'au moins une fois par mois.

Indicateur 2-3: 75% des CCC tiennent 3 fois par an leur AG dans la zone pilote

Toutes les CCC dans les 15 communes cibles ont tenu des réunions trois fois en 2014-2015. D'autre part, 10 parmi les 15 communes ont tenu leur première réunion de la CCC en 2015-2016. Le nombre de réunions de la CCC a pu être influencé par la déstabilisation causée par le changement politique survenue en fin de l'année 2014 où tous les maires qui avaient en charge les CCC qu'ils présidaient ont été remplacés.

Tableau 9: Nombre de rencontres CCC sur le site pilote

	2014-2015	CCC a tenu une rencontre	2015-2016	CCC a tenu une rencontre
Première rencontre	février 2015	15	novembre - décembre 2015	10/15
Deuxième rencontre	juillet 2015	15	juillet 2016	
Troisième rencontre	septembre-octobre 2015	15	septembre 2016	

Source: Rapport du Projet

Indicateur 2-4: Au moins 1 fois par an, la réunion régionale de suivi des COGES s'est tenue

Le PACOGES a tenu des rencontres avec les points focaux sur la supervision des COGES au niveau régional et au niveau provincial au moins une fois par an depuis l'année 2014. La situation se présente comme suit:

- 2014-2015: la rencontre de synthèse des rapports annuels avec es points focaux régionaux et provinciaux dans 7 provinces a été tenue en novembre 2015.
- 2015-2016: La rencontre provinciale pour le suivi de la généralisation nationale avec les points focaux de 7 provinces et membres de CEBA été tenue en décembre 2015.
- 2015-2016: La rencontre de synthèse du rapport annuel avec les points focaux régionaux et provinciaux est prévue en fin de l'année scolaire.

Indicateur 2-5: Le modèle de CCC est stabilisé, évalué et validé

Le PACOGES a compilé les résultats des CCC pilotes et évalué le modèle actuel. Les indicateurs suivants montrent que la plupart des CCC pilotes ont fonctionné d'une manière efficace quoique des modifications nécessaires pour la généralisation future du modèle CCC aient été identifiées tels que les membres CCC, les méthodes de collecte de fonds, le format du rapport annuel. L'approbation du modèle CCC se fera après un partage d'information sur les résultats obtenus dans la zone pilote et la finalisation dudit-modèle avec le MENA-MATDSI en février 2016. Ainsi, le Projet appuiera la publication de l'arrêté conjoint MENA/MATDSI en 2016.

Résultat 3: Les activités des COGES qui visent l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion communautaire sont confirmées et partagées sur l'ensemble du territoire national

Indicateur 3-1: L'efficacité de l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers les activités des COGES est confirmée dans la zone pilote

Le Projet prévoit une étude sur la contribution de l'apprentissage supplémentaire soutenu par le COGES sur les résultats scolaires des élèves dans la zone pilote (Région du Centre-Nord) de janvier à septembre 2016.

Indicateur 3-2: Les bonnes pratiques relatives à l'amélioration de la qualité des apprentissages dans la zone pilote sont capitalisées

Les bonnes pratiques du COGES pour l'amélioration de la qualité des apprentissages dans la

12

zone pilote seront répertoriées, le Projet a déjà identifié quelques bonnes pratiques à travers l'étude de base et les ateliers en rapport avec l'amélioration de la qualité de l'apprentissage. La DGESS/MENA prévoit la compilation des bonnes pratiques des COGES.

Tableau 10: Fonctionnalité des CCC en 2014-2015

Indicateurs	Moyenne
Taux de Participation des COGES aux Réunions de la CCC	92%
Taux d'élaboration du Plan d'Action de la CCC	100%
Taux de Mise en œuvre des activités de la CCC	81%
Taux d'exécution du Budget pour les activités de la CCC.	82%

Source: Rapport du Projet

Indicateur 3-3: 80% des COGES sont informés sur les bonnes pratiques à l'amélioration de la qualité des apprentissages

Les bonnes pratiques du COGES pour l'amélioration de la qualité des apprentissages dans la zone pilote seront partagées d'ici la fin du Projet. Une vidéo montrant les «Bonnes pratiques d'amélioration des résultats d'apprentissage à travers les activités COGES» a été présentée dans diverses formations et ateliers organisés par le PACOGES.

Résultat 4: Le système de la gestion des ressources des COGES est consolidé et leurs capacités sont renforcées

Indicateur 4-1 : Les bonnes pratiques relatives à la gestion des ressources sont capitalisées

Le PACOGES envisage la mise en œuvre des activités génératrices de revenu (AGR), un programme de cantine scolaire, une gestion des lampes solaires et un programme de construction avec d'autres partenaires durant la période restante du Projet. Les bonnes pratiques en gestion des ressources à travers ces activités seront capitalisées par les moniteurs du Projet. Les résultats de l'Étude du MENA et les recommandations sur le programme de cantine scolaire ont été capitalisés dans le Rapport du Premier Comité de Pilotage du PDSEB (juillet 2015).

Indicateur 4-2: 80% des COGES sont informés sur les bonnes pratiques relatives à la gestion des ressources

Les bonnes pratiques relatives à la gestion des ressources seront partagées au niveau national d'ici la fin du Projet. Quelques bonnes pratiques des activités COGES ont été partagées à travers les médias tels que:

- Radio: Les bonnes pratiques des COGES avec le scénario de sept séries ont été diffusées 287 fois à travers 51 stations radio au niveau national.
- TV: La bonne pratique du COGES avec un programme de 5 minutes a été partagée à travers la chaîne de la radio et de la télévision nationale.

12

2-3-2. Lebut du Projet

Le but du projet: Les COGES dans les écoles primaires sont fonctionnels dans tout le pays.

Au moment de l'évaluation à mi-parcours, la plupart des indicateurs sur le but du Projet ont été atteints. Bien qu'on ait pris en compte les indicateurs dans les régions où les COGES ont été récemment mis en place, la possibilité dans le futur de réaliser les objectifs du Projet est considérée comme élevée si l'on se base sur les résultats actuels.

Indicateur 1: 80% de COGES exécutent les activités programmées dans le plan d'actions

Les résultats des bilans annuels collectés (BA) ont montré que seulement 6,2% des COGES n'ont pas mis en œuvre toutes les activités prévues en 2014-2015, et 94% des COGES ont mis en place au moins une ou plusieurs activités.

Tableau 11: Nombre et taux des COGES avec au moins une activité exécutée (2014-2015)

	No. de COGES	BA Collecté	COGES sans activité	
Plateau Central	780	503	13	2,6%
Centre-Est	882	326	4	1,2%
Centre-Nord	1.018	455	10	2,2%
Boucle du M	1.077	603	57	9,5%
Cascades	518	132	8	6,1%
Hauts-Bassins	891	522	73	14,0%
Sud-Ouest	778	350	15	4,3%
Total	5.944	2.891 ⁴	180	6,2%

Source: Rapport du Projet

Indicateur 2: Participation communautaire à la gestion participative de l'école est augmentée :

- Taux de réalisation financière du PA/COGES à 60%

- Fréquence des rencontres : 1 bilan financier, 2 AG, 3 réunions de bureau

Le budget moyen mobilisé pour la mise en œuvre des activités COGES était de 149.011 FCFA / COGES (64% du budget prévu) en 2013-2014, et 143.914 FCFA (51% du budget prévu) en 2014- 2015. Ainsi, le taux de dépenses 2014-2015 n'a pas atteint le niveau cible de 60%. Pendant l'entretien, les membres COGES ont également reconnu qu'ils doivent redoubler d'efforts pour promouvoir la compréhension de la philosophie des COGES à la communauté et aux parents d'élèves afin d'améliorer leur participation et leur contribution.

Tableau 12: Dépenses prévues et Dépenses réalisées des COGES en 2013-2014

	2013-2014			
	Dépenses prévues	Dépenses réalisées	Taux	Dépenses /COGES
Plateau Central	128.517.635	83.778.295	65%	116.683
Centre-Est	218.094.727	166.073.573	76%	210.753
Centre-Nord	177.843.080	84.529.155	48%	114.538
Total	524.455.442	334.381.023	64%	149.011

Source: Rapport du Projet

⁴ Excluant 643 de BA qui avaient des imperfections

R

A

Tableau 13: Dépenses prévues et Dépenses réalisées des COGES en 2014-2015

	2014-2015 (jusqu' en Nov. 2015)			
	Dépenses prévues	Dépenses réalisées	Taux	Dépenses /COGES
Plateau Central	100.708.970	74.519.540	74%	148.150
Centre-Est	88.914.130	73.977.055	83%	226.923
Centre-Nord	74.225.670	48.183.365	65%	105.898
Boucle du Mouhoun	215.254.555	98.162.580	46%	162.790
Cascades	28.335.270	16.181.970	57%	122.591
Hauts-Bassins	210.887.637	75.127.782	36%	143.923
Sud-Ouest	89.614.325	29.903.073	33%	85.437
Total	807.940.557	416.055.365	51%	143.914

Source: Rapport du Projet

En 2013-2014, la fréquence moyenne du bilan financier des COGES était de 2,2 fois/an, les réunions du bureau était de 4,3 fois /an et les assemblées générales étaient de 3,7 fois/an. En 2014-2015 le rapport de la comptabilité était de 1,5 fois /an, et les réunions du bureau étaient de 3,0 fois/an et les assemblées générales étaient de 2,5fois/an.

Tableau 14: Fréquence de réunions du bureau et des assemblées générales en 2013-2014

	No. De COGES	BA Collecté	Bilan financier		Réunions du bureau		Assemblées générales	
			No.de rapport	Rapport /COGES	No. de Réunion	Réunions /COGES	No. de Réunion	Réunion /COGES
Plateau Central	780	442	763	2,8	1.268	4,6	996	3,6
Centre-Est	882	234	469	1,8	748	2,8	563	2,1
Centre-Nord	1.018	452	1073	3,3	2.229	6,6	1960	5,8
Total	2.680	686	1542	2,2	2.977	4,3	2523	3,7

Source: Rapport du Projet

Tableau 15: Fréquence de réunions du bureau et d'assemblées générales en 2014-2015 (jusqu'en Novembre 2015)

	No. des COGES	BA Collecté	Bilan financier		Réunions du bureau		Assemblées générales	
			No.de Rapport	Rapport /COGES	No. de réunions	Réunion /COGES	No. de Réunions	Réunions /COGES
Plateau Central	780	503	919	1,8	1.494	3,0	1.294	2,6
Centre-Est	882	326	698	2,1	976	3,0	810	2,5
Centre-Nord	1.018	455	731	1,6	1.360	3,0	1.151	2,5
Boucle du M.	1.077	603	823	1,4	1.806	3,0	1.503	2,5
Cascades	518	132	212	1,6	406	3,1	351	2,7
Hauts-Bassins	891	522	620	1,2	1.464	2,8	1.314	2,5
Sud-Ouest	778	350	434	1,2	1.143	3,3	864	2,5
Total	5.944	2.891	4.437	1,5	8.649	3,0	7.287	2,5

Source: Rapport du Projet

2-3-3. Objectif Global

Objectif Global: La gestion de l'école primaire est améliorée à travers le pays

Indicateur 1: Effectif des élèves (garçons et filles) dans chaque école

Selon les statistiques de l'éducation du MENA de 2009 à 2015 (voir dans le tableau 16), le nombre des inscriptions a été constamment augmenté. L'interview lors de l'évaluation à mi-parcours a

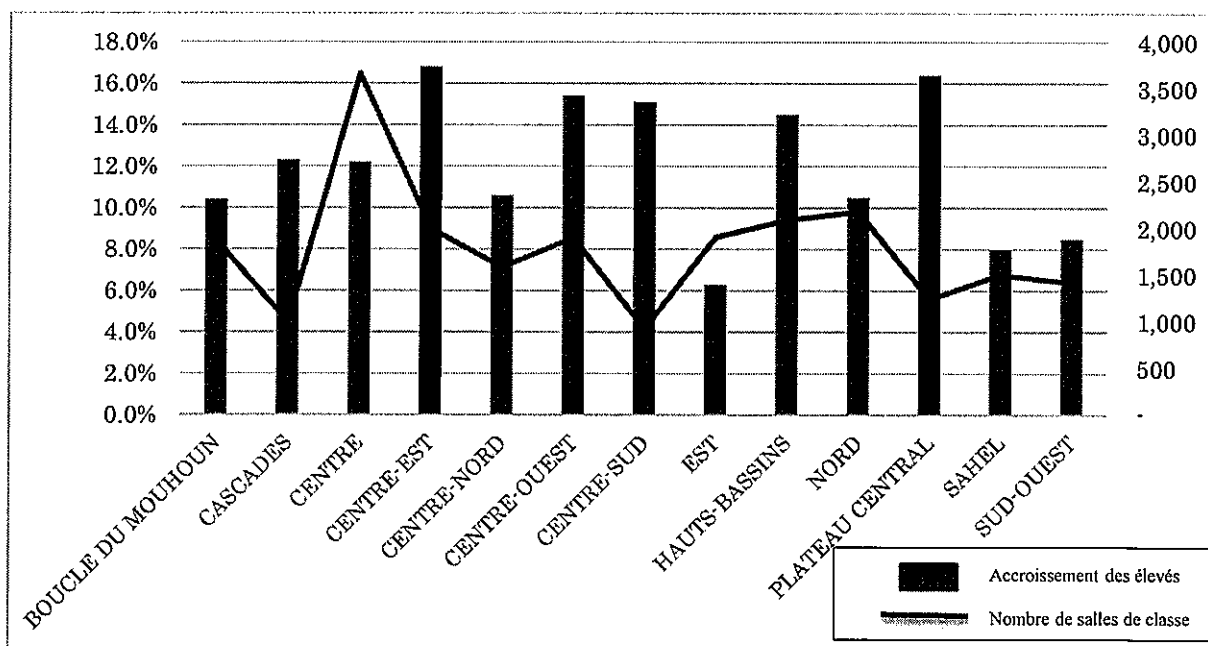
révéle que la mise en place des COGES a contribué à l'augmentation des effectifs scolaires, y compris la scolarisation des filles, parce que l'environnement éducatif a été grandement amélioré grâce à des activités de COGES tels que la sensibilisation des parents, le soutien aux cours supplémentaires/études de nuit et la construction / réparation des infrastructures scolaires.

Tableau 16: Taux d'inscription (2009-2015)

		2009-2010	2010-2011	2011-2012	2012-2013	2013-2014	2014-15
No. D'inscription	Garçon	1.089.912	1.163.784	1.225.032	1.276.330	1.337.654	1.395.418
	Fille	957.718	1.041.511	1.118.999	1.190.049	1.256.370	1.311.385
	Total	2.047.630	2.205.295	2.344.031	2.466.379	2.594.024	2.706.803
Taux (%)	Garçon	78,3	80,2	81,1	81,6	82,8	83,6
	Fille	71,2	75,0	78,1	81,0	83,2	83,9
	Total	74,8	77,6	79,6	81,3	83,0	83,7

Source: Rapport du Projet

Le taux d'accroissement des inscriptions était plus élevé dans les Régions du Centre-Est et du Plateau Central où le COGES a été mis en place au tout début (2009–2012) lors de la première phase du Projet. (Voir Figure 1). Alors que l'effectif des élèves pouvait aussi augmenter si le nombre de salles de classes augmentaient, le constat est que l'augmentation du nombre de salles de classes n'était pas forte dans ces deux régions comparées aux autres. Par conséquent, on pourrait dire que les inscriptions ont augmenté du fait des activités des COGES telles que la sensibilisation et l'amélioration de l'environnement scolaire.



Source : Statistique de l'Éducation en 2014-2015 (DGESS)

Figure 1: Taux d'accroissement des élèves et Nombre de salles de classe dans chaque Région

Indicateur 2: Nombre total de classes construites par les COGES

Au total 169 salles de classes (0,1 classe/COGES) ont été construites en 2014-2015 comme apport du COGES. Les activités des COGES sont passées des infrastructures scolaires au soutien du

12

rendement scolaire des élèves. Cependant beaucoup d'écoles ont toujours besoin de plus de salles de classes étant donné l'augmentation du taux des inscriptions. De plus, beaucoup de COGES soutiennent la réparation temporaire des salles de classes sous paillettes chaque année.

Indicateur 3: Nombre total d'heures de cours supplémentaires organisés par COGES (60 heures ou plus)

L'objectif de l'indicateur n'a pas été atteint car le nombre total d'heures de cours supportés par les COGES étaient de 155.248 heures (53,7 heures/COGES) en 2014-2015 (la collecte des données est en cours)

Indicateur 4: Nombre total d'heures d'études de nuit organisées par le COGES (15 heures ou plus)

L'objectif de l'indicateur n'a pas été atteint car le nombre total d'heures de cours du nuit y compris les études à la maison soutenues par les COGES étaient de 28.889,5 heures (10 heures/COGES) en 2014-2015.

2-3-4. Finalité

Finalité: L'accès et la qualité de l'éducation primaire sont améliorés

Le taux d'inscription, le taux d'achèvement, le nombre d'abandons et le taux de réussite au CEP sont fixés pour évaluer à finalité du Projet. Depuis la mise en œuvre de la première phase du Projet en 2009, tous les indicateurs pédagogiques se sont constamment améliorés comme indiqués dans le Tableau 17. Bien que la combinaison de plusieurs facteurs aient permis d'accroître ces indicateurs, certaines contributions aussi des activités des COGES pour accroître ces indicateurs ont été identifiées lors des interviews de l'évaluation à mi-parcours.

Tableau 17: Indicateurs pédagogiques

	Taux d'inscription	Taux d'achèvement ⁵	Nombre d'abandons	Taux de réussite au CEP
2007-2008	71,8%	38,9%	183.230	58,5%
2008-2009	72,4%	41,7%	201.354	72,7%
2009-2010	84,8%	45,9%	207.271	65,9%
2010-2011	77,6%	52,1%	178.322	64,0%
2011-2012	79,6%	55,1%	191.753	65,2%
2012-2013	81,3%	59,5%	182.013	60,9%
2013-2014	83,0%	57,6%	178.317	82,2%
2014-2015	83,7%	58,4%	151.275	73,4%

Source: Statistiques de l'Education en 2014-2015 (DGESS)

2-4. Résultats de l'Évaluation

2-4-1. Processus de mise en oeuvre

(1) Facteurs positifs au processus

Intégration des activités du Projet dans la politique nationale

L'approche et les activités du PACOGES sont bien intégrées dans la politique nationale du

12

DA

MENA. Certaines structures du MENA ainsi que d'autres partenaires ont commencé à valoriser les COGES mis en place par le PACOGES. La présentation et le partage d'informations sur les résultats du Projet au cours de divers séminaires et ateliers, ont convaincu plus d'un certain de la pertinence de la généralisation des COGES dans le pays. C'est la réaction que nous avons eue par exemple en présentant les résultats du projet lors du "séminaire d'information et de réflexion sur les résultats de trois études concernant l'amélioration de la qualité de l'éducation via la gestion participative de l'école" organisé par la JICA" (fév. 2015) Ce qui a permis de soutenir davantage, financièrement et techniquement, la stratégie de généralisation de la mise en place des COGES à l'échelle nationale et de leur pérennisation.

L'accent mis sur l'amélioration de la qualité des apprentissages par la mise en œuvre des activités des COGES

Le Projet s'est focalisé sur l'introduction des activités des COGES qui agissent directement sur l'amélioration des enseignements/apprentissages des élèves en partant des besoins réels de la communauté et la contribution de parents. Ce qui a renforcé le volet amélioration des résultats scolaires au détriment du volet environnement scolaire. De plus, la participation de la communauté s'est améliorée par le partage d'informations sur les résultats des apprentissages des élèves. Sur la base de cette expérience, la philosophie du COGES est mieux comprise et acceptée par les communautés comme indiqué dans la section "3. Recommandation".

Fort engagement de la partie burkinabè

Le fait que le Gouvernement du Burkina Faso couvre la proportion majeure des coûts du Projet à hauteur de 74% et la mise en place du service de la coordination de la gestion décentralisée d'école indiquent que la partie burkinabè s'est fortement engagée pour la mise en œuvre des activités du Projet. Toutes les formations pour la généralisation des COGES ont été soutenues et suivies par les membres de l'équipe nationale qui ont déployé d'énormes efforts pour résoudre les problèmes de boycott par les participants et cela à travers de nombreuses démarches menées auprès des structures syndicales (partenaires sociaux de l'éducation de base). La présence du service en charge des COGES permettra d'assurer la durabilité du suivi des COGES.

(2) Facteurs négatifs

Retard dans la mise en place du budget de la généralisation dû à la crise politique

Le processus de mise en place du budget a pris du retard du fait de la crise politique qui a secoué le Burkina Faso en octobre 2014. Ce qui a joué sur la qualité des sessions de formation pour la mise en place des COGES dans les six régions restantes, le temps ayant été relativement court.

Acteurs principaux du terrain non formés (Directeurs d'école, Encadreurs pédagogiques)

Certains acteurs du terrain qui n'ont pas reçu de formation ont rencontré des difficultés pour la mise en place des COGES et de leur suivi. Il s'agit notamment des directeurs d'école (SG du COGES)

qui jouent un rôle de facilitateur lors des rencontres COGES, de l'élaboration des plans d'action et des bilans annuels. Pour assurer le suivi et la mise en œuvre des activités COGES, un système de formation continue des acteurs nouvellement affectés est requis.

Pertinence de la mise en place des COGES dans les établissements privés

Le taux de participation à la formation et la mise en place des COGES est relativement faible dans les zones urbaines qui comptent beaucoup d'écoles privées. Selon la DPENA du Kadiogo, les COGES des écoles privées ont aussi rencontré des difficultés dans la collecte des contributions financières de la communauté. D'où la nécessité de trouver une stratégie efficace qui permet la mise en place des COGES dans les établissements privés.

Cohabitation avec des APE et AME

La relation entre COGES et APE/AME connaît des difficultés de cohabitation du fait de la non maîtrise de la philosophie des COGES. En effet, certains COGES rencontrent beaucoup de difficultés de cohabitation avec ces structures traditionnelles que sont les APE/AME. Il serait donc nécessaire de poursuivre la sensibilisation sur la collaboration entre ces différentes structures.

2-4-2. Évaluation par les cinq Critères

Les résultats de l'évaluation par les cinq critères à savoir la pertinence, l'efficacité, l'efficience, l'impact et la viabilité sont résumés ci-dessous.

Pertinence: Elevée

Besoins des acteurs concernés

(+) Le COGES a été bien accepté par la communauté, les parents et les enseignants. Cette approche a permis de répondre aux besoins de la communauté à travers l'élaboration des plans d'action du COGES fondés sur les situations réelles des écoles.

(+) D'autres structures du MENA ont adopté le modèle COGES pour leurs programmes tels que la cantine scolaire, la qualité des enseignements/apprentissages et les AGR. Par conséquent, la promotion du COGES par le Projet est une approche pertinente pour développer l'éducation à travers la mise en place d'une plate-forme de gestion basée sur l'école.

Priorité Politique

(+) Le PDSEB 2012–2021 stipule que le COGES, avec l'APE et l'AME, est une importante ressource pour l'éducation, et la politique vise à mettre en place le COGES dans toutes les écoles. D'où l'adoption en avril 2013 de la "Stratégie de généralisation de la mise en place des Comités de gestion d'école au Burkina Faso" dont l'échéance était prévue pour 2015.

(+) Le Gouvernement du Burkina Faso a pris le "Décret No 2008-236 portant organisation de l'

enseignement primaire ” en 2008 pour la mise en place du COGES dans chaque école. De plus, les composantes détaillées, les rôles et les attributions des membres COGES sont définis dans l'Arrêté conjoint No 2013-029, portant composition et fonctionnement du Comité de Gestion de l' Ecole signé en mars 2013.

(+) La charte de l'APD du Japon (avril 2015) indique son assistance prioritaire pour l'amélioration de la qualité de l'éducation sur la base du soutien pour la promotion du PDSEB 2012–2021. L'offre d'assistance pour la gestion basée sur l'école à travers les Projets “École pour Tous” a été acceptée lors de la 5^{ème} Conférence Internationale de Tokyo sur le Développement de l'Afrique(TICAD) en 2013.

Opportunité des Moyens

(+) L'activité pilote de la CCC répond à la politique de décentralisation qui vise à permettre aux Communes de prendre la responsabilité de la gestion des ressources de l'éducation de base. Le choix des sites pilotes de la CCC est aussi pertinent. La région du Centre-Nord est une région appropriée pour mener une phase pilote CCC en termes d'accès et d'engagement des acteurs.

(+) Le Projet a utilisé beaucoup d'éléments importants d'un COGES fonctionnel tels que l'élection démocratique, la formation pour la gestion participative de l'école et le suivi approprié basé sur l'expérience de la première phase du Projet et d'autres projets similaires se menant dans d'autres pays.

Efficacité: Modérée

Potentiel pour accomplir le But du Projet

(+/-) Les indicateurs du But du Projet - à savoir le taux d'exécution des activités et la fréquence des rencontres COGES- ont été atteints aux niveaux cibles excepté le taux d'exécution du budget, qui était de 56% en 2014–2015 (cible: 60%), étant entendu que la collecte des données est toujours en cours. Bien que la plupart des indicateurs aient été atteints, des efforts supplémentaires pour atteindre tous les objectifs sont nécessaires, particulièrement dans les régions où les COGES ont été nouvellement mis en place. De plus, les erreurs constatés au niveau des 11% des bilans annuels collectés indiquent qu'il ya nécessité d'améliorer l'outil pour évaluer les indicateurs du But du Projet.

Relations de Cause à effet

(+) Les relations logiques entre le But du Projet et chaque résultat sont appropriées. Sans le renforcement des capacités des acteurs du COGES (résultat 1) et le système d'appui/suivi durable (résultat 2), l'amélioration de la qualité des apprentissages (résultat 3) et le système de gestion des ressources (résultat 4) ne seraient pas réalisés.

Facteurs favorisant et Facteurs entravant l'efficacité

(+) Le PACOGES a favorisé l'amélioration de la qualité des apprentissages des écoliers à travers le

12

COGES. Selon les bilans annuels, 62% de leurs activités en 2014--2015 ont contribué directement à l'amélioration de la qualité des apprentissages plutôt que la réfection ou l'entretien des infrastructures scolaires. Cette approche utilise efficacement les ressources financières du COGES pour atteindre le But Global du Projet.

(-) D'importantes conditions critiques dans le Cadre Logique du Projet étaient toujours valables au moment de l'Évaluation à mi-parcours et ces conditions critiques sont liées à la détérioration de la situation sécuritaire due à la crise politique qui va impacter la poursuite du But du Projet.

(-) Le perfectionnement du modèle CCC dans la zone pilote est toujours en cours et son niveau de fonctionnalité varie d'une CCC à l'autre. Le modèle CCC gagnerait à ce que les responsabilités des différents membres soient redéfinies en vue de sa généralisation future.

Efficiences: Elevée

Activités et Apports pour produire des résultats

(+) Les matériels élaborés par le Projet incluant les guides sont appréciés et pleinement utilisés par les acteurs.

(+) Le Projet a exécuté les activités avec un minimum de dépenses en reprenant les infrastructures et équipements de la phase I du Projet. Le Projet a été aussi en mesure de bien exploiter les expériences passées et les matériels élaborés dans la première phase avec des modifications mineures.

(+) L'introduction d'un nouveau système de rapport/suivi a rendu plus efficace les données sur les apports et le calcul des plans d'action et des bilans annuels. Cela a aussi renseigné l'équipe nationale sur les situations détaillées de chaque COGES.

(+) On s'attend à ce que l'utilisation du système existant de suivi des CEB assure le mécanisme fonctionnel et efficace de suivi des COGES. Cela va certainement rehausser le niveau d'implication et l'appropriation au niveau communal.

(+) La plupart des membres de l'équipe nationale et les points focaux sont toujours en place depuis que le Projet a commencé, et le nombre et la qualification des agents permettent une bonne mise en œuvre du Projet.

Facteurs contribuant et Facteurs entravant l'efficacité

(+) Dans la période de mise en œuvre, le Projet a en outre exécuté des activités de gestion des lampes pour les apprentissages pendant la nuit, de programme de santé scolaire et d'offre d'informations sur la fièvre hémorragique Ebola à travers le COGES en répondant aux besoins et aux priorités émergentes.

(-) La mise en place des COGES a pris du retard par rapport au plan original parce que l'allocation des

Q

A

fonds nécessaires a été reportée dû à l'évènement politique en 2014. La période de généralisation dans les six régions pourrait aussi affecter la qualité des formations sur la généralisation de COGES.

Impact: Relativement Elevée

Perspective d'atteindre l'Objectif Global et la Finalité

(+/-) L'amélioration de l'accès et de la qualité de l'éducation a été rapportée par certaines écoles des régions pilotes depuis que le Projet a commencé. Cependant, la relation de cause à effet entre l'amélioration des indicateurs pédagogiques et les activités COGES n'a pas été vérifiée, et il est très tôt de conclure que le Projet a eu un impact sur la réalisation de l'Objectif Global et de la Finalité. En plus, pour améliorer le rendement scolaire à long terme, il est nécessaire de proposer aux COGES des mesures concrets à prendre par le Projet (par exemple, visualiser le résultat scolaire par les examens blanc non seulement en CM mais aussi en CP et CE, ou utiliser efficacement des annales etc.).

(+) Les impacts de la CCC sur les résultats d'apprentissage des élèves ont été identifiés à travers la comparaison entre les données du CEP de la DECEB et les statistiques pédagogiques de la DGESS dans les 26 communes pilotes et non-pilotes dans la région du Centre-Nord.

Autres Impacts positifs

(+) Le Projet a introduit quelques recommandations sur le suivi des COGES dans le processus d'élaboration du "Guide de Construction d'école" par le MENA/DSRIE, qui a été finalisé en octobre 2015. La sélection des sites de construction par la CCC et le suivi de la construction par le COGES ont été stipulés dans le guide.

(+) Les questions de suivi du PACOGES ont été intégrées dans les statistiques de l'éducation nationale de la DGESS en août 2015. L'utilisation des statistiques nationales permettra au Projet de collecter les données nécessaires et de partager les informations sur le COGES au niveau national.

(+) Le Projet a soutenu la formation sur la prévention, le traitement et la surveillance de la fièvre hémorragique d'Ebola avec un total de 673.968 participants dans les zones frontalières avec le Mali et le Ghana. L'activité a aussi permis à la communauté de comprendre l'efficacité du COGES. Comme la communauté a confiance aux membres COGES, la sensibilisation sur le virus Ebola a été bien acceptée par les participants locaux.

Durabilité: Relativement élevée

Aspects Politique et Institutionnel

(+) Comme mentionné dans la "Pertinence," le PDSEB 2011-2021 stipule que la mise en place des COGES est l'une des ressources importantes de la gouvernance de l'éducation pour résoudre les questions de l'éducation. Etant donné que la priorité a été accordée au PDSEB dans le développement de

12

l'éducation de base au Burkina Faso, la promotion des activités COGES devrait être viable.

(+) La mise en place des COGES a déjà été validée en tant que structure officielle d'organisation communautaire dans le "Décret No. 2008-236 portant organisation de l'éducation primaire" pris en 2008.

Aspect Institutionnel

(+) L'arrêté ministériel portant installation du SCGDE (N°2014-0082/MENA/SG/DGEB) a été signé le 13 juin 2014. Le SCGDE s'occupe exclusivement de la promotion des COGES avec un personnel de 9 agents relevant de la DGEB/ MENA.

(+) Le Projet a encouragé l'application du modèle COGES par les programmes des autres départements du MENA et par d'autres agences d'aide à travers divers séminaires et ateliers. Pendant que le fonctionnement du COGES a été renforcé par des soutiens supplémentaires incluant des ressources financières venant de ces programmes, la viabilité institutionnelle du COGES sera aussi renforcée.

(-) Les rôles des membres idéaux de la CCC n'ont pas été clairement identifiés du fait que c'est la phase pilote. Le modèle de la CCC sera évalué et approuvé avant sa généralisation.

Aspects Financiers

(+) La plupart des activités du PACOGES a été exécutée avec le budget du MENA, soit 74% des dépenses locales supportées par le MENA. De plus, le MENA a suffisamment contribué pour la généralisation au niveau national des COGES sur la base du plan original convenu dans le Procès-verbal par les deux parties japonaise et burkinabè. En d'autres termes, pour la généralisation de la CCC et le renforcement du système de suivi des COGES, il est suggéré de sécuriser un budget complémentaire à travers une revalorisation du statut du SCGDE.

(+) Chaque année, le MENA affecte un budget au niveau communal comme mentionné dans le Tableau 18, et on s'attend à ce que cette allocation au secteur de l'éducation continue. Présentement, l'allocation budgétaire directe au COGES vise à réduire le coût de la procédure d'approvisionnement.

Tableau 18: Allocation budgétaire à la communauté par le MENA (1,000 FCFA)

Désignation	2012	2013	2014	Total 2012-2014
Gestion de l'école	648.390	719.730	959.640	2.328.328
Fournitures scolaires	6.139.619	6.731.312	7.100.321	19.976.600
Construction de salles de classe	5.367.380	7.774.998	6.073.998	19.216.376
Réfection de salles de classe	450.000	450.009	478.524	1.378.533
Total	12.605.389	15.676.049	14.612.483	42.899.838

(-) Certains COGES ont rapporté des difficultés de mobilisation des contributions financières et physiques de la communauté pour la mise en œuvre des activités planifiées. La pauvreté dans les zones

rurales a aussi contribué au faible taux de collecte des contributions financières.

Aspect Technique

(+) Une majorité de formateurs nationaux ont assez de compétence pour conduire des formations en rapport avec la mise en place du COGES, et la plupart des participants expriment leur satisfaction pour ces formations.

(-) Le manque d'un mécanisme de formation pour les acteurs principaux nouvellement affectés et de formation continue pour les autres acteurs peut entraver la gestion durable des COGES. Tous les membres COGES ont demandé à être formés pour comprendre suffisamment les rôles et la philosophie du COGES.

2-5. Conclusion

Malgré la période courte du Projet et les troubles politiques au Burkina Faso, la plupart des activités a été exécutée comme prévu, et les indicateurs du Projet ont été atteints. Le fonctionnement du COGES a été renforcé au regard des résultats. Le Projet a aussi contribué positivement pour atteindre le but final qui vise à améliorer les taux d'inscription, d'achèvement et de réussite au CEP et à réduire le taux des abandons scolaire.

Etant donné que les besoins des groupes cibles et les politiques du Burkina Faso et du Japon sont restés constants par rapport au but du Projet jusqu'à l'évaluation à mi-parcours, la pertinence est jugée élevée. Puisque certains indicateurs du but du Projet par rapport aux résultats n'ont pas atteint le niveau cible, l'efficacité est considérée comme modérée. Les activités du Projet ont été exécutées comme prévu malgré la période courte du Projet et les changements politiques. La quantité, la qualité, et le timing des contributions sont aussi appropriés. Ainsi, l'efficacité du Projet est évaluée comme élevée. Quand bien même des études détaillées d'impact sont requises, certaines contributions des activités COGES sur le but global et but final ont été identifiées. Par conséquent, l'impact du Projet est évalué comme relativement élevé. Etant donné que les aspects politiques et financiers de la viabilité ont été identifiés comme élevés ; davantage de renforcement de capacités à travers des mécanismes de formations continues et de suivi est attendu durant la période restante. Ainsi, la viabilité est évaluée comme relativement élevée.

Sur la base de l'évaluation, des recommandations pour la période restante du Projet sont mentionnées dans le chapitre suivant.

R

A

3. RECOMMANDATIONS

(1) Mettre un accent sur le renforcement des capacités des acteurs ayant mis en place des COGES après la généralisation à l'échelle nationale (d'ici à la fin du projet)

Dans l'étude de l'évaluation à mi-parcours, une insuffisance de temps pour la généralisation des COGES en 2015 due au déblocage tardif des ressources prévues a été constatée. Cela a occasionné une baisse de la qualité de formation malgré les multiples efforts de l'équipe du PACOGES. Le renforcement continu des capacités des acteurs est d'une nécessité absolue afin d'assurer la mise en œuvre des activités de COGES, notamment la planification et le bilan annuel des activités. La mission recommande au MENA de valoriser les dispositifs existants, notamment la formation continue des enseignants et des encadreurs pédagogiques pour renforcer les acteurs de différents niveaux.

(2) Prendre des mesures en faveur des acteurs non formés (d'ici à la fin du projet)

Nous considérons l'importance d'un mécanisme de renforcement des capacités relatif à l'approche COGES destiné aux nouveaux enseignants, aux directeurs d'école et aux inspecteurs nouvellement affectés/nommés pour assurer la durabilité du fonctionnement des COGES. Dans ce sens, un dispositif de formation est attendu au niveau de la DFIPEB (l'ENEP/EPFEP, de l'ENS/UK), de la DGEB à travers la DDEPrim. La contribution du PACOGES est sollicitée pour la conception des modules et la mise à disposition des outils relatifs aux formations. La formation des enseignants sera dispensée par le canal des conférences pédagogiques organisées chaque année par la DDEPrim. Les directeurs des écoles non l'Instituteur Principal (IP) bénéficieront de la formation à travers les différents canaux organisés par la Direction du développement de l'enseignement primaire (DDEPrim) (formation spéciale et formation à distance). La formation des membres des COGES réélus après le mandat de trois ans sera assurée par la CCC. Nous suggérons au MENA d'examiner la pertinence et la faisabilité des recommandations proposées afin de les intégrer dans le programme.

(3) Déterminer une meilleure stratégie de mise en place des COGES dans les écoles privées et les écoles urbaines

L'équipe de l'évaluation a constaté que les écoles privées et les écoles urbaines connaissent quelques difficultés pour la mise en place et le fonctionnement des COGES. Par conséquent, la mission recommande de déterminer une meilleure stratégie de mise en place des COGES dans les écoles privées et les écoles urbaines et de revoir au besoin les groupes cibles du projet.

(4) Consolider le système de suivi des activités des COGES (d'ici à la fin du projet)

Pour assurer la pérennisation des activités des COGES, il est nécessaire de consolider davantage le dispositif actuel de suivi/accompagnement. Il s'agit, entre autres, de l'amélioration du/des :

- mécanisme de suivi par les encadreurs pédagogiques ;
- différentes fiches de suivi ;
- système de rapportage/récupération des fiches/rapports ;
- renforcement des capacités des personnels chargés de la saisie et de l'analyse des données.

Pour ce qui concerne le suivi collectif, la mission recommande au MENA d'institutionnaliser

l'organisation périodique des réunions régionales relatives aux activités des COGES. Durant la période restante, le projet apportera un appui technique au MENA pour la consolidation et la pérennisation des dispositifs.

(5) Stabiliser le modèle de Coordination Communale des COGES (d'ici à la fin du projet)

La mission a relevé des acquis et quelques points à améliorer. Au titre des acquis, la mission a constaté un engagement fort de la mairie pour le développement de l'éducation. Egalement, la communication a été renforcée entre la commune et les écoles. En termes de difficultés, l'indisponibilité quotidienne du maire en tant que président n'a pas permis une avancée significative de la CCC. Pour ce faire, la mission recommande au PACOGES de revoir et de stabiliser le modèle de CCC. Dans ce cadre, elle recommande au PACOGES d'organiser une rencontre provinciale et/ou régionale de partage d'expériences des CCC et d'implanter le modèle dans trois régions au cours de l'année 2016. Une évaluation sera faite à la fin de l'année avec les partenaires concernés notamment le MATDSI afin de valider un texte juridique conjoint relatif au modèle de CCC. L'équipe de l'évaluation invite le MENA à procéder à l'extension du modèle validé de CCC dans les autres régions jusqu'à la fin du projet.

(6) Améliorer davantage les conditions des apprentissages des élèves à travers les activités des COGES (d'ici à la fin du projet)

Dans le cadre de l'amélioration des rendements scolaires à long terme, il est important de cibler non seulement la classe de CM2 mais aussi les classes intermédiaires dans les interventions pédagogiques. En plus, la mission relève l'utilité de trouver une stratégie pour améliorer les résultats scolaires à travers une activité pilote dans une région en 2016.

(7) Réviser le cadre logique du projet (d'ici à juin 2016)

Pour cette évaluation à mi-parcours, la mission a révisé certains indicateurs d'évaluation pour les rendre plus mesurables. La mission demande d'adapter les activités du cadre logique selon les recommandations retenues. Ensuite, la modification du cadre logique sera présentée et validée au cours du comité de pilotage. De manière plus concrète, le SCGDE devra prioriser les activités prévues jusqu'au moment de la révision du cadre logique en tenant compte de la période restante du projet. Après la fin du projet, le MENA continuera à mettre en œuvre de ces activités.

(8) Eriger le SCGDE en direction technique (d'ici jusqu'à la fin du projet)

Le SCGDE joue un rôle très important dans le processus de stabilisation des acquis et de pérennisation du bon fonctionnement des COGES et des CCC. Il a été observé que le personnel du SCGDE est motivé, compétant et engagé. Cependant, le champ d'interventions du SCGDE est en phase d'élargissement avec l'intégration de l'éducation de base à partir du préscolaire, du secondaire et de la formation technique et professionnelle. En outre, des innovations relatives à la mise en place des cantines scolaires, du suivi des infrastructures, de la mise à disposition de la subvention, etc. sont en cours. Pour ce faire, il serait souhaitable que le SCGDE soit érigé en direction technique. La mission recommande au MENA de veiller à ce que les différentes interventions autour des COGES soient faites par cette direction.

R

ANNEXES

ANNEXE 1. Contributions du Projet

1-1. Liste des Experts de la JICA

1-2. Liste des Matériels et Equipements fournis par la JICA

1-3. Liste des Contreparties

1-4. Liste des Participants aux formations au Japon et dans d'autres pays

1-5. Liste des Terres, Bâtiments et Infrastructures

1-6. Dépenses du Budget

ANNEXE 2. Le Cadre Logique du Projet

ANNEXE 3. Plan d'Opération et l'état d'avancement des Activités

ANNEXE 1 Contributions du Projet

1-1. Liste des Experts de la JICA (Décembre 2015)

No	Nom et Prénom	Titre	de	à
1	HARA Masahiro	Chef conseiller	Août. 2014	Août. 2014
2	HARA Masahiro	Chef conseiller	Oct. 2014	Oct. 2014
3	SUGIMOTO Kikue	Gestion du projet/Gestion d'école	Juin. 2014	Mai. 2015
4	SUGIMOTO Kikue	Chef conseillère/ Gestion d'école	Mai. 2015	Avr. 2017
5	OTA Emi	Coordinatrice du projet/Planification des formations	Juin. 2014	Juin. 2016
6	YAMASHIRO Yoshinori	Appui technique pour la fabrication des supports audiovisuel	Déc. 2014	Jan. 2015
7	KINOSHITA Akiko	Gestion du projet/Suivi des COGES	Juin. 2015	Avr. 2017

1-2. Liste des Machines et Equipements fournis par la JICA (Décembre 2015)

No	Matériels et Equipement	(Modèle/Numéro de série)	Quantité	Prix Unitaire	Sous-total	Date	Lieu	Condition
				(FCFA)	(FCFA)			
1	Véhicule	TOYOTA Prado	2	21.000.000	42.000.000	2014/9/18	Bureau PACOGES	bonne
2	Photocopieuse	Canon iRADVANCE 6255i	1	7.400.000	7.400.000	2015/1/9	Bureau PACOGES	bonne
3	Ordinateur	TOSHIBA SATELLITE L50-B-11G	1	460,200	460.200	2015/6/25	Bureau PACOGES	bonne
Total					49.860.200			

1-3. Liste des Contreparties

(1) Equipe du Projet (Contrepartie Nationale)

No	Nom et Prénom	Position	Période	
			de	à
1	KONFE/TASSENBEDO Fatimata	Coordonnatrice Nationale	Mai. 2014	Déc. 2015
2	KIEMDE Joël	Personnel du projet (DICI)	Mai. 2014	Déc. 2015
3	KOMBOIGO Pascal	Personnel du projet (DFRC)	Mai. 2014	Déc. 2015
4	YONLI Yacouba	Auditeur des services financiers	Mai. 2014	Juin. 2014
5	BELEMKOABGA Luis	Auditeur des services financiers	Juin. 2014	Déc. 2015
6	KOUAMA Germain	Personnel du projet (DSEC)	Mai. 2014	Nov. 2015
7	KINDA Adama	Personnel du projet (DFRC)	Juil. 2014	Déc. 2015
8	COMPAORE Zatarra	Personnel du projet (DFRC)	Juil. 2014	Déc. 2015
9	DIABOUGA Yabré Joseph	Personnel du projet (DSEC)	Juil. 2014	Déc. 2015
10	CONGO Adama	Personnel du projet (DICI)	Juil. 2014	Déc. 2015
11	TRAORE Issoufou	Personnel du projet (DFRC)	Mars. 2015	Déc. 2015

DFRC: Division de la Formation et du Renforcement des Capacités des COGES et CCC

DSEC: Division du Suivi et de l'Évaluation des COGES et CCC

DICI: Division des Innovations et de la Coordination des Interventions

(2) Points focaux des Directions Régionales de l'Éducation Nationale et de l'Alphabétisation

No	Nom et Prénom	Région
1	YARO Bassima	BOUCLE DU MOUHOUN
2	ZONGO Ahamadou	CASCADES
3	TOURE Idrissa	CENTRE
4	SAMANDOULGOU Moumouni	CENTRE-EST
5	SAWADOGO Yaguédéba	CENTRE-NORD
6	ZONGO Martine	CENTRE-OUEST
7	DIBLONI Olio	CENTRE-SUD
8	THIOMBIANO P. Joséphine	EST
9	SANE Souleymane	HAUTS-BASSINS
10	SOW Dramane	NORD
11	OUEDRAOGO Jean Claude	PLATEAU-CENTRAL
12	CISSE Moussa	SAHEL
13	SOUMDA Sanoua	SUD-OUEST

1-4. Liste des Participants aux Formations au Japon et dans d'autres pays

No	Nom et Prénom	Position	Titre de la formation/séminaire	Période
1	COMPAORE Dakissaga Zarata	Formatrice Nationale/ Agent SCGDE/DGEB	Education, Finance et Administration:	03 Nov. 2014 - 13 Déc. 2014
2	COMPAORE Yabiri Aminata	Formatrice Nationale/DPENA du Kadiogo	Accent mis sur la qualité de l'Éducation de base, l'Efficience interne et l'Équité(B)	
3	TRAORE Issoufou	Formateur National/ Agent SCGDE/DGEB	Education, Finance et Administration: Accent mis sur la qualité de l'Éducation de base, l'Efficience interne et l'Équité(B)	01 Nov. 2015 - 12 Déc. 2015
4	KABORE Sibiri	Formateur National/ Chef de la CEB Yargatenga		
5	TRAORE/Ouattara Chantal	Point Focal du PACOGES /Agent de la Direction de la Formulation des Politiques/ DGESS		
6	SEGUEDA Benewende Bonaventure	Directeur de la Direction des Statistiques Sectorielles /DGESS		
7	BAMOUNI Innocent	Chef service de la santé-hygiène et nutrition / DAMSSE		

No	Nom et Prénom	Position	Titre de la formation/séminaire	Période
1	KORBEOGOSibiri	DirecteurGénéral de l'Éducation de Base	Séminaire Régional de partage d'expériences sur la Gestion basée sur l'École en 2015 au Niger	10 Mars. -13 Mars. 2015
2	KONFE/TASSEMBEDO Fatimata	Service de la Coordination de la GestionDécentralisée des Ecoles/Coordinatrice Nationale du PACOGES		
3	KOMBOIGO Pascal	Service de la Coordination de la GestionDécentralisée des Ecoles/PACOGES		

2

07

4	Diabouga Joseph Yabré	Service de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles/PACOGES		
5	CONGO Adama	Service de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles/PACOGES		
6	SANON Ibrahima	Directeur Général de l'Institut de la Réforme de l'Education et de la Formation		
7	OUEDRAOGO Henri	Directeur de l'Allocation des Moyens Spécifiques aux Structures Educatives		
8	OUEDRAOGO/ OUEDRAOGO Andréa	Directrice du Développement de l'Enseignement Primaire Public		
9	BAZONGO Bagnikoué	Directeur de la Prospective et de la Programmation Opérationnelle		
10	ZONGO Charles	Conseiller Pédagogique Itinérant de Boulsa		
11	OUEDRAOGO Ousmane	Point Focal du Ministère de l'Administration Territoriale, de la Décentralisation et de la Sécurité		
12	SAWADOGO Abdoul Aziz	Secrétaire Général / Mairie de Koubri		
13	BELEMKOABGA Louis	Gestionnaire/PACOGES		

1-5. Liste des Terres, Bâtiments et Infrastructures

No.	Bâtiment/Infrastructures	Lieu
1	Bureau du Projet	Bâtiment du projet construit par le MENA

1-6. Dépenses du Budget de la JICA

(1) Dépenses du Budget pour le Coût opérationnel local par an (FCFA)

	2014	2015	Total	Proportion
Gouvernement du Burkina Faso	472.443.897	745.220.670	1.217.664.567	74%
JICA	126.067.295	310.462.595	436.529.890	26%
Total	598.513.206	1.055.685.280	1.654.194.457	100%

(2) Dépenses du Budget pour le Coût opérationnel local par Article (FCFA)

	Personnel	Opération	Equipement	Activité	Total
Gouvernement of Burkina Faso	4.400.000	10.000.000	4.650.000	1.198.614.567	1.217.664.567
JICA	20.417.521	66.569.258	49.860.200	299.682.911	436.529.890
Total	23.057.521	71.569.258	52.060.200	1.180.317.911	1.327.004.890

12

ANNEXE 2. Cadre Logique du Projet (PDM)

Titre du Projet: Projet d'Appui aux Comités de Gestion d'École Phase II (PACOGES II) Zone ciblée: Toutes les 13 régions Groupe cible: Communautés, Membres de COGES, Communes/Arrondissement, CEB, DPENA, DRENA, DGEB		Date: XX Février 2014 Ver.1	
RESUME NARRATIF FINALITE		DURÉE : Mai 2014- Avril 2017 (3 ans)	
INDICATEURS OBJECTIVEMENT VERIFIABLES		CONDITIONS CRITIQUES	
L'accès de l'éducation et la qualité des apprentissages au niveau de l'école primaire sont améliorés.	<ul style="list-style-type: none"> Taux de scolarisation Taux d'abandon Taux de réussite Taux d'achèvement 	<ul style="list-style-type: none"> Données statistiques de MENA 	—
La gestion participative de l'école primaire est améliorée sur l'ensemble du territoire national.	<ul style="list-style-type: none"> Effectif des élèves (garçons et filles) dans chaque école Nombre total de classes consultées par les COGES Nombre total d'heures de cours supplémentaires Nombre total d'heures d'études de nuit 	<ul style="list-style-type: none"> Rapport d'activités du Projet Rapport de l'étude de base Rapport de l'étude de fin du Projet 	<ul style="list-style-type: none"> La fréquence des grèves des enseignants n'est pas maîtrisée.
Les COGES dans les écoles primaires sur l'ensemble du territoire national sont fonctionnels.	<ul style="list-style-type: none"> XX % de COGES exécutent les activités programmées dans le plan d'actions. XX % de COGES sont mis en place démocratiquement à travers le vote à bulletin secret. XX % de COGES ont élaboré un plan d'action et un bilan annuel. XX % de plans d'action et bilan de COGES ont été révisés par les services concernés. Participation communautaire à la gestion participative de l'école est augmentée en terme personnel et financier. 	<ul style="list-style-type: none"> Rapport du Projet 	<ul style="list-style-type: none"> 1. Le nombre de la population scolarisable de l'enseignement primaire n'est pas manifesté à cause de l'augmentation rapide de la population. 2. Les économies de ménages ne se détériorent pas.
RESULTATS			
1. Les COGES sont mis en place sur l'ensemble du territoire national et les capacités des acteurs concernés sont renforcées.	<ul style="list-style-type: none"> 1.1 XX % de COGES sont mis en place démocratiquement à travers le vote à bulletin secret. 1.2 XX % de COGES ont élaboré un plan d'action et un bilan annuel. 1.3 XX % de plans d'action et bilan de COGES ont été révisés par les services concernés. 	<ul style="list-style-type: none"> 1.1 Rapport 1.2 plan d'action 1.3 Bilan annuel 	<ul style="list-style-type: none"> 1. Les fonds du MENA pour la réalisation des COGES sont régulièrement versés. 2. La politique de gestion de l'école en mode décentralisé est maintenue. 3. Les membres des COGES qui ont été formés n'ont pas quitté leurs postes avant la date d'expiration de la durée de leurs mandats. 4. La situation de la sécurité ne se détériore pas.
2. Le système durable de suivi-accompagnement des COGES est renforcé.	<ul style="list-style-type: none"> 2.1 Le rapport est élaboré. 2.2 Au moins XX par an, le suivi du MENA s'est tenu dans la zone de projet pilote. 2.3 Au moins XX par an, AG de CCC se sont tenues dans la zone de projet pilote. 2.4 Au moins XX fois par an, la réunion provinciale/régionale de suivi des COGES se sont tenues. 2.5 Une atelier sur la capitalisation et la validation du modèle de la CCC a été organisé. 2.6 Validation du modèle du suivi du MENA-Communes/Arrondissement avec le modèle de la CCC. 	<ul style="list-style-type: none"> 2.1. Rapport d'étude 2.2. Rapport de suivi 2.3. Rapport de suivi et PV de CCC 2.4. Rapport des foras régionaux des CCC 2.5. Document de la validation 2.6. Liste des participants 	
3. Les activités des COGES qui visent l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion communautaire sont confirmées et partagées sur l'ensemble du territoire national.	<ul style="list-style-type: none"> 3.1 Capitalisation des bonnes pratiques relatives au thème et à la localité. 3.2 Présentation des bonnes pratiques par le media et le forum. 	<ul style="list-style-type: none"> 3.1. Rapport 3.2. Recueil de capitalisation 3.4. Liste des participants 3.5. Liste des participants 3.6. Liste des participants 	
4. Le système de la gestion des ressources des COGES est consolidé et leurs capacités sont renforcées.	<ul style="list-style-type: none"> 4.1 Capitalisation des bonnes pratiques relatives au thème et à la localité. 4.2 Présentation des bonnes pratiques par le media et le forum. 	<ul style="list-style-type: none"> 4.1. Rapport 4.2. Liste des participants 4.3. Rapport 4.4. Liste des participants 	

2

ACTIVITES	JAPON	BURKINA FASO	CONDITIONS CRITIQUES
<p>1.1 Elaborer un plan opérationnel pour la généralisation des COGES. 1.2 Reproduire le guide et traduire les supports auto-visuel 1.3 Organiser une formation préparatoire des Formateurs Nationaux sur la généralisation des COGES 1.4 Organiser un atelier national d'informations et d'échanges sur la généralisation des COGES. 1.5 Organiser une série de sensibilisations sur la promotion des COGES par émissions radiodiffusées et télévisées. 1.6 Organiser des sessions de formation régionale au profit des premiers responsables (DRENA, DPENA, Gouverneurs, Hauts Commissaires, Maîtres) sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES. 1.7 Organiser des sessions de formations provinciales pour les points focaux des DRENA, DPENA, CEB, et des chargés de l'éducation de Commune/Arondissement sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES. 1.8 Organiser des sessions de formation des directeurs d'écoles sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES. 1.9 Organiser des sessions de formation des COGES sur la planification et la gestion participative des écoles. 1.10 Organiser le suivi-évaluation relatif aux différentes formations. 1.11 Organiser des sessions d'ateliers de partage d'expériences. 1.12 Evaluer et réviser le plan opérationnel pour la généralisation des COGES à mi-parcours de la généralisation. 2.1 Etudier et faire des recommandations sur le rôle de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles à l'orientation et la gestion des services décentralisées et déconcentrés du secteur de l'éducation de base. 2.2 Evaluer et faire des recommandations sur l'état des lieux du système du suivi du MENA et des CCC dans la zone de la Phase I. 2.3 Mener un Projet Pilote au niveau de la zone de la Phase I pour expérimentier le système du suivi du MENA-Commune/Arondissement avec le modèle de la CCC. 2.4 Organiser des fora régionaux des CCC (scolarisation des filles etc.). 2.5 Valider le modèle du suivi du MENA-Commune/Arondissement avec le modèle de la CCC. 2.6 Partager des expériences sur le modèle du suivi du MENA-Commune/Arondissement avec le modèle de la CCC.</p>	<p><Experts Japonais> (1) Chef Conseiller (expert à court terme basé au Japon) (2) Chef conseiller adjoint/Gestion des formations (expert à long terme) (3) Développement des capacités des COGES/ Gestion du Projet (expert à long terme) (4) Gestion du Projet (expert à long terme) -Experts à court terme (selon la nécessité) <Coûts d'activité du Projet> 1. Frais pour l'organisation des ateliers et séminaires 2. Frais des études de base et fin du Projet 3. Frais pour les activités du Projet Pilote <Fourniture d'équipement> 1. Véhicule(s) 2. Selon la nécessité</p>	<p><Homologue> 1. MENA ● Secrétaire Générale ● DGEB ● Service chargé de la promotion des COGES/DGEB 2. Le (la) DRENA, DPENA 3. Points Focaux de DRENA, DPENA et CEB 4. Les directeurs < Les frais relatifs aux formations dans le cadre de la généralisation des COGES > < Les frais relatifs du suivi (le carburant) pour la première année des COGES > < Les années suivantes ce suivi sera intégré dans les activités traditionnelles des acteurs > < Les frais relatifs aux dépenses courantes > < Lieux du projet et les coûts afférents ></p>	<p>1. Les fonds du MENA pour la généralisation des COGES sont régulièrement versés. 2. La politique de gestion de l'école en mode décentralisé est maintenue. 3. Administrateurs qui ont été formés ne sont pas mués. 4. Les membres des COGES qui ont été formés n'ont pas quitté leurs postes avant la date d'expiration de la durée de leurs mandats.</p>
<p>3.1 Organiser une étude sur l'état des lieux des activités des COGES qui visent l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion communautaire au niveau des pays voisins et au Burkina Faso. 3.2 Organiser la session des rencontres de partage d'expériences et d'informations avec les acteurs concernés qui travaillent dans les activités de l'amélioration de la qualité des apprentissages. 3.3 Organiser des ateliers pour la révision du modèle de COGES qui vise l'amélioration de la qualité des apprentissages. 3.4 Réviser le guide et les modules de formation élaborés en Phase I qui vise à l'amélioration de la qualité des apprentissages. 3.5 Organiser un forum national sur les COGES (amélioration de la qualité des apprentissages etc.) dans la zone de la Phase I. 4.1 Réaliser une étude sur la gestion des ressources des COGES (cantine scolaire, infrastructure etc.) aux niveaux des pays voisins et au Burkina Faso. 4.2 Organiser des sessions de partages d'information et d'expériences sur la gestion des ressources des COGES au niveau Burkina Faso et formuler des recommandations. 4.3 Organiser des séminaires pour partager des expériences des COGES au niveau de l'Afrique de l'ouest. 4.4 Organiser des formations de renforcement des capacités des COGES sur la gestion des ressources.</p>			<p>CONDITIONS PREALABLES 1. La politique de gestion décentralisée de l'école est maintenue. 2. Les frais relatifs à la généralisation des COGES sont alloués.</p>



12

Résultat 3. Les activités des COGES qui visent l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion communautaire sont confirmées et partagées sur l'ensemble du territoire national.	
3-1	Organiser une étude et une évaluation sur l'état des lieux des activités des COGES qui visent l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion
	Programmé
	Réalisé
3-2	Organiser la session des rencontres de partage d'expériences et d'informations avec les acteurs concernés qui travaillent dans les activités de l'amélioration de la qualité des apprentissages
	Programmé
	Réalisé
3-3	Organiser des ateliers pour la révision du modèle de COGES qui vise l'amélioration de la qualité des apprentissages
	Programmé
	Réalisé
3-4	Réviser le guide et les modules de formation élaborés en Phase I qui visent à l'amélioration de la qualité des apprentissages.
	Programmé
	Réalisé
3-5	Organiser un forum national sur les COGES (amélioration de la qualité des apprentissages etc.) dans la zone de la Phase I
	Programmé
	Réalisé
Résultat 4. Le système de la gestion des ressources des COGES est consolidé et leurs capacités sont renforcées.	
4-1	Réaliser une étude et l'évaluation sur la gestion des ressources des COGES (camino scolaire, infrastructure etc.) aux niveaux des pays voisins et au Burkina Faso.
	Programmé
	Réalisé
4-2	Organiser des sessions de partage d'information et d'expériences sur la gestion des ressources des COGES au niveau Burkina Faso et formuler des recommandations.
	Programmé
	Réalisé
4-3	Organiser des séminaires pour partager des expériences des COGES au niveau de l'Afrique de l'ouest.
	Programmé
	Réalisé
4-4	Organiser des formations de renforcement des capacités des COGES sur la gestion des ressources.
	Programmé
	Réalisé
4-5	Comité de pilotage
	Programmé
	Réalisé
4-6	Évaluation
	Programmé
	Réalisé

2. 評価グリッド

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ	情報源	データ収集方法	
	大項目	小項目					
実績の検証	上位目標の達成度(見込み)	全国の小学校において参加型学校運営が改善される。	プロジェクト上位目標が達成される見込みは高いか。	【PDM指標】 (1) 各学校の就学者数(男女別) (2) 学校教育委員会(COGES)により設置された仮設教室数 (3) 補修授業時間数 (4) 夜間学習(家庭でのグループ学習を含む)時間数	・指標に係る時系列のデータ ・指標の向上に際してのプロジェクトの寄与度	・MENA教育統計 ・プロジェクト報告書 ・MENA報告書	・文献調査 ・データ提出依頼 ・インタビュー
			上位目標に追加される指標があるか。新たな指標の妥当性・入手可能性は高いか。	(1) 教育へのアクセスの改善 地位格差、性格差 (2) 生徒の学習時間の増加 ・授業時間数			
プロジェクト目標達成度	全国の小学校において学校運営委員会(COGES)が機能する。	プロジェクト目標が達成される見込みは高いか。 プロジェクト目標の数値目標は妥当か。	【PDM指標】 (1) 学校活動計画の活動を実施したCOGESの割合(90%) (2) 民主的な選挙により設立されたCOGESの割合(80%) (3) 学校活動計画を策定し、年間総括表を策定したCOGESの割合(x%) (4) 学校活動計画と、年間活動総括表の、回収率(80%) (5) 参加型学校運営管理への、住民の参加度・財政的貢献度(60%)	・指標に係るデータ ・回収中のデータの確認(COGES設置率、年次総括表回収率、予算動員状況) ・指標(1)、(2)、(3)の成果指標との重複の整理	・プロジェクト報告書 ・MENA報告書 ・インタビュー結果		
		プロジェクト目標に追加される指標があるか。新たな指標の妥当性・入手可能性は高いか。	(1) COGES活動実績の年次推移 (2) 学校活動計画の活動実施状況(COGES当たりの活動数、3活動以上) (3) COGES事務局会合並びに総会頻度(会計報告2回、総会2回、事務局会合4回)	・指標に係るデータ ・回収中のデータの確認(活動実施状況、事務局会合、総会頻度)	・プロジェクト報告書 ・MENA報告書 ・インタビュー結果		
成果の達成度	【成果1】COGESが全国で設置され、関係者の能力が強化される。	COGESが民主的な選挙により設立され、それらの学校で適切な学校活動計画、年間総括表が策定されたか。	【PDM指標】 (1) 民主的な選挙で選出・設定されたCOGESの割合(80%) (2) 学校活動計画を策定し、年間総括表を策定した、COGESの割合(80%) (3) 年間総括表の回収率(80%)	・プロジェクト目標との指標の重複の整理 ・民主的な選挙の実施プロセスの確認	・プロジェクト報告書 ・MENA報告書 ・インタビュー結果		
		成果達成の貢献要因・阻害要因	人事異動、新任者への継続的、定期的な研修実施、COGESメンバーの再選の仕組みの有無	・関係者の意見	・インタビュー結果	・インタビュー	
	【成果2】COGESの持続的なモニタリング支援システムが強化される。	中央、州、県、コミュニティ/CEBLレベルのモニタリングが適切に実施されているか。CCCによるモニタリングモデルの確立の可能性は高いか。	【PDM指標】 (1) 地方分権化・分散化組織の学校運営管理担当部局・役割に係る、調査プロジェクト報告書 (2) 年当たりの、プロジェクトサイトでの、MENAによるCOGES当たりの年間モニタリング回数(2回以上) (3) 対象サイトにおける年当たりコミュニティレベルCOGES連絡協議会の年間総会開催数(2回以上) (4) 州レベル・県レベルでの、年当たりCOGES・少なくとも1回はCOGESモニタリングに係る会合が開催される回数 (5) コミュニティレベルCOGES連絡協議会のモデル評価と結果集積に係るワークショップ開催実績 (6) MENAによる、コミュニティレベルCOGES連絡協議会を通じたCOGESモニタリングモデルに係る、検証・評価実績	・CEB教育行政官によるCOGESモニタリングの頻度、プロジェクトによる調査計画 ・2015年のCCC総会開催状況 ・州・県FPの役割、年次総括会合の必要性 ・CCCモデル評価、モデル緻密化、WS実施の計画	・プロジェクト報告書 ・MENA報告書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・データ提出依頼 ・インタビュー	
		成果2に追加される指標があるか。新たな指標の妥当性・入手可能性は高いか。	(1) 全国レベルのCOGESモニタリングシステムの整備 (2) コミュニティレベルCOGES連絡協議会の機能状況	・SCGDE設置(2015年7月)の効果、TOR明確化、局への昇格、予算確保の可能性 ・SCGDEの能力強化の必要性 ・CCCモデルの情報共有計画、3州における普及計画			
		成果達成の貢献要因・阻害要因	行政官による学校巡回、CCCによるモニタリング会合、CCCモデル化への課題の有無	・関係者の意見	・インタビュー結果	・インタビュー	
	【成果3】コミュニティ参画を通じたCOGESによる学習成果向上活動の有効性が実証され、全国で共有される。	COGESによるグッドプラクティスが集積され、メディア等により共有されたか。	【PDM指標】 (1) 学校運営課題別・地域別グッドプラクティスの情報集積状況 (2) メディアとフォーラムにおけるグッドプラクティスの共有実績	・グッドプラクティスの情報集積、共有状況 ・指標の内容の明確化	・プロジェクト報告書 ・MENA報告書 ・MENA/DGESSグッドプラクティス集 ・インタビュー結果	・文献調査 ・データ提出依頼 ・インタビュー	
		成果3に追加される指標があるか。新たな指標の妥当性・入手可能性は高いか。	(1) COGESによる教育の質改善に係る活動実績 (2) COGES活動における教育の質に直接効果をもたらす取り組みの割合(75%以上)	・指標に係るデータ ・上位目標との重複の整理			
		成果達成の貢献要因・阻害要因	GPの可視化、CCCを通じた共有の可能性、キャンペーン形式によるGPの集積の可能性	・関係者の意見	・インタビュー結果	・インタビュー	
	【成果4】COGESのリソース運営管理システムが強化され、COGESの能力が強化される。	COGESのリソース運営管理に係るグッドプラクティスが集積され、共有されたか。	【PDM指標】 (1) 学校運営課題別・地域別グッドプラクティスの情報集積状況 (2) メディアとフォーラムにおけるグッドプラクティスの共有実績	・グッドプラクティスの情報集積、共有状況 ・指標の内容の明確化	・プロジェクト報告書 ・MENA報告書 ・MENA/DGESSグッドプラクティス集 ・インタビュー結果	・文献調査 ・データ提出依頼 ・インタビュー	
		成果4に追加される指標があるか。新たな指標の妥当性・入手可能性は高いか。	(1) COGESによるリソース管理の取り組みに関する調査・提言 (2) COGESによるリソース管理の取り組みに関する試行の実績 (3) COGESによるリソース管理の取り組みに必要な教材が作成される (4) COGESによるリソース管理の取り組みに必要な人材が育成される	・指標に係るデータ ・リソース管理マニュアル類作成状況、財務管理研修実施状況			
		成果達成の貢献要因・阻害要因	COGESが管理するリソースの配布状況、関係者間の情報交換の可能性	・関係者の意見	・インタビュー結果	・インタビュー	

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目				
実績の検証	投入の実績	日本側 <専門家> ① チーフアドバイザー(短期専門家) ② 副チーフアドバイザー/研修計画(長期専門家) ③ COGES能力強化(長期専門家) ④ 業務調整(長期専門家) ・必要に応じて短期専門家数名 <在外事業強化費> 1. ワークショップ・セミナー等実施費用 2. ベースライン調査・エンドライン調査実施費用 3. パイロット活動費 <供与機材費> ・車両、コピー機	投入量、投入の質及び時期は計画どおりか。計画と齟齬がある場合の(阻害)要因は何か。	時期、投入量、投入の質	・プロジェクト報告書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・データ提出依頼 ・インタビュー
		ブルキナファソ側 <カウンターパート> ・MENA 基礎教育局長、COGES調整部長、COGES調整部職員、州・県フォーカルポイント、州フォーカルポイント、CEB長及びCEB職員、予算担当者、校長 <プロジェクト実施費用> ・COGES全国展開予算、 ・COGES設置1年次のCOGESモニタリング(ガソリン)費用 ・2年目以降については、既存の定例会議においてもモニタリング実施。 <プロジェクト執務室及び資料と光熱水費、通信費、雑費>	投入量、投入の質及び時期は計画どおりか。計画と齟齬がある場合の(阻害)要因は何か。	時期、投入量、投入の質		
前提条件	1. 学校運営に関する政策が継続される 2. 全国展開のための予算が国民教育・識学省から執行される	学校運営に係る政策実施状況 全国展開に係る予算確保の状況	・学校運営に係る政策の有無 ・普及予算計画	・プロジェクト報告書 ・政策、予算計画 ・インタビュー結果	・文献調査 ・データ提出依頼 ・インタビュー	
計画の進捗状況	【成果1】 1.1 COGES全国普及実施計画の作成 1.2 マニュアル複製とビデオ教材の現地語吹き替え 1.3 全国普及開始に係るナショナルトレーナー対象準備研修 1.4 全国普及開始に係る情報共有セミナーの開催 1.5 COGES推進のためのマスメディアを通じた啓発活動の実施 1.6 州の関係者(DREBA、DPEBA、州知事、県知事、コミュニオン長)を対象としたCOGES設立に関する情報共有セミナーの実施 1.7 州・県レベルのFP、視学官、コミュニオン教育担当者を対象とした民主的なCOGES設立に関する研修の実施 1.8 校長を対象としたCOGES設立・参加型学校運営管理に関する研修の実施 1.9 COGESメンバーを対象とした活動計画作成・参加型学校運営管理に関する研修の実施 1.10 各種研修のモニタリング実施 1.11 情報共有セミナー開催 1.12 全国展開中期段階で活動計画の評価と見直し 【成果2】 2.1 基礎教育セクターにおける地方分散化組織、地方分権化組織の運営管理におけるCOGES担当部局の役割の調査、提言 2.2 フェーズ1対象地におけるMENAによるモニタリングシステム及びCCCの現状評価、提言 2.3 パイロット地域における行政コミュニオンとMENAの協働によるモニタリング(定例会議も含む)及びCCCモデルの実証 2.4 州レベルCCCフォーラムの開催(女子就学等) 2.5 対象パイロット地域におけるコミュニオンとMENAの協働行政によるモニタリング(定例会議も含む)及びCCCモデルの承認 2.6 対象パイロット地域におけるコミュニオンとMENAの協働行政によるモニタリング(定例会議も含む)及びCCCモデルの共有 【成果3】 3.1 近隣地域及びブルキナファソにおけるCOGES活動を通じた(コミュニティ参加による)学習成果の向上のための活動に関する調査の実施と評価 3.2 学校レベルで教育の質改善の取り組みを行う他の関係者との情報共有と意見交換会の開催 3.3 学習成果向上を目的としたCOGESモデル改善のためのワークショップの開催 3.4 フェーズ1で作成したガイド並びに活動要約集(Aide-memoire)の改訂 3.5 フェーズ1対象地域におけるCOGES全国フォーラム(コミュニティ参加を通じた学習成果向上の取り組みなど)の開催 【成果4】 4.1 近隣地域及びブルキナファソにおける、COGESを通じた資源管理(補助金運営管理や給食実施、その他の取り組み)に関する調査の実施と評価 4.2 ブルキナファソ国内において学校における資源管理(補助金運営管理や給食実施、その他の取り組み)を実施する関係者との意見交換と提言 4.3 近隣地域との情報交換セミナー開催 4.4 資源管理の実施に係るCOGES研修の実施 政変等の影響により中止もしくは変更された活動はあるか。今後実施が計画されている活動(主に成果3、4にかかわる活動)の実施計画はどのようなものか。	達成度、達成時期などの確認及び計画との比較	達成度、達成時期	・プロジェクト報告書 ・政策、予算計画 ・インタビュー結果 ・MENA報告書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・データ提出依頼 ・インタビュー	
実施プロセスの検証	実施体制・プロジェクト運営	プロジェクトスタッフの人数、役割分担は適当か。 プロジェクト関係者間の情報共有、関係は良好か	・専門家・現地スタッフの人数、役割、業務負担 ・担当分野の自己評価と課題 ・情報共有の方法、頻度、内容	関係者の意見	・プロジェクト報告書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・データ提出依頼 ・インタビュー
		プロジェクトチーム内(専門家、C/P)の相互コミュニケーションは十分か。意思決定プロセスは適当か。 プロジェクトチーム内の情報共有は十分か。信頼関係が醸成されているか。 合同調整委員会(JCC)は機能しているか。	・情報共有の方法、頻度、内容	関係者の意見	・インタビュー結果	・インタビュー
	C/Pのオーナーシップ	C/Pは主体的にプロジェクト活動を実施しているか。 CEB、CCC、COGES、住民は主体的に活動を実施しているか。	・JCCの開催頻度、委員出席率、内容 ・C/Pの意識、活動への参加状況、離職状況、その対処方法 ・CEB、CCC、COGES、住民の意識	関係者の意見	・JCC議事録 ・JCC参加者の意見 ・プロジェクト報告書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・インタビュー
	他ドナーとの連携	他ドナーとの連携は効果的に行われたか。重複はないか	FAO、AFD、UNICEF、NGO等との連携は適切に実施されているか。必要な情報共有は行われているか。	・情報共有の対象ドナー、方法、頻度、内容	・連携による活動の実績 ・会合の頻度 ・関係者の意見	・プロジェクト報告書 ・インタビュー結果 ・文献調査 ・インタビュー
	他のスキームとの連携	ブルキナファソにおける教育分野の他の技術協力プロジェクト、スキーム情報提供や活動における連携はあるか。連携による活動は有効だったか。	・連携による活動の実施状況、連携の阻害要因	関係者の意見	・連携による活動の実績 ・関係者の意見	
	阻害要因及び貢献要因	活動進捗、成果達成、目標達成に阻害要因はあるか	外部条件である「治安が、活動を妨げるほどに、悪化しない」「学校教職員の労働争議(スト)が、子どもの通学・学習や学校運営を妨げるほどに、頻発しない」のプロジェクトへの影響 外部条件である「国民教育・識学省によるCOGES全域設置・普及予算」の執行状況 その他の阻害要因はあるか	政変により中止・延期された活動の有無、校長研修におけるストライキの影響、対処方法	関係者の意見	・プロジェクト報告書 ・インタビュー結果 ・文献調査 ・インタビュー

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ	情報源	データ収集方法		
	大項目	小項目						
妥当性	必要性	活動進捗、成果達成、目標達成に貢献する要因はあるか	促進要因はあるか。		・関係者の意見			
		プロジェクト目標とブルキナファソ側(ターゲットグループ)のニーズは一致しているか。	COGESの活動は住民・児童のニーズと合致しているか。		・住民、児童の満足度 ・関係者の意見 ・住民・児童のCOGES活動への参加度 ・COGESへの動員額	・プロジェクト報告書 ・MENA報告書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・インタビュー	
	優先度	上位目標とブルキナファソ国家開発計画との整合性はあるか。	「基礎教育開発戦略プログラム(PDSEB)(2012~2021年)」に変更はないか。 2013年に承認された2015年までの全国普及をめざした「COGES全国普及戦略書」における方針に変更はないか。	・PDSBEにおけるCOGES支援の位置づけ COGESの普及戦略の実施状況		・PDSEB ・COGES全国普及戦略書 ・プロジェクト報告書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・インタビュー	
		プロジェクトと日本の援助政策、JICA国別事業実施計画との整合性はあるか。	日本の対ブルキナファソ援助重点課題、JICA国別事業実施計画に変更はないか。 2013年6月に開催されたTICADの横浜行動計画への寄与はどのようなものか。		日本の教育協力、対ブルキナファソの二国間協力に関係する政策文書	・「ODA大綱」/「ODA中期政策」等援助政策文書 ・JICA国別事業実施計画	・文献調査	
	手段としての妥当性	プロジェクトのアプローチは適切だったか。	CCCパイロット州の選定はモデル作成のための対象地域として適切か。 CCCによるモニタリングはCOGESの機能化への戦略として適切か。	パイロット州における教育開発ニーズ、モデルとしての妥当性 CCCによるモニタリング実施状況	・活動実績 ・関係者の意見	・プロジェクト報告書 ・関連文書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・インタビュー	
		日本の協力としての優位性はあるか。	日本に対象技術のノウハウが蓄積されているか、日本の経験が生かせるか。	フェーズ1、他国のみんなの学校群の経験の活用状況	・類似案件の実績・評価 ・活動実績、みんなの学校群地域経験共有セミナー結果	・プロジェクト報告書 ・関連文書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・インタビュー	
	その他	プロジェクト開始以降のプロジェクトを取りまく環境(政策、経済、社会)の変化はあったか。			関係者の意見	・インタビュー結果	・インタビュー	
有効性	プロジェクト目標の達成予測	プロジェクト目標は達成されるか。	実績と計画(目標値)の比較	・投入・活動の実績 ・目標、成果の達成度 ・関係者の意見	・プロジェクト報告書 ・MENA報告書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・データ提出依頼 ・インタビュー		
	因果関係	各成果はプロジェクト目標達成に貢献しているか。	COGESの全国で設置、関係者の能力が強化はCOGESの機能化に貢献しているか。		・活動実績 ・関係者の意見			
			持続的なモニタリング支援システムの強化はCOGESの機能化に貢献しているか。		・活動実績 ・関係者の意見			
			COGESによる学習成果向上活動の有効性の実証、全国で共有はCOGESの機能化に貢献しているか。		・活動実績 ・関係者の意見			
			COGESのリソース運営管理システム強化はCOGESの機能化に貢献しているか。		・活動実績 ・関係者の意見			
プロジェクト目標達成を促進あるいは阻害する外部要因はあるか。	・国民教育・識字省から、COGES全域設置・普及予算が、活動計画に沿って、順当に措置される。(外部条件) ・学校運営の地方分権化政策が維持される。(外部条件) ・研修を受講したCOGES委員が任期終了前に離任しない。(外部条件) ・ブルキナファソの治安が、活動を妨げるほどに、悪化しない。(外部条件)	・全国設置状況、普及予算計画 ・関係者の意見 ・COGES委員の定着状況、再選の仕組み ・関係者の意見	・プロジェクト報告書 ・関連文書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・インタビュー				
効率性	成果の達成度	成果は計画どおり達成しているか。阻害要因があるとすれば何か。	実績と計画(目標値)の比較	・計画の達成度、時期 ・関係者の意見	・プロジェクト報告書 ・関連文書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・インタビュー		
		各成果の指標の設定水準は適切か。		・関連情報 ・関係者の意見	・インタビュー結果	・インタビュー		
	因果関係	成果を産出するために十分な活動であったか。	活動は改革どおり進捗しているか。各成果の発現に寄与しているか。		・関連情報 ・関係者の意見			
		達成された成果からみて投入の質、量、タイミングは適切か。	専門家派遣人数、専門分野、派遣時期は適切か。 供与機材の種類、量、設置時期は適切か。 日本側の現地活動費は適切か。 ブルキナファソ側のC/P配置、予算配分は適切か。 プロジェクトで作成された視聴覚教材は適切に活用されているか。	・専門家派遣実績 ・関係者の意見 ・調達機材リスト ・関係者の意見 ・現地活動費実績 ・関係者意見 ・C/P在籍状況 ・ブルキナファソ側の投入状況 ・関係者の意見 ・関係者の意見	・プロジェクト報告書 ・投入実績 ・インタビュー結果	・文献調査 ・データ提出依頼 ・インタビュー		
		プロジェクトの実施プロセスの効率性に影響を与えている要因	フェーズ1で作成された研修モデル、教材、マニュアル等は適切に活用されているか。 みんなの学校プロジェクト群の経験は活用されているか	・関係者の意見 ・みんなの学校群地域経験共有セミナー結果 ・関係者の意見	・インタビュー結果 ・プロジェクト報告書 ・関連文書 ・インタビュー結果	・インタビュー ・文献調査 ・インタビュー		
		ローカル資源を有効に活用しているか	現地スタッフ、既存システム等が活用されているか	・関係者の意見	・インタビュー結果	・インタビュー		
	他のJICA教育事業との連携・相乗効果は発現しているか	学校建設、教員養成校建設(無償)、理数科プロジェクト(SMASE)等との連携が行われているか	教員養成過程への学校運営管理(COGES)に関する内容のシラバスへの導入の有無	・関係者の意見				
	その他効率性の貢献要因、阻害要因はあるか			・関係者の意見				
	インパクト	上位目標の達成見込み	投入・成果の実績、活動の状況から、上位目標の達成の可能性は高いか。上位目標とプロジェクト目標は乖離していないか	COGESの機能化は、全国の小学校での参加型学校運営の改善に寄与しているか。	上位目標の達成状況、達成の見込み	(1) 各学校の就学者数(男女別) (2) 学校教育委員会(COGES)により設置された仮設教室数 (3) 補修授業時間数 (4) 夜間学習(家庭でのグループ学習を含む)時間数	・プロジェクト報告書 ・MENA報告書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・データ提出依頼 ・インタビュー
			上位目標達成に必要なプロジェクト以外の要因が満たされる可能性は高いか	初等教育学齢児童人口が急激に増加しない。(外部条件) 一般家庭世帯の経済状況が、コミュニティの学校教育への活動・貢献を妨げるほどに、極端に悪化しない。(外部条件)	・関係者の意見 ・関係者の意見	・MENA教育統計 ・インタビュー結果 ・インタビュー結果	・文献調査 ・インタビュー ・インタビュー	
上位目標の達成を阻害する要因はあるか				・関係者の意見	・インタビュー結果	・インタビュー		
波及効果	面的な広がりはあるか	パイロット地域でのCCCモデルの他州への拡大はあるか		・関連情報 ・関係者の意見	・インタビュー結果	・インタビュー		
		COGESの活動への支援を通じた他の分野へ波及効果はあるか	他ドナーの支援との相乗効果はあるか。学校給食、学校菜園、ソーラーランプ管理、参加型学校建設等		・周辺国に対する技術支援・経験共有の実績 ・関係者の意見	・プロジェクト報告書 ・関連文書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・インタビュー	

評価項目		評価設問		判断基準・方法	必要なデータ	情報源	データ収集方法
		大項目	小項目				
持続性	政策・制度面	その他の正負の効果・影響があるか	COGESの管理による収入創出活動へのインパクトはあるか		・関係者の意見		
			COGESの管理による収入創出活動へのインパクトはあるか		・関係者の意見		
	組織・財政面	COGES政策の実施を担う組織は維持されるか	教育政策においてCOGESIによる学校運営改善が今後も重要な位置を占めるか。		・COGES政策の将来計画、戦略 ・関係者の意見	・プロジェクト報告書 ・政策文書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・インタビュー
			国民教育・識学省はプロジェクト終了後のCOGESの継続に係る戦略をもっているか。				
			SCDGE/PACOGESIは、中央でCOGES政策を策定、統括、実施するに必要な権限と人員、予算を有しているか。	課から局への昇格、TORの明確化の可能性	SCDGE/PACOGESIの位置づけ、権限、体制、予算	・プロジェクト報告書 ・関連文書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・インタビュー
			DPENAは、州レベルでCOGES政策を策定、統括、実施するに必要な権限と人員、予算を有しているか。		DPENAの位置づけ、権限、体制、予算		
			DRENAは、県レベルでCOGES政策を策定、統括、実施するに必要な権限と人員、予算を有しているか。		DRENAの位置づけ、権限、体制、予算		
			CEBは活動の維持・発展に必要な権限と人員、収入源を有しているか。		CEBの組織体制、収入状況		
			CCIは活動の維持・発展に必要な権限と人員、収入源を有しているか。		CCIの組織体制、収入状況		
			COGESIは活動の維持・発展に必要な権限と人員、収入源を有しているか。		COGESの組織体制、収入状況		
全国普及のための資金が確保される見込みはあるか	国民教育・識学省はCOGES全国普及のために必要となる予算を有しているか。	MENA財務運営管理局(DAF)との連携状況 基礎教育開発支援ファンド・特別歳出予算勘定(CAST/FADEB)、GPEからの予算の執行状況	CAST予算の推移				
技術面	COGES関係者の能力開発は十分に行われているか	SCDGE/PACOGESIの研修実施能力(機能)、モニタリング能力は十分か。		・関係者の意見	・インタビュー結果		
		CCIはCOGESをモニタリングする能力(機能)を十分に備えているか。					
		CEBIはCOGESをモニタリングする能力(機能)を十分に備えているか。					
		COGESIは活動を計画・実施する能力(機能)を十分に備えているか。		・COGES活動実績 ・関係者の意見			
		動員額、労働力の提供は住民にとって過度な負担となっていないか。					
その他	住民負担は、持続可能なレベルか	住民負担は、持続可能なレベルか			・プロジェクト報告書 ・関連文書 ・インタビュー結果	・文献調査 ・インタビュー	
		投入・活動・成果、成果指標を軌道修正する必要があるか		・関連情報 ・関係者の意見			
その他	軌道修正の必要性(総合的な判断)	投入・活動・成果、成果指標を軌道修正する必要があるか		・関連情報 ・関係者の意見	・PDM ・プロジェクト報告書 ・インタビュー結果	・プロジェクト報告書 ・インタビュー結果	
		今後、留意していかなければならないことは何か					

3. 質問票

3-1 : 基礎教育総局 (DGEB) への質問票

Basic Concept of Evaluation:

<p>Questionnaire for Mid-term Review Survey on Project of Supporting School Management Committee Phase II (PACOGES II)</p>
--

Mid-term Review on JICA-financed projects is exercised in view of five evaluation criteria, i.e. (1) *Relevance*, (2) *Effectiveness*, (3) *Efficiency in Implementation*, (4) *Impact*, and (5) *Sustainability*.

Questionnaire consists of six parts (from 1 to 6). Each part has questions relating to five evaluation criteria. If information or data requested in this Questionnaire is not readily available, please kindly provide alternative indicators and data, which meet the objectives of this questionnaire survey under the five evaluation criteria.

Objectives of the Survey:

The main objectives of the survey are:

- (1) to review and evaluate the inputs, activities, implementation structure, process and achievements of the Project;
- (2) to clarify the problems and issues to be addressed for the successful implementation of the Project for the remaining period;
- (3) to assess the rationale for the continuation of the Project based on the review;
- (4) to make recommendations for activities in the remaining period; and
- (5) to review and revise the Project Design Matrix (PDM).

Contact Person:

Haruo Ito (Mr.)

Senior consultant (ICONS Inc.)

h-itou@icons.co.jp

Questions

1. Verification of achievements

- 1) Has the Project been smoothly implemented? Are there any difficulties/challenges in the project implementation and remedy of those difficulties?
- 2) Are the roles and responsibilities of each counterpart clearly determined to implement the Project?
- 3) Are the roles and responsibilities of SCDGE/PACOGES members clearly determined to implement the Project?

2. Relevance

- 4) Does the objective of the Project meet the needs of teachers, pupils and community members in Burkina Faso? What is the reason?
- 5) Does the experience of project phase I and other projects of school based management contribute to the smooth implementation of the Project? Please provide concrete examples if any?

- 6) Is the selection of pilot provinces to tryout CCC model appropriate?
- 7) How does the Project contribute to promoting the “Strategie de generalisation de la mise en place des Comites de gestion d’ecole au Burkina Faso” which approved in 2013?
- 8) How does the Project contribute to promoting the “Programme de Developpement Strategique de l’Education de Base 2012-2021”?
- 9) Are there any other educational strategies relating to school management through applying COGES model?

3. Effectiveness

- 10) Are the target levels of each indicator of the Project Purpose achievable by the end of the Project?
 - 90% of COGES that have implemented activities in school action plan
 - 80% of COGES that are established through democratic election.
 - 80% of COGES that have developed school action plans and annual reports.
 - 80% of collected school action plans and annual reports
 - The extent of community participation and financial contribution to participatory school management. (60%)
- 11) What is the promoting and hindering factors to achieve above indicators of the Project Purpose?
- 12) What are your views on the COGES model developed by the Project? Is there any remaining issues as the model for extension to all school?
- 13) The strong points and weak points of PACOGES compared to other projects in the education sector?
- 14) Are there any negative impacts of changing political turmoil (coup d'etat) on the implementation of the Project?

4. Efficiency

- 15) Has the budget from Burkinabe government appropriately been allocated to the project activities as an original plan?
- 16) Are the quantity, quality and timing of inputs from Japanese side (budget, experts, equipment etc.) appropriate?
- 17) Has the project promoted the communication among counterparts at each level (central, regional and provincial levels)?
- 18) How the Project corroborate with other partners such as AFD, FAO and UNICEF? Are there any synergy effects with the projects of other partners?

5. Impact

- 19) Are there any improvements in school management, access and quality of education after the initiation of the Project? Please provide concert examples.
- 20) Are there any synergy effects through cooperation with other JICA educational projects?
- 21) Are there any difficulties to further dissemination of COGES and remedy of those difficulties? If any.
- 22) Are there any improvements in school management, access and quality of education in pilot areas of CCC? Please provide concert examples.
- 23) Is there any plan or strategy to disseminate CCC model outside pilot areas?

24) Any unexpected positive and negative impact of implementation of the Project.

6. Sustainability

25) Do SCDGE/PACOGES members have sufficient experience and skill to implement project activities after the end of the Project?

26) Do CEB members have sufficient experience and skill to supervise and monitor activities of COGES?

27) Do CCC members have sufficient experience and skill to supervise and monitor activities of COGES?

28) Is there any possibility of continuous financial contribution to COGES from community?

29) Is there any possibility of continuous financial contribution to CCC from commune and COGES?

30) Is there any possibility of continuous budget allocation to disseminate COGES nationwide from MENA and CAST?

31) Is there any further support needed to SCDGE/PACOGES in terms of technical and financial aspects?

3-2 : 国民教育・州地方局（DRENA）への質問票

(調査の背景、目的は DGEB への質問票と共通)

Questions

1. Verification of achievements

- 1) Has the Project been smoothly implemented? Are there any difficulties/challenges in the project implementation and remedy of those difficulties?
- 2) Are the roles and responsibilities of DRENA clearly determined to implement the Project?
- 3) How often is your province hold “Conseil de Direction Provinciale” par year? Are there any difficulties to hold the Conseil periodically?

2. Relevance

- 4) Does the objective of the Project meet the needs of teachers, pupils and community members in your province? What is the reason?
- 5) Are there any other educational strategies relating to school management through applying COGES model in your province?

3. Effectiveness

- 6) Are the target levels of each indicator of the Project Purpose achievable by the end of the Project in your province?
 - 90% of COGES that have implemented activities in school action plan
 - 80% of COGES that are established through democratic election.
 - 80% of COGES that have developed school action plans and annual reports.
 - 80% of collected school action plans and annual reports
 - The extent of community participation and financial contribution to participatory school management. (60%)
- 7) What is the promoting and hindering factors to achieve above indicators of the Project Purpose?
- 8) What are your views on the COGES model developed by the Project? Are there any remaining issues as the model for extension to all school in your province?
- 9) The strong points and weak points of PACOGES compared to other projects in the education sector?
- 10) Are there any negative impact of changing political turmoil (coup d'etat) on the implementation of the Project?

4. Efficiency

- 11) Has the budget necessary for the training and monitoring appropriately been allocated as an original plan?
- 12) Are the quantity and quality of training provided by the Project appropriate?
- 13) Has the Project promoted the communication among counterparts at each level (central, regional and provincial levels)?
- 14) How the Project corroborate with other partners such as AFD, FAO and UNICEF in your province? Are there any synergy effects with the project of other partners?

5. Impact

- 15) Are there any improvements in school management, access and quality of education after the initiation of the Project? Please provide concert examples.
- 16) Are there any difficulties to further dissemination of COGES and remedy of those difficulties? If any.
- 17) Any unexpected positive and negative impact of implementation of the Project.

6. Sustainability

- 18) Do DRENA members have sufficient experience and skill to implement project activities after the end of the Project?
- 19) Do CEB members have sufficient experience and skill to supervise and monitor activities of COGES?
- 20) Is there any possibility of continuous budget allocation of DRENA to monitor project activities?
- 21) Is there any further support needed to DRENA in terms of technical and financial aspects?

3-3 : 国民教育・県地方局（DPENA）への質問票

Questions

1. Verification of achievements

- 1) Has the Project been smoothly implemented? Are there any difficulties/challenges in the project implementation and remedy of those difficulties?
- 2) Are the roles and responsibilities of DPENA clearly determined to implement the Project?
- 3) How often is your region hold “Conseil de Direction Regionale” par year? Are there any difficulties to hold the Conseil periodically?

2. Relevance

- 4) Does the objective of the Project meet the needs of teachers, pupils and community members in your region? What is the reason?
- 5) Is the selection of pilot provinces to tryout CCC model appropriate?
- 6) Are there any other educational strategies relating to school management through applying COGES model in your region?

3. Effectiveness

- 7) Are the target levels of each indicator of the Project Purpose achievable by the end of the Project in your region?
 - 90% of COGES that have implemented activities in school action plan
 - 80% of COGES that are established through democratic election.
 - 80% of COGES that have developed school action plans and annual reports.
 - 80% of collected school action plans and annual reports
 - The extent of community participation and financial contribution to participatory school management. (60%)
 - 8) What is the promoting and hindering factors to achieve above indicators of the Project Purpose?
 - 9) What are your views on the COGES model developed by the Project? Are there any remaining issues as the model for extension all school in your region?
 - 10) The strong points and weak points of PACOGES compared to other projects in the education sector?
 - 11) Are there any negative impacts of changing political turmoil (coup d'etat) on the implementation of the Project?
- ##### **4. Efficiency**
- 12) Has the budget necessary for the training and monitoring appropriately been allocated as an original plan?
 - 13) Are the quantity and quality of training provided by the Project appropriate?
 - 14) Has the Project promoted the communication among counterparts at each level (central, regional and provincial levels)?
 - 15) How the Project corroborate with other partners such as AFD, FAO and UNICEF in your region? Are there any synergy effects with the projects of other partners?

5. Impact

- 16) Are there any improvements in school management, access and quality of education after the initiation of the Project? Please provide concert examples.
- 17) Are there any difficulties to further dissemination of COGES and remedy of those difficulties? If any.
- 18) Any unexpected positive and negative impacts of implementation of the Project.

6. Sustainability

- 19) Do DPENA members have sufficient experience and skill to implement project activities after the end of the Project?
- 20) Do DRENA members have sufficient experience and skill to supervise and monitor activities of CEB?
- 21) Is there any possibility of continuous budget allocation of DPENA to monitor project activities?
- 22) Is there any further support needed to DPENA in terms of technical and financial aspects?

3-4 : コミュニティ-COGES 連絡協議会 (CCC) への質問票

Questions

1. Verification of achievements

- 1) Have the implementation of CCC activities been smoothly implemented? Are there any difficulties/challenges in the project implementation of project and remedy of those difficulties?
- 2) Are the roles and responsibilities of CCC members clearly determined to implement the Project?
- 3) How often your CCC monitor COGES par year? Are there any difficulties to implement the monitoring periodically?

2. Relevance

- 4) Does the objective of the Project meet the needs of teachers, pupils and community members in your CCC? What are the reasons?
- 5) Is the selection of CCC members appropriate? How does your CCC select the replaced members?
- 6) Do you satisfy with your work as a CCC member? What is your motivation to be a CCC member?

3. Effectiveness

- 7) What is the promoting and hindering factors to promote activities in CCC?
- 8) Are there any difficulties to provide CCC action plans and annual reports?
- 9) How does your CCC promote community participation and financial contribution to COGES?

4. Efficiency

- 10) Has the budget necessary for the monitoring appropriately been allocated as an original plan?
- 11) Has the CCC promoted the communication between CCC and CEB?
- 12) Do you satisfy with training and technical supports provided by the Project? What are the reasons?

5. Impact

- 13) Are there any improvements in school management, access and quality of education by establishing CCC by the Project? Please provide concert examples.
- 14) Are there any suggestions to disseminate the CCC model developed by the Project nationwide?
- 15) Any unexpected positive and negative impacts of implementation of the Project.

6. Sustainability

- 16) Do CCC members have sufficient experience and skill to implement their activities after the end of the Project?
- 17) Do COGES members have sufficient experience and skill to implement their activities?
- 18) Is there any possibility of continuous budget allocation of CCC from commune and COGES to implement project activities?

19) Do you satisfy with technical support from MATD or DPENA to CCC? Which areas of supports needed from them for further improvement of CCC?

3-5 : 視学官事務所（CEB）への質問票

Questions

1. Verification of achievements

- 1) Has the Project been smoothly implemented? Are there any difficulties/challenges in the project implementation of project and remedy of those difficulties?
- 2) Are the roles and responsibilities of CEB clearly determined to implement the Project?
- 3) How often does your CEB monitor COGES par year? Are there any difficulties to implement the monitoring periodically?

2. Relevance

- 4) Does the objective of the Project meet the needs of teachers, pupils and community members in your CEB? What is the reason?

3. Effectiveness

- 5) What is the promoting and hindering factors to establish COGES in each school?
- 6) Are there any difficulties to collect school action plans and annual reports from each COGES?
- 7) How do your CEB promote community participation and financial contribution to COGES?
- 8) What are your views on the COGES model developed by the Project?

4. Efficiency

- 9) Has the budget necessary for the monitoring appropriately been allocated as an original plan?
- 10) Are the quantity and quality of training provided by the Project appropriate?
- 11) Has the Project promoted the communication between DPENA and CEB?

5. Impact

- 12) Are there any improvements in school management, access and quality of education after the initiation of the Project? Please provide concert examples.
- 13) Are there any difficulties to further dissemination of COGES and remedy of those difficulties? If any.
- 14) Any unexpected positive and negative impacts of implementation of the Project.

6. Sustainability

- 15) Do CEB members have sufficient experience and skill to implement project activities after the end of the Project?
- 16) Do COGES members have sufficient experience and skill to implement activities of COGES?
- 17) Is there any possibility of continuous budget allocation of CEB to monitor COGES activities?
- 18) Is there any further support needed to CEB in terms of technical and financial aspects?

3-6 : 学校運営委員会（COGES）への質問票

Questions

1. Verification of achievements

- 1) Have the activities of your COGES been smoothly implemented? Are there any difficulties/challenges in the management of COGES and remedy of those difficulties?
- 2) Are the roles and responsibilities of COGES members clearly determined to implement the Project?
- 3) How often does your COGES hold “secretariat meetings and general meetings” per year? Are there any difficulties to hold the monitoring periodically?

2. Relevance

- 4) Does the objective of the Project meet the needs of teachers, pupils and community members in your COGES? What are the reasons?
- 5) Is the selection of COGES members appropriate? How does your COGES select replaced members?
- 6) Do you satisfy with your work as a COGES member? What is your motivation to be a COGES member?

3. Effectiveness

- 7) What are the promoting and hindering factors to promote activities in COGES?
- 8) Are there any difficulties to provide COGES action plans and annual reports?
- 9) How does your COGES promote community participation and financial contribution to COGES?
- 10) Do you satisfy with monitoring and technical supports provided by CEB and CCC? What are the reasons?

4. Efficiency

- 11) Has the budget necessary for the monitoring appropriately been allocated as an original plan?
- 12) What is your degree of satisfaction of each training for COGES members provided by the Project? (Please check in the box below)

A. Training for school principals

Very satisfied Satisfied Unsatisfied Very unsatisfied

B. Training for COGES members on development of annual plan and participatory school management

Very satisfied Satisfied Unsatisfied Very unsatisfied

C. Training for financial management

Very satisfied Satisfied Unsatisfied Very unsatisfied

5. Impact

- 13) Are there any improvements in school management, access and quality of education by establishing COGES by the Project? Please provide concert examples.

14) Any unexpected positive and negative impacts of implementation of the Project.

6. Sustainability

15) Do COGES members have sufficient experience and skill to implement their activities after the end of the Project?

16) Is there any possibility to secure necessary budget for activities of your COGES?

17) Which areas of supports needed from them for further improvement of your COGES?

4. 収集文献・資料一覧

No.	表題	年	発行機関
1	ブルキナファソ学校運営委員会支援プロジェクトフェーズ2 実施協議報告書	2014	JICA
2	ブルキナファソ学校運営委員会支援プロジェクト終了時評価調査報告書	2013	JICA
3	ブルキナファソ学校運営委員会支援プロジェクト中間レビュー評価調査報告書	2012	JICA
4	基礎教育セクター情報収集・確認調査国別基礎教育セクター分析報告書	2012	JICA
5	Guide de Formation sur l'École de Qualité Amie des Enfants (EQAmE) A l'Intention des Enseignants et des Encadreurs Pédagogiques de l'Éducation de Base	2015	UNICEF
6	Revue à mi-parcours du programme de Pays 2011 – 2015 最終報告書	2013	UNICEF
7	Projet d'Accès et d'Amélioration de la Qualité de l'Enseignement (PAAQE) 最終報告書	2014	World Bank
8	Systems Approach for Better Education Results (SABER) Working paper	2015	World Bank
9	2 nd JCC presentation sheets	214	PACOGES
10	3 rd JCC presentation sheets	2015	PACOGES
11	月報、実施運営総括表など	2012～2015	PACOGES